

令和 8 年 度

春日部市教育

春日部市教育委員会



－ 市章の由来 －

意匠は、春日部市の「春」の文字をモチーフに、自然溢れる緑の新市と旧2市町を表した2本の緑のライン、未来を表す正円と飛翔する市民が描かれ、また、市民一人ひとりがお互いに協力して新市のまちづくりに励み、「市民主役・環境共生・自立都市」を目指して飛躍と発展を続けるまちづくりを推進する願いが込められています。



市の花・フジ

特別天然記念物の牛島のフジは全国的にも有名で、春日部市のシンボルとなっています。また、「春日部藤まつり」や「ふじ通り」などの名称も市民になじみが深く、親しみやすいことから「フジ」を市の花に決定しました。



市の木・キリ

キリは古くから春日部市の特産品である桐たんす、桐箱、押絵羽子板などの材料として用いられてきました。伝統のある桐産業を後世まで残し、キリをとおして全国に春日部市の歴史・文化を発信できるように、「キリ」を市の木に決定しました。



市の鳥・ユリカモメ

ユリカモメは伊勢物語の中で、在原業平が隅田川（現在の春日部八幡神社付近とも言う）にいる「都鳥」を詠んでおり、春日部市にとって大変ゆかりのある鳥です。冬になると市内の水辺に飛来し、市民にやすらぎを与える鳥として親しまれていることから、「ユリカモメ」を市の鳥に決定しました。

春日部市生涯学習都市宣言

21世紀は、個人の価値観に合わせ心身ともに充実した生活を営む、質的な豊かさを実現する時代です。市民一人ひとりがうるおいのある生活を送るためには、生涯にわたり学びつづけることが重要です。また、多彩な歴史・文化にかこまれ、心豊かで活力ある市民が暮らすことができるまち「春日部」の実現は、わたしたちみんなの願いです。

わたしたちは、いつでも、どこでも、楽しく、みずから生涯学びつづけ、自己を高めるとともに、人と人との絆を深めるまちを目指すため、ここに「生涯学習都市」を宣言します。

- － わたしたちは、スポーツ、文化・芸術に親しみ、健やかで活力に満ちた生活を送ります。
- － わたしたちは、郷土の歴史・文化を愛し、教養を高め、心豊かな暮らしに生かします。
- － わたしたちは、学んだことを地域で生かし、すべての市民がいきいきと活躍できるまちをつくりまします。

平成21年4月1日

春日部市

目 次

I 春日部市の概要

春日部市の現在	1
世帯数・人口の推移	1
春日部市の沿革	2
歴代委員	2
歴代教育長	2

II 教育行財政

春日部市教育行政の基本方針と重点施策	3
教育長及び委員等	5
教育委員会組織機構及び事務分掌	6
令和8年度一般会計当初予算歳出及び教育費の内訳	7

III 学校教育

教育総務課	8
市民文化会館	10
教育施設課	11
学務課	12
指導課	14
教育相談センター	17
学校給食課	18

IV 学校紹介

児童・生徒数、学級数及び教職員数	20
学校施設の現況	21
小学校	22
中学校	44
義務教育学校	55

V 社会教育

社会教育課	56
文化財課	62
郷土資料館	64
スポーツ推進課	66
中央公民館	73
公民館紹介	76

VI 特別職名簿

特別職名簿	87
-------	----

I 春日部市の概要

1 春日部市の現在

春日部市は、平成17年10月1日に旧春日部市と旧庄和町の1市1町が合併し、誕生しました。住民基本台帳に基づく令和8年1月1日時点の人口は22万8,610人（11万4,368世帯）。関東平野のほぼ中央、埼玉県の一部に位置し、都心から35km圏にあります。南北約12km、東西約11kmの市域を有し、江戸時代には日光街道第四の宿場として設置された粕壁宿として栄え、発展を遂げました。

現在も、南北方向には東武伊勢崎線（スカイツリーライン）（東京メトロ日比谷線・半蔵門線、東急田園都市線乗り入れ）と国道4号・4号バイパスが縦断し、東西方向には東武野田線（アーバンパークライン）と国道16号が横断し、首都圏における交通の要衝となっています。また、都心への通勤圏であるにもかかわらず、水田や屋敷林が広がる水と緑豊かな恵まれた環境を有しています。そして、本市の特別住民で「子育て応援キャラクター」、「まちの案内人」でもある、アニメ「クレヨンしんちゃん」のまちとしても知られています。

これらの個性や特性を十分に生かし、「市民が主役」「まちの魅力を創る」「共に未来へチャレンジする」をまちづくりの理念とした「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」を目指しています。

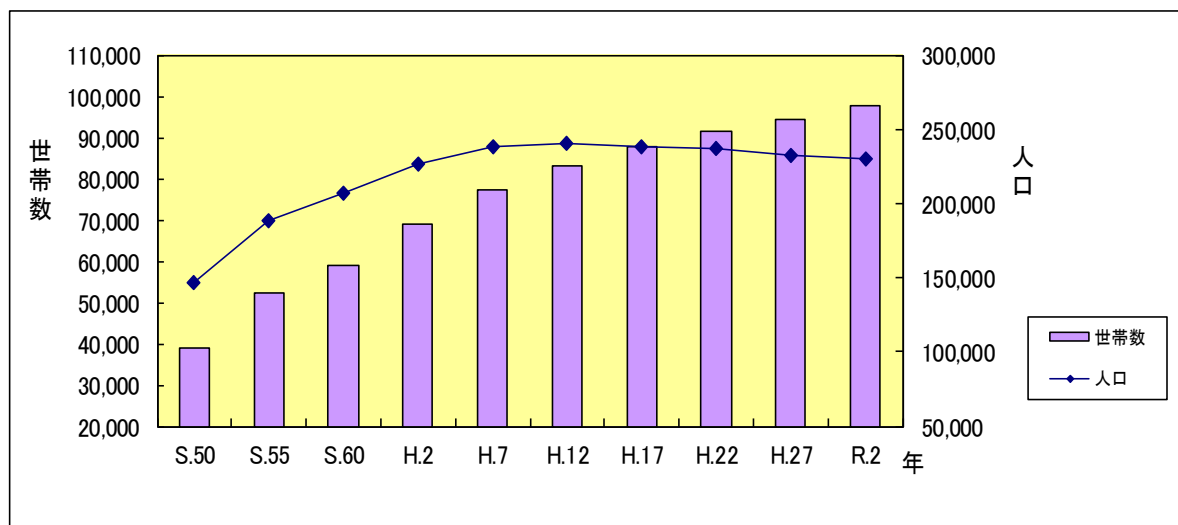
令和5年度には、市役所新庁舎が完成し、教育委員会事務局の事務室も移転しました。

《 春日部市の位置と地勢 》



2 世帯数・人口の推移

年	S. 50	S. 55	S. 60	H. 2	H. 7	H. 12	H. 17	H. 22	H. 27	R. 2
世 帯 数	39,031	52,328	58,997	69,137	77,416	83,196	87,589	91,531	94,399	97,638
人 口	146,856	187,913	207,021	226,449	238,598	240,924	238,506	237,171	232,372	229,792



※資料:国勢調査、各年10月1日現在

3 春日部市の沿革

春日部市は、江戸時代には日光街道第四の宿場として設置された粕壁宿として栄え、発展を遂げてきました。また、かつては利根川の本流であった大落古利根川や江戸時代に開削された江戸川などは、河川交通の要衝でもあり、特に江戸川の河岸であった西宝珠花は、水上交通の要として発展するなど水陸両面における交通の拠点をもつ地域でありました。

明治に入ると廃藩置県により、春日部地域は、埼玉県の管轄となりました。一方、庄和地域は、千葉県管轄となりましたが、明治8年に江戸川以西の庄内領が埼玉県に移管されました。明治22年には、市制町村制の施行により粕壁町と10か村となり、その後、昭和19年に粕壁町と内牧村が合併して春日部町と9か村となりました。

昭和29年には、昭和の大合併により春日部市と庄和村が誕生しました。昭和35年に杉戸町の一部が庄和村に編入され、現在の市域の基礎が形成されました。その後、昭和39年には、庄和村が町制を施行しました。旧春日部市と旧庄和町は、東京の近郊都市として昭和40年代初期から人口が急増する中で、それぞれの個性や特性を生かしながらまちづくりを発展させてきました。

また、交通体系の発達した今日では、通勤・通学や買い物など市民の日常的な生活圏は、互いの行政区域を越えて形成されてきています。

このような地域的なつながりを踏まえ、平成17年10月には、旧春日部市、旧庄和町が合併し、新たな春日部市として誕生しました。今後、県東部の中心都市として一層の発展が期待されています。

4 歴代委員

氏 名	在任期間	年 数	委 員 長	教 育 長
岩 井 清	H17. 10. 1～H18. 12. 22	1年2月		H17. 10. 1～H18. 12. 22
安 東 敏 子	H17. 10. 1～H19. 12. 22	2年2月	H17. 10. 1～H19. 12. 22	
五百木 勉	H17. 10. 1～H30. 12. 22	13年2月	H19. 12. 23～H27. 3. 31	
金 森 良 泰	H17. 10. 1～R 6. 12. 22	19年2月		
水 野 洋	H17. 10. 1～H21. 12. 22	4年2月		
植 竹 英 生	H18. 12. 23～H27. 3. 31	8年3月		H18. 12. 23～H27. 3. 31
池 田 良 鶴	H19. 12. 23～H23. 12. 22	4年0月		
水 沼 章 文	H21. 12. 23～R 7. 12. 22	16年0月		
伊 藤 夕 子	H23. 12. 23～H27. 12. 22	4年0月		
川 端 知 里	H27. 12. 23～R 1. 12. 22	4年0月		
岡 田 新 司	H30. 12. 23～現 在	7年6月		
秋 山 早 苗	R 1. 12. 23～R 5. 12. 22	4年0月		
山 口 早 苗	R 5. 12. 23～現 在	2年6月		
高 橋 朋 子	R 6. 12. 23～現 在	1年6月		
小 林 学	R 7. 12. 23～現 在	0年6月		

5 歴代教育長（地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う新教育委員会制度へ移行後）

氏 名	在任期間	年 数
植 竹 英 生	H27. 4. 1～H31. 3. 31	4年0月
鎌 田 亨	H31. 4. 1～現 在	7年3月

Ⅱ 教 育 行 財 政

1 春日部市教育行政の基本方針と重点施策

(1) 基本方針

本市は、市の将来像である「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」を実現するため、令和4年度に策定した「第2次春日部市総合振興計画後期基本計画」に基づき、各種事業を推進している。教育委員会においては、第2次春日部市総合振興計画後期基本計画における主に2つの基本目標「子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち」及び「市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち」を実現するため、必要な施策を総合的かつ横断的に推進する。

国際社会に目を向けると、「持続可能な開発目標（以下「SDGs」という。）」として、包括的な17のゴールと細分化した169のターゲットが設定されており、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組み、令和12年を期限として誰一人取り残さない社会の実現を目指している。SDGsは、本市の将来像である第2次春日部市総合振興計画による取組と方向や立場を同じくするものであり、教育委員会においても同様に、SDGsの視点を含めながら、必要な施策を推進していく。

学校教育では、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するため、英語教育、進路・キャリア教育、情報教育、食育・体力向上の推進等、特色ある活動の充実を図るとともに、SDGs等の理念を取り入れ、社会の変化に対応した教育を推進する。このような新たな教育課題に対応するため、教職員の資質向上を図るとともに、負担を軽減するための環境づくりに努める。

また、児童生徒一人ひとりを大切にした教育を推進するため、個々の教育ニーズに応じた指導・支援を行う。教育相談活動の推進、いじめの未然防止と早期発見・早期解消を図る連携体制の充実、不登校の児童生徒への支援の充実のほか、一人ひとりに寄り添った支援の充実を図る。

さらに、児童生徒が充実した学習活動を行えるよう、学習環境と施設の計画的な整備を進めるとともに、安全で安定した学校給食の運営、通学路の安全確保に努める。

社会教育では、だれもが学べ、地域に生かせるまちをつくるため、社会教育の充実を図るとともに、生涯学習の振興を図り、社会状況の変化に対応した学習機会の提供、学習活動の支援と学習環境の充実に努める。

また、文化・芸術や郷土の歴史を大切に作るまちをつくるため、市美術展覧会（市展）をはじめとした各種イベントを実施・支援すること等により、文化・芸術活動の振興を図るとともに、史跡神明貝塚を含めた市内の多様な文化遺産の保存と活用、市史の編さんを進めるほか、地域の伝統文化の育成や継承、情報発信に努める。

さらに、スポーツ・レクリエーションを楽しめるまちをつくるため、だれもが生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに参加できる機会の提供、活動を支援する体制づくりを推進するとともに、計画的な体育施設の整備を進めていく。

《 SDGs が掲げる 17 のゴール 》



※学校教育部及び社会教育部各課のページにおいて、関連する目標を示しています。

(2) 重点施策

■ 学校教育

① 「生きる力」を育む学校づくりの推進

かすかべっ子はぐくみプランをもとに主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、生きる力を育む学校づくりの推進を図る。

また、校務支援システムを導入し、書類作成等に要する時間を削減することで、教職員が児童、生徒へ向き合う時間を増やし、教育環境の充実を図る。

② 充実した学校環境づくりの推進

学校規模の適正化に向けた取組を進める。また、市内各校で共同利用できる「通年で利用可能な学校教育を優先した温水プール」の整備を進めていく。

また、春日部中学校ほか中学校3校の校舎トイレ改修工事を実施するとともに、武里中学校ほか中学校2校の校舎トイレ改修工事の設計を実施する。また、葛飾中学校リノベーション工事を引き続き進めるとともに、豊春小学校長寿命化改修工事の設計を実施する。

このほか、学校給食における国の抜本的な負担軽減に基づく小学校でのいわゆる給食無償化を実施するとともに、中学校での給食費6か月無償や必要な物価高騰対策などを通じて、子育て世帯への経済的支援を図る。

■ 社会教育

① 人権を尊重するまちづくりの推進

女性、こども、高齢者、障がいのある方、外国人、性的マイノリティ、インターネット上の誹謗中傷など、人権問題が複雑・多様化していることを踏まえ、春日部市人権施策推進指針に基づき、様々な人権問題の解決に取り組んでいく。

② 社会教育の充実

社会教育関係団体と連携した取組を拡充していくとともに、家庭教育支援チームによる家庭教育の取組を拡充していく。また、こども達の心豊かな育みにつながる学習機会やさまざまな体験活動、交流活動を行い、地域の教育力の向上に努める。

さらに、各公民館の多くは築年数が30年以上を経過していることから、利用者の安全性や快適性を鑑み、施設の大規模改修等を順次検討・実施していく。

③ 文化・芸術の振興

文化・芸術に触れる機会の充実を図るとともに、文化・芸術団体の育成及び活動支援や情報提供に努める。

④ 郷土の歴史と文化遺産の保存と活用

国指定の史跡である神明貝塚を確実に後世へ継承し、保存、活用するため、引き続き公有地化に向けた土地購入などを進めていくとともに、現地の整備に向けた整備基本計画の策定に着手する。

⑤ スポーツ・レクリエーション活動の推進

大沼陸上競技場の設備や備品の整備を行い、リニューアルオープンに向けた準備を進めていく。また、避難所となっている体育施設については、避難者の生活環境の改善、熱中症などの健康被害から市民を守るため、空調設備の設置に向けた準備を進める。

2 教育長及び委員等



教育長 鎌田 亨



教育長職務代理者 小林 学



委員 岡田 新司



委員 山口 早苗



委員 高橋 朋子

◎市長・副市長

市 長	岩谷 一弘	副 市 長	白子 高史
-----	-------	-------	-------

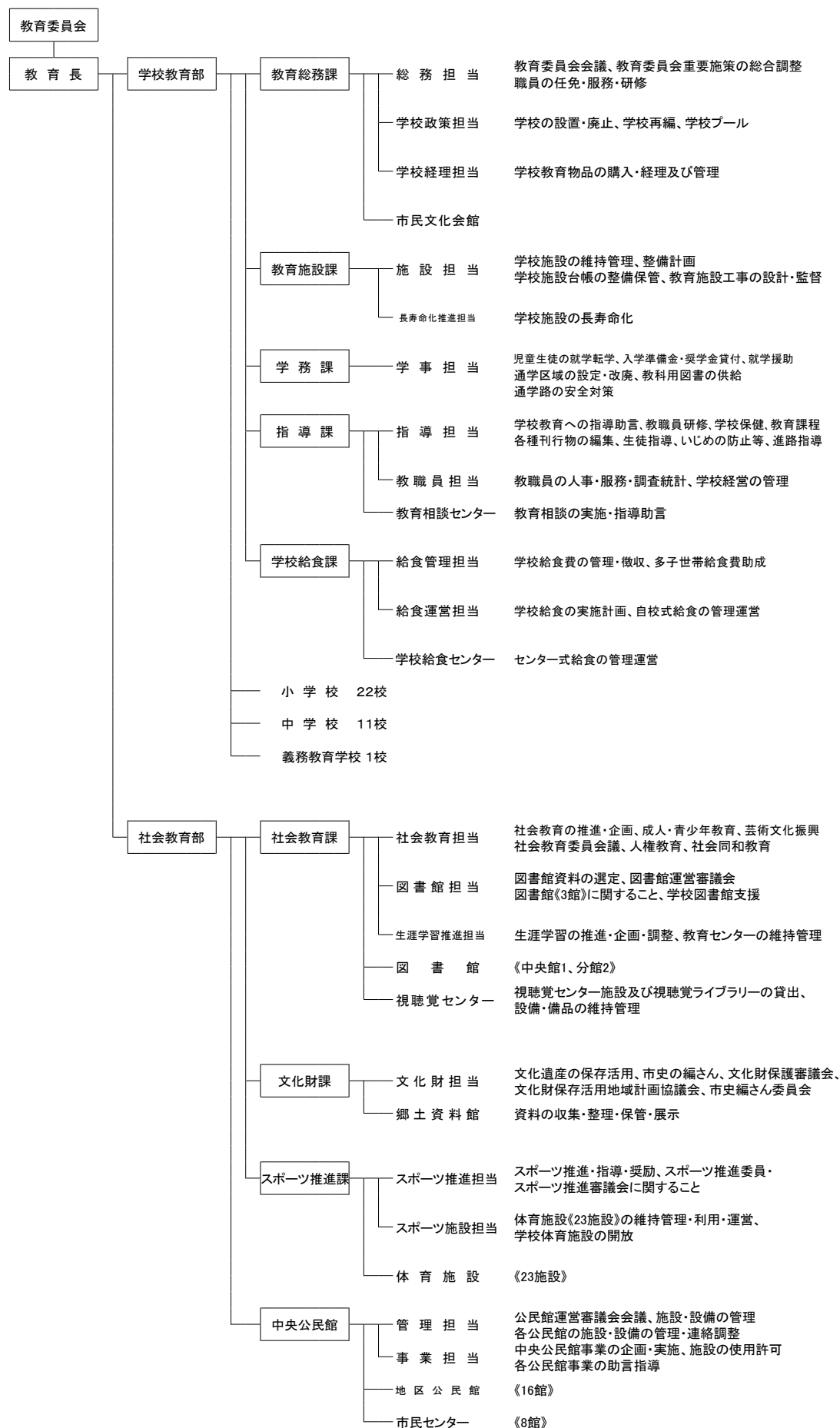
◎市議会正副議長

議 長	小久保 博史	副 議 長	木村 圭一
-----	--------	-------	-------

◎教育環境委員

委 員 長	吉田 稔	副委員長	鬼丸 裕史
委 員	角田 妙子	委 員	富田 豊
委 員	桑原 弘樹	委 員	鈴木 一利
委 員	古沢 耕作		

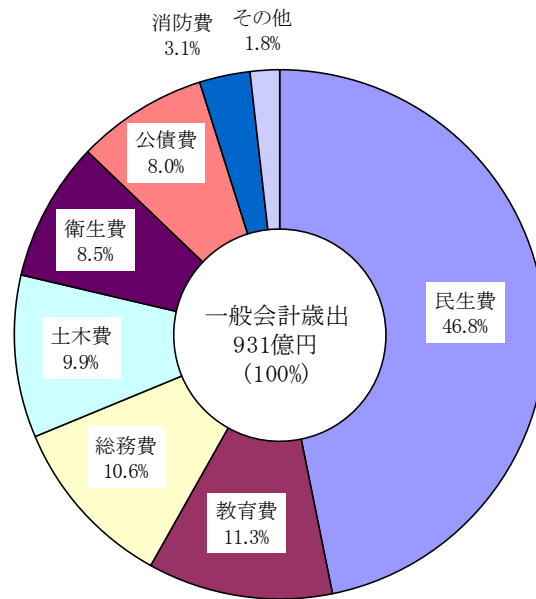
3 教育委員会組織機構及び事務分掌



4 令和8年度一般会計当初予算歳出及び教育費の内訳

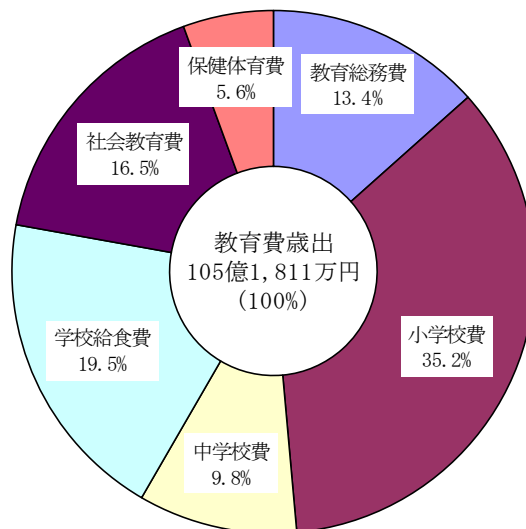
(1) 一般会計当初予算歳出

款	金額(千円)	構成比(%)
民生費	43,592,163	46.8%
教育費	10,518,110	11.3%
総務費	9,830,061	10.6%
土木費	9,195,980	9.9%
衛生費	7,928,283	8.5%
公債費	7,450,845	8.0%
消防費	2,940,320	3.1%
その他	1,644,238	1.8%
歳出合計	93,100,000	100.0%



(2) 教育費の内訳

項	金額(千円)	構成比(%)
教育総務費	1,406,235	13.4%
小学校費	3,702,593	35.2%
中学校費	1,034,325	9.8%
学校給食費	2,048,296	19.5%
社会教育費	1,738,470	16.5%
保健体育費	588,191	5.6%
歳出合計	10,518,110	100.0%



III 学 校 教 育

教育総務課

1 課の目標

教育委員会事務局主管課として他部局との連携、施策の調和を図り、教育行政推進のための総合調整を進める。
また、学校の安心安全を推進するための効果的な予算執行に努める。



2 主な施策

○教育委員会運営事務

教育委員会の運営を行うもの。

主な事業費：教育委員の委員報酬、委員旅費

- ① 教育委員会の会議での審議をより一層充実するため、教育委員会委員と執行部の勉強会を実施し、情報及び認識の共有化を図る。また、春日部市の教育の状況や課題等を的確に把握するため、必要に応じ現場視察を行う。
- ② 市民の傍聴の機会を確保するとともにホームページで会議録を公開し、開かれた教育委員会に取り組む。
- ③ 総合教育会議を積極的に活用し、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、教育の課題やあるべき姿を共有して、多様化していく教育課題に連携して取り組む。
- ④ 教育委員会委員の自己研鑽を図るため、児童生徒や市民の活動の姿、教育施設の現状、現場の抱える課題を実感として捉えるために、積極的に学校等を訪問するほか、行政視察や研修会や講演会等にも積極的に参加していただく。
- ⑤ 教育委員会の点検・評価を実施し、事業内容の体系的な理解を深め、経年的な進捗状況と残された課題について分析・検討し、学識経験者の知見を得たうえで、教育施策に反映させる。

施策 1-2-1

3,576 千円（前年度比 5 千円増）

○教育総務事務

教育委員会事務局の事務を円滑に執行するために各種事務を行うもの。

主な事業費：学校への文書配布を行うための業務委託料、各種協議会の負担金

施策 1-2-1

7,888 千円（前年度比 ▲1,727 千円）

○学校政策企画事務

よりよい教育環境の整備につながる、学校政策に関する企画等を行うもの。

主な事業費：学校用地の土地借上料、中学校部活動の民間水泳施設使用料

- ① 学校規模の適正化に向けた検討を進める。
- ② 八木崎小学校に、各学校で共同利用できる学校温水プールの整備を進める。

施策 1-2-3

6,570 千円（前年度比 ▲1,621 千円）

○小学校運営事業、中学校運営事業

小、中、義務教育学校の管理運営を行うもの。

主な事業費：光熱水費、消耗品費、備品購入費、児童生徒の教材費
（事業開始初年度のみ、水泳指導業務委託料も対象となる。）

施策 1-2-3

小 522,775 千円（前年度比 ▲22,809 千円）
中 356,883 千円（前年度比 17,626 千円増）

○小学校図書館整備事業、中学校図書館整備事業

小、中、義務教育学校図書館に図書を整備するとともに、小学校には学校司書を配置するもの。 主な事業費：消耗図書費、学校司書の報酬	
施策 1-2-3	小 24,688 千円（前年度比 772 千円増） 中 5,685 千円（前年度比 ▲35 千円 ）

○小学校情報教育推進事業、中学校情報教育推進事業

小、中、義務教育学校の児童生徒に対し、情報教育の推進を図るもの。 主な事業費：児童生徒や教職員パソコン端末の機器借上料、学習支援ソフトの使用料 ①小学校においては、GIGAスクール構想で整備した1人1台端末の入替更新を行う。	
施策 1-2-3	小 849,913 千円（前年度比 604,550 千円増） 中 135,008 千円（前年度比 ▲352,160 千円 ）

○課外部活動補助金

中学校の課外部活動に協力する事業を行う育成会に対し、補助金を交付するもの。 主な事業費：育成会に対する補助金	
施策 1-2-3	650 千円（前年度比 ▲251 千円 ）

市民文化会館

1 市民文化会館の目標

文化・芸術の鑑賞と発表の場である市民文化会館を、安全かつ快適に使用できるよう管理運営に努める。
また、市の文化・芸術にどのような形で関わるのかを研究し、よりよい市民文化会館の運営を目指す。

※ 春日部市民文化会館については、令和6年10月からネーミングライツ制度が導入され、愛称が「正和工業にじいろホール」になりました。(以下、同じ)

2 主な施策



○市民文化会館運営事業

市民文化の向上を図るため、文化芸術の鑑賞と発表の場である市民文化会館を管理運営するもの。

主な事業費：光熱水費、舞台業務、施設・設備を管理するための委託料

①市民文化会館施設設備等の維持補修

市民や各種団体等の利用者が、安全かつ快適に施設を利用できるように市民文化会館の施設設備等の維持補修や各種点検を行う。

また、施設・設備の機能を維持・向上させるため、公共施設マネジメント基本計画に基づき大規模改修を進める。

②市民文化会館利用者サービスの充実

- ・市民文化会館利用者の利用上や舞台演出上の相談に対しての助言を充実し、利用者の満足度を高める。
- ・大ホール、小ホール、展示室の催し物の情報を市ホームページ等で広く市民に提供し、催し物の目的が達成できるよう支援する。
- ・市民文化会館利用案内の資料を充実し、利用者の利便性を向上させる。

③市民文化会館利用者の安心安全の確保

危機対応マニュアルにより、自然災害発生時や火災等の緊急時に利用者の安心安全を確保する。

施策 3-4-1

212,011 千円（前年度比 ▲17,932 千円）

3 施設の概要

部屋の名称	定員 (人)	面積 (㎡)	階数	部屋の名称	定員 (人)	面積 (㎡)
大ホール	1,500	－	地下1階	展示室	－	276
楽屋(1)	－	40	2階	練習室(1)	75	96
楽屋(2)	－	40		練習室(2)	12	44
楽屋(3)	－	30		練習室(3)	12	44
楽屋(4)和室	－	14	3階	大会議室	153	216
楽屋(5)和室	－	14		中会議室(1)	108	144
リハーサル室(1)	－	184		中会議室(2)	34	96
小ホール	401	－		小会議室(1)	30	72
楽屋(6)和室	－	14		小会議室(2)	51	72
楽屋(7)	－	37		特別会議室	8	28
楽屋(8)	－	24		和室(1)	－	18 畳
リハーサル室(2)	－	92		和室(2)	－	24 畳
駐車場(有料)	175 台					

教 育 施 設 課

1 課の目標

こども達が健やかな成長と自己実現を目指して学習活動ができるよう、小学校、中学校及び義務教育学校の諸施設の環境整備・充実に努める。



2 主な施策

○小学校施設維持・管理事業、中学校施設維持・管理事業

こども達の安全確保及び学校教育の円滑な運営を図るため、施設の老朽化や機能劣化による危険箇所の修繕、法定点検等及び補修工事を行うもの。

主な事業費：物件修繕料、施設修繕料、施設・設備管理委託料、警備委託料

施策 1-2-3	小 355,161 千円（前年度比 17,585 千円増）
	中 240,784 千円（前年度比 9,759 千円増）

○小学校普通教室等エアコン整備事業、中学校普通教室等エアコン整備事業

こども達の学校環境の改善を図るため、PFI手法により普通教室等へのエアコン整備を行うもの。

主な事業費：公有財産購入費、業務委託料

施策 1-2-3	小 17,294 千円（前年度比 ▲5,946 千円）
	中 75,373 千円（前年度比 37,787 千円増）

○中学校等校舎トイレ改修事業

こども達の学校環境の改善を図るため、校舎のトイレ改修を実施するもの。春日部中学校外3校の校舎トイレ改修工事については、前年度の補正予算に計上している。

主な事業費：設計委託料（武里中学校、大沼中学校、緑中学校）

①衛生器具の洋便器化及び給排水設備の更新などトイレ内の全面改修を行う。

施策 1-2-3	31,226 千円（前年度比 ▲ 6,647 千円）
----------	----------------------------

○中学校体育館耐震対策事業

こども達の学校環境の改善及び地域住民の避難場所としての役割を果たすため、体育館について地震発生時に落下するおそれがある外壁等の耐震対策を実施するもの。

主な事業費：設計委託料（大増中学校）

施策 1-2-3	16,456 千円（前年度比 ▲11,374 千円）
----------	----------------------------

○小学校施設長寿命化推進事業、中学校等施設長寿命化推進事業

こども達の学校環境の改善を図るため、学校施設に求められる機能・性能を確保し、長寿命化や計画的な更新を実施するもの。葛飾中学校のリノベーション工事については、前年度の補正予算に計上している。

主な事業費：設計委託料（豊春小学校）

①建物の耐久性を高める長寿命化や省エネ、バリアフリー化の整備を行い、多様な学習内容・形態が対応可能なリノベーション工事を行う。

施策 1-2-3	小 136,971 千円（前年度比 皆増）
	中 0 千円（前年度比 増減なし）

○小学校プール整備事業

こども達の水泳授業の改善を図るため、屋内温水プール建設及び既存プールの解体を実施するもの。

主な事業費：工事請負費（温水プール建設、内牧小学校・緑小学校既存プール解体）

①八木崎小学校敷地内に屋内温水プールを整備する。

施策 1-2-3	1,574,353 千円（前年度比 皆増）
----------	-----------------------

学 務 課

1 課の目標

児童生徒が、健やかな成長と自己実現を目指して充実した学習活動を行うことができる学校環境の充実を図るとともに就学支援の促進に努める。



2 主な施策

○学務事務

学務事務を円滑に執行するために行うもの。

主な事業費：パート会計年度職員報酬、消耗品購入費

施策 1-2-3	1,860 千円（前年度比 ▲525 千円）
----------	------------------------

○未来を担う人財育成事業

未来を担う人財を育成するため奨学金の交付を行うもの。

主な事業費：対象者に交付する奨学金

施策 1-2-3	0 千円（前年度比 皆減）
----------	---------------

○入学準備金・奨学金貸付事業

経済的理由により修学が困難な者に奨学金を、その保護者に入学準備金を貸付することにより、教育の機会均等に寄与するとともに、有用な人材の育成を図るもの。

主な事業費：対象者に貸付する貸付金

施策 1-2-3	4,100 千円（前年度比 ▲2,940 千円）
----------	--------------------------

○江戸川小中学校スクールバス運行事業

学区内から通学する児童の安心安全を確保するため、スクールバスを運行するもの。

主な事業費：スクールバスの運行業務委託料

施策 1-2-3	16,104 千円（前年度比 増減なし）
----------	----------------------

○小学校要保護及び準要保護就学援助事業、中学校要保護及び準要保護就学援助事業

経済的理由で就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費等を支給するもの。

入学にかかる費用負担の軽減を図るため、新入学児童生徒学用品費等の入学前支給を実施。

主な事業費：学用品費や学校給食費など、対象者に支給する扶助費

施策 1-2-3	小 58,826 千円（前年度比 ▲68,653 千円） 中 96,104 千円（前年度比 ▲996 千円）
----------	---

○小学校特別支援教育就学奨励事業、中学校特別支援教育就学奨励事業

特別支援学級等に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学のために必要な経費の一部を補助するもの。

主な事業費：学用品費や学校給食費など、対象者に補助する扶助費

施策 1-2-3	小 10,161 千円（前年度比 790 千円増） 中 8,680 千円（前年度比 496 千円増）
----------	---

○小学校教科用図書等整備事業、中学校教科用図書等整備事業

児童生徒の学習指導を円滑に行うため、教師用教科書、指導書等の整備を実施するもの。 主な事業費：教師用教科書等の教材費	
施策 1-2-3	小 2,647 千円（前年度比 ▲8,711 千円） 中 5,875 千円（前年度比 ▲7,235 千円）

○通学路安全対策事業

関係機関と連携し、登下校時における児童生徒の安全確保を図るもの。 主な事業費：ゼロ予算事業（安全対策を実施する関係部署で予算計上）	
施策 1-2-3	0 千円（前年度比 増減なし）

指 導 課

1 課の目標

学習指導要領、第2次春日部市総合振興計画の「子育て・教育」を受け、児童生徒に未来を切り拓くことのできる「生きる力」の育成を目指した春日部市ならではの教育を推進する。本市独自の学校教育プラン「かすかべっ子 はぐくみプラン」を共有するとともに、「伝えあい 学びあい 育ちあい 思いあいがうれしい教室 うれしい学校」を合い言葉に「春日部メソッド」を推進し、地域と連携した魅力ある学校づくり、児童生徒一人ひとりを確実に伸ばす教育活動の充実を図る。

2 主な施策



○学校教育支援事業

学校教育の充実と教育水準の維持・向上を図るため、学校教育を支援するもの。

主な事業費：統合型校務支援システム等導入業務委託、さわやか相談員、普通学級支援助手、特別支援学級助手等の報酬

校務支援システムを導入し、書類作成等に要する時間を削減することで、教職員が児童・生徒へ向き合う時間を増やし、教育環境の充実を図る。

★校内教育支援ルームを市内小学校3校に設置し、校内支援員が週2回、教室に入りづらい児童の学習・生活を支援する。

施策 1-2-1	365,741 千円（前年度比 ▲4,393 千円）
----------	----------------------------

○英語指導助手招致事業

小学校・中学校・義務教育学校における英語教育と国際理解教育の推進に資するもの。

主な事業費：英語指導助手派遣手数料

施策 1-2-1	63,798 千円（前年度比 増減なし）
----------	----------------------

○各種大会児童・生徒派遣補助金

小学校・中学校・義務教育学校の児童・生徒が文化面・運動面で関東大会以上の大会に出場する際に、財政的な援助を行うもの。

主な事業費：関東・全国大会出場に関連する必要経費の補助金

施策 1-2-1	5,000 千円（前年度比 増減なし）
----------	---------------------

○特色ある教育推進事業

「英語教育」「情報教育」「芸術文化活動」「地域とともに歩む学校」など、確かな学力をはぐくみ、地域から誇りに思える魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動の推進を図るもの。

主な事業費：小学校英語指導助手報酬、研究委嘱校業務委託料

施策 1-2-1	35,352 千円（前年度比 3,079 千円増）
----------	---------------------------

○いじめ防止対策推進事業

いじめ問題等の解決に向けた支援体制の構築、未然防止、早期発見・早期対応等に総合的に取り組むもの。 主な事業：審議会等委員報酬	
施策 1-2-2	265千円（前年度比 ▲1千円）

○市教育研究会事業費補助金

春日部市教育研究会の活動を補助し、教育水準の維持及び向上を図るもの。教育の専門家としての確かな力量を育て、教育や公教育に対する揺るぎない信頼の確立を目指すもの。 主な事業費：市教育研究会事業費補助金	
施策 1-2-1	503 千円（前年度比 増減なし）

○スクール・サポート・スタッフ配置事業

学校教育活動の一層の充実及び教員の「働き方改革」の実現を目的とし、教員の負担軽減を図るため、「スクール・サポート・スタッフ」を配置するもの。 主な事業費：スクール・サポート・スタッフ報酬 小学校・中学校・義務教育学校全校にスクール・サポート・スタッフを配置し、教職員の働き方改革を推進する。	
施策 1-2-1	57,504 千円（前年度比 5,302 千円増）

○部活動指導員配置促進事業

中学校及び義務教育学校における指導体制の充実を図り、部活動を担当する教員の支援を行うとともに、部活動の質的な向上を図るもの。 主な事業費：部活動指導員報酬	
施策 1-2-1	9,986 千円（前年度比 1 千円増）

○小学校保健衛生事務、中学校保健衛生事務

小学校・中学校・義務教育学校の児童・生徒及び教職員を対象に学校保健安全法に定められた健康診断等の健康衛生管理を行うとともに、独立行政法人日本スポーツ振興センター及び全国市長会の保険給付事務を行い、学校教育の充実に資するもの。 主な事業費：学校医等報酬、健康診断委託料、保険負担金	
施策 1-2-1	小62,709 千円（前年度比 ▲5,081 千円）
	中33,020 千円（前年度比 ▲3,399 千円）

3 主な取組

(1) 特色ある学校づくりの推進

- ①個性を伸ばし生きる力の育成を図る教育を推進し、児童生徒が生き生きとした学校生活を送ることができるよう魅力と活力に満ちた信頼される教育、春日部市ならではの特色ある学校づくりを推進する。
- ②学習指導要領の趣旨を踏まえ、「心の教育」の充実と「確かな学力」「健やかな体」の育成を図る教育を積極的に展開し、「知・徳・体」のバランスのとれた児童生徒の育成を目指す教育を推進する。
- ③コミュニティ・スクールの全校実施による地域や保護者の声を生かした学校の特色づくりを支援する。

(2) 基礎学力の定着及び向上

- ①「全国学力・学習状況調査」「埼玉県学力・学習状況調査」「総合学力調査」「スコア型テスト（英語）」等を活用し、児童生徒一人ひとりの基礎的・基本的な内容の定着状況を不断に検証し、その分析結果を指導方法の工夫・改善に生かす。
- ②春日部メソッドを基本とした学習過程の中に児童生徒同士及び児童生徒と教師の交流・表現の場を設定し、豊かな人間関係を築き、思考力・判断力・表現力を育む授業を創造する。

(3) 豊かな心の育成

- ①児童生徒の良さを把握し、豊かな心情と実践力の育成を目指した心の教育を充実させる。信頼関係を基盤に、児童生徒一人ひとりの特性を多面的に把握し、豊かな心と実践力の育成を目指す生徒指導を推進する。
- ②「いじめ・不登校」の未然防止・早期発見・早期解消を重点課題とし、こころのサポートチームによる学校訪問、さわやか相談室、おあしすルームの充実を行うなど、教育相談及び適応指導教室運営を充実させる。また、保・幼・小・中・義務教育学校及び地域社会との連携を図る。
- ③自然体験や社会体験、福祉体験等の体験活動を充実させ、豊かな社会性を身に付けた児童生徒の育成を図る。また、一人ひとりの個性の伸長を目指した生き方指導としての進路指導・キャリア教育の充実を図る。

(4) 心身の健康づくりと体力向上

- ①児童生徒が、自他の生命を尊重し、健康で安全な生活を営めるよう、アレルギー対応を含めた食に関する指導、感染症予防を含めた保健指導、交通事故防止を含めた安全指導等の充実を図る。
- ②生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を送るために基礎的な体力の向上を図り、児童生徒が自ら進んで運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう指導の創意工夫に努める。

(5) 社会の変化に対応した教育の充実

- ①学習者用端末や ICT 機器の効果的な活用により、情報を主体的に判断、活用する能力の育成と情報モラルの育成を図る。また、SDGs 未来都市の一員として、SDGs の視点を持ち、積極的に行動できる心と態度の育成に資する。
- ②キャリア教育を推進し、社会の変化や新しい教育課題に対応する教育の推進力となる人材を積極的に育成する。
- ③日本及び諸外国の文化や伝統等について深く理解し、国際化に対応した豊かな人間性の育成を図る。

(6) 教職員の資質の向上

- ①新たな教育課題に対応した各種研修会の実施や各種訪問指導等により、教職員としての指導力及び資質の向上を図る。
- ②春日部メソッド実践発表会等を通じて、優れた実践の共有化を図る。

(7) 人権教育の推進

- ①人権の意義や重要性についての正しい理解を深め、他者の痛みを共有できる豊かな人間性や社会性の醸成を図る。
- ②同和問題や様々な人権問題を解決しようとする児童生徒を育てる。

(8) 特別支援教育の推進

- ①一人ひとりの障がいの状態、能力及び特性等の教育的ニーズに応じた教育を推進する。
- ②児童生徒や保護者の思いや願いを尊重する適正な就学相談の充実を図るとともに、教育、医療、関係機関等の連携に努める。
- ③特別支援教育コーディネーターの計画的な育成を通して、校内の支援体制の充実を図る。

教育相談センター

1 教育相談センターの目標

家庭における養育や学校教育の充実を図るための相談活動、児童生徒の心のケアや不登校の解決を図るための相談活動及び具体的な自立支援等を通して、子育ての支援やこどもたちの健全な成長と自立に資する。



2 主な施策

○教育相談センター運営事業

こども（小中学生）の養育や教育について「いつでも、だれでも、どんなことでも相談できる体制づくり」を行い、こどもの健全育成と家庭の教育力の向上を図るもの。また、適応指導教室等において、学校に行く気持ちがあがりながら登校できない児童・生徒に対して支援するもの。

主な事業費：臨床心理士への謝礼、相談員補助員への報酬

施策 1-2-2	12,529 千円（前年度比 239 千円増）
----------	-------------------------

○特別支援教育推進事業

特別な配慮を要する児童生徒へのサポート体制を構築することにより、市内のこどもたち一人ひとりの成長と子育てを支援するもの。

主な事業費：指導者等謝礼、消耗品費

施策 1-2-2	2,751 千円（前年度比 7 千円増）
----------	----------------------

○こころのサポート推進事業

いじめや不登校など、学校生活の不安や悩みの解消に向け、専門家が学校訪問等を行うことで、相談体制の拡充を図るとともに、問題の未然防止、早期発見・早期解決に資するもの。

主な事業費：心理士等謝礼

施策 1-2-2	3,000 千円（前年度比 ▲33 千円）
----------	-----------------------

3 不登校支援について

○不登校児童生徒の学校生活や社会生活に適応できる力をはぐくむなど、自立支援を目的とする適応指導教室「そよかぜ」及び「すくすく」と登校したくてもできない状態にある児童生徒への支援を目的とする登校支援指導教室「ステップ教室」の組織的、計画的な指導の充実

- ①心因性の不登校と思われる児童生徒や学校だけの関わりでは登校が困難と思われる児童生徒への体験的な活動を積極的に推進し、自主性、社会性の育成に努める。
- ②一人ひとりの実態に応じて、カウンセリング、体験学習、作業的学習、グループカウンセリング等を行うとともに、専門的な知識を有する臨床心理士の配置により支援の充実を図る。
- ③月曜日から金曜日の午前9時から午後4時まで(庄和分館「すくすく」は、第2及び第4土曜日の午前9時30分から午前11時30分も)開所し、保護者の支援も積極的に行う。
- ④児童生徒の在籍校との連携を密にし、指導や支援の充実を図る。
- ⑤臨床心理士、スクールソーシャルワーカー、適層指導教室相談員等でこころのサポートチームを組織し、学校訪問を定期的に行う。学校やさわやか相談室の不登校への取組について情報を共有し、協議をすることで専門的見地から学校を支援する。

学 校 給 食 課

1 課の目標

児童生徒の豊かな心を育む学校給食の充実に努めるとともに、地元の食材を使用した栄養バランス豊かな学校給食による「食育」を推進する。

また、安定した学校給食の運営ならびに教職員の負担軽減のため、学校給食費の公会計化による適切な管理を行う。

2 主な施策



○小学校給食運営事業、中学校給食運営事業

春日部地域における小学校・中学校の給食運営を行うもの。

主な事業費：消耗品費、賄材料費、備品（調理機器）購入費、給食調理業務委託料

①学校給食費の無償（小学校は1年分、中学校は6か月分）及び中学校の物価高騰分支援を行う。

施策 1-2-3	小 1, 107, 340 千円（前年度比 165, 404 千円） 中 486, 779 千円（前年度比 ▲54, 731 千円）
----------	---

○給食センター運営事業

庄和地域における小学校・中学校・義務教育学校の給食運営を行うもの。

主な事業費：消耗品費、賄材料費、施設修繕料、給食調理業務委託料

①学校給食費の無償（小学校は1年分、中学校は6か月分）及び中学校の物価高騰分支援を行う。

施策 1-2-3	425, 621 千円（前年度比 49, 420 千円）
----------	------------------------------

○学校給食費管理事務

給食費負担金の徴収管理及び助成金の交付を行うもの。

主な事業費：郵便料、口座振替手数料、学校給食費助成金（多子世帯への助成）

①学校給食費の無償（小学校は1年分、中学校は6か月分）及び中学校の物価高騰分支援を行う。

②学校給食費相当額助成金（無償期間におけるアレルギー等による弁当持参者への助成）の交付を行う。

施策 1-2-3	9, 746 千円（前年度比 ▲22, 368 千円）
----------	-----------------------------

3 主な事業の概要

事業名	事業の内容または事業対象
学校給食運営の充実	心身の成長過程にある児童生徒の健全な発達に資するため、バランスのとれた栄養豊かな学校給食の提供に努める。安全で良質な食材を確保するとともに、調理作業においては衛生管理の徹底を図る。 ①対象者（児童生徒：約 14,200 人 教職員等：約 1,400 人 計：約 15,600 人） 単独校調理場方式 児童：約 7,500 人 教職員等：約 700 人 生徒：約 4,150 人 教職員等：約 400 人 共同調理場方式 児童生徒：約 2,550 人 教職員等：約 300 人 ②給食実施状況（完全給食） 単独校調理場方式 小学校：18 校（調理業務委託） 中学校：9 校（調理業務委託） 共同調理場方式 小学校：4 校（調理業務委託） 中学校：2 校（調理業務委託） 義務教育学校：1 校（調理業務委託） ③給食年間予定回数 小学校 182 回 中学校 181 回 ※ 回数については、変更となる場合があります。
学校給食費の管理	児童生徒及び教職員等の負担する学校給食費の収納管理のため、納入額算定、収納消込、例月更正、還付、督促・催告、滞納管理等の事務を行う。また、学校給食費を通じた子育て家庭への支援を行う。 ①学校給食費 単独校調理場方式 小学校：月額 4,400 円 中学校：月額 5,100 円 共同調理場方式 小学校：月額 4,100 円 中学校：月額 4,800 円 ②学校給食費支援 児童生徒の学校給食費を無償（小学校は 1 年分、中学校は 6 か月分）、及び中学校の物価高騰分（春日部地域 1 食 70 円、庄和地域 1 食 80 円）を支援する。 学校給食費相当額助成金（無償期間におけるアレルギー等による弁当持参者への助成）の交付を行う。
学校給食の衛生管理の徹底	栄養士・調理員の腸内細菌検査（腸管出血性大腸菌 O-157 検査含む） 給食食材定期点検

IV 学 校 紹 介

春日部市立

小 学 校 22 校

中 学 校 11 校

義務教育学校 1 校

児童・生徒数、学級数及び教職員数

(令和8年5月1日現在)

	学校名	校長氏名	教頭氏名	児童・生徒数	学級数	学級種別		教職員数
						通常学級	特別支援学級	
1	粕壁小	舘野俊之	池田有理子	620	24	20	知的2・自閉情緒2	38.0
2	内牧小	瀬尾尚丈	柳橋正人	489	21	17	知的2・自閉情緒2	31.0
3	豊春小	今木敏浩	川鍋太希	508	24	17	知的3・自閉情緒4	38.0
4	武里小	小野誠	河野健介	508	20	17	知的2・自閉情緒1	30.0
5	幸松小	瀬高武夫	小高正治	390	16	13	知的1・自閉情緒2	23.0
6	豊野小	加藤大二	菅原千春	320	14	12	知的1・自閉情緒1	22.0
7	備後小	山本智英	中村浩二	214	10	8	知的1・自閉情緒1	18.0
8	八木崎小	江村恵里子	水口学	622	24	19	知的2・自閉情緒3	36.0
9	牛島小	飯塚耕治	中井裕子	422	19	15	知的2・自閉情緒2	30.0
10	緑小	大貫義信	小倉伸也	340	15	12	知的2・自閉情緒1	24.0
11	上沖小	佐藤智恵	榎本充孝	673	26	21	知的2・自閉情緒3	40.0
12	正善小	安東由美子	早乙女泰正	345	15	12	知的1・自閉情緒2	25.0
13	立野小	花車進矢	小松武史	466	21	16	知的2・自閉情緒3	31.0
14	宮川小	中川貴子	佃真人	143	8	6	知的1・自閉情緒1	14.0
15	藤塚小	和田浩	中村ひとみ	328	15	12	知的1・自閉情緒2	24.0
16	小渕小	矢野渡	飯野寧之	285	12	10	知的1・自閉情緒1	20.0
17	武里南小	加納敏幸	金澤康弘	317	15	12	知的1・自閉情緒2	27.0
18	武里西小	岩見奈津枝	佐久間康弘	440	20	14	知的2・自閉情緒4	31.0
19	南桜井小	村松淳一	下山勉	275	16	12	知的2・自閉情緒2	26.0
20	川辺小	生方祐子	関根敦史	336	15	12	知的1・自閉情緒2	25.0
21	桜川小	梶村麗子	蓮見慎哉	561	22	17	知的2・自閉情緒3	36.0
22	中野小	加賀谷徳之	吉田元	307	15	12	知的2・自閉情緒1	24.0
小計				8,909	387	306	81	613.0
1	春日部中	大野明彦	石橋俊之次	759	25	20	知的3・自閉情緒2	50.0
2	東中	三浦力	田儀隆明	595	19	16	知的2・自閉情緒1	38.6
3	豊春中	菊野大	平澤俊一	349	14	9	知的1・自閉情緒4	27.0
4	武里中	樋口誠	清水美宏	478	17	13	知的2・自閉情緒2	36.0
5	大沼中	田村嘉則	井出浩之	612	20	17	知的1・自閉情緒2	37.0
6	豊野中	平原隆範	城島清貴	388	14	12	知的1・自閉情緒1	28.0
7	緑中	大平一義	遠藤武志	231	9	7	知的1・自閉情緒1	23.0
8	大増中	小川智之	菊地ひとみ	244	10	8	知的1・自閉情緒1	22.0
9	春日部南中	内田健二	山下洋一	410	15	12	知的1・自閉情緒2	31.6
10	葛飾中	松原睦	蓮見宣宏	475	16	13	知的2・自閉情緒1	33.8
11	飯沼中	田中理恵子	小田岳士	354	12	10	知的1・自閉情緒1	24.0
小計				4,895	171	137	34	351.0
1	江戸川小中	鈴木美江	平野和教 櫻井稔	(前) 116 (後) 71	(前) 8 (後) 4	(前) 6 (後) 3	知的2・自閉情緒1	(前) 14 (後) 14
小計				187	12	9	3	28.0
合計				13,991	570	452	118	992

学校施設の現況

(令和8年5月1日現在)

学 校 名		保 有 校 地 面積㎡	保 有 運動場 面積㎡	保有 校 舎 面積㎡	保 有 体育館 面積㎡	保 有 給食室 面積㎡	普 通 教 室 保有数	特 別 教 室 保有数	特 別 教 室 内 訳													
									理 科	生 活	音 楽	図 工	美 術	技 術	家 庭	外 国 語	視 聴 覚	C P	図 書	特 活	教 相	進 路
1	粕 壁 小	21,834	9,182	6,333	936	378	24	13	1		1	1			1	1		1	1	5	1	
2	内 牧 小	20,087	9,222	5,888	996	267	21	10	1	1	1	1			1	1			1	2	1	
3	豊 春 小	19,899	9,200	6,099	958	402	24	14	1		1	1			1	1			2	7		
4	武 里 小	11,343 (3,710)	5,379	4,869	824	187	20	9	1		1	1			1	1		1	1	1	1	
5	幸 松 小	22,125	8,845	5,463	701	229	16	9	1		1	1			1	1			1	2	1	
6	豊 野 小	22,779	9,361	6,388	706	187	14	15	1	1	2	1			1	1	1	1	1	4	1	
7	備 後 小	19,389	7,208	5,329	938	284	10	12	1		1	1			1			1	1	5	1	
8	八 木 崎 小	26,362	12,124	6,595	929	226	24	17	1	1	1	1			1	1		1	2	7	1	
9	牛 島 小	33,739 (4,063)	19,520	7,104	929	215	19	20	1	1	1	1			2		1		2	10	1	
10	緑 小	30,509	15,488	5,908	936	226	15	12	1	2	1	1			1	1			1	3	1	
11	上 沖 小	25,072	10,128	6,778	936	268	26	8	1	1	1	1			1	1			1	1		
12	正 善 小	23,365	9,391	6,489	936	216	15	17	1		1	1			1	1		1	1	9	1	
13	立 野 小	25,016	10,891	6,816	936	274	21	20	1	1	2	1			1	1		1	1	10	1	
14	宮 川 小	28,756 (522)	13,812	5,019	936	245	8	14	1		1	1			2	1			1	7		
15	藤 塚 小	28,088	13,117	5,179	936	240	15	19	1		1	1			1	1	1	1	1	10	1	
16	小 渕 小	25,901	12,200	5,096	936	256	12	15	1		1	1			1		1	1	1	7	1	
17	武里南小	20,043	7,321	7,278	1,314	450	15	12	1		2	1			1			1	1	4	1	
18	武里西小	20,811	7,547	7,021	910	464	21	11	1		2	1			1			1	1	3	1	
19	南桜井小	13,927	6,795	4,697	760		16	13	1	1	2	1			1				2	4	1	
20	川 辺 小	20,182	5,782	4,649	810		15	10	1	1	1	1			1	1		1	1	2		
21	桜 川 小	33,034	10,015	5,626	1,474		22	12	1	1	1	1			1				1	5	1	
22	中 野 小	21,789	12,120	3,566	829		15	8	1		1	1			1			1	1	2		
	小 計	514,050	224,648	128,190	20,566	5,014	388	290	22	11	27	22	0	0	24	14	4	13	26	110	17	0
1	春 日 部 中	25,114	12,402	7,272	1,906	302	25	15	2		3		2	2	2				1	2	1	
2	東 中	29,144	17,097	7,670	2,135	453	19	24	2		2		2	1	2			1	1	10	3	
3	豊 春 中	25,380	14,760	5,587	1,056	302	14	12	2		2		1	2	2				1	1	1	
4	武 里 中	37,457	15,263	5,886	2,814	317	17	18	2		2		2	2	2			1	1	4	1	1
5	大 沼 中	31,704	14,548	7,337	1,087	308	20	14	2		2		2	2	2				1	1	1	1
6	豊 野 中	30,527	13,993	6,957	1,087	306	14	19	2		2		2	2	2			1	1	5	1	1
7	緑 中	26,240 (596)	11,209	5,741	1,097	300	9	16	2		2		2	2	2				1	3	1	1
8	大 増 中	32,752	15,812	5,836	1,112	305	10	16	2		2		2	2	2			1	1	2	1	1
9	春日部南中	27,093	11,337	6,523	1,087	307	15	18	2		2		1	2	2			1	1	6	1	
10	葛 飾 中	32,464	19,667	6,403	1,312		17	16	2		2		1	2	2			1	2	2	1	1
11	飯 沼 中	31,845	14,262	4,764	1,001		12	14	2		2		1	2	2				2	2	1	
	小 計	329,720	160,350	69,976	15,694	2,900	172	182	22	0	23	0	18	21	22	0	0	6	13	38	13	6
1	江 戸 川 小 中	24,288	16,553	4,246	690		12	10	1		1		1	1	2				2	1	1	
	小 計	24,288	16,553	4,246	690		12	10	1		1		1	1	2				2	1	1	
	合 計	868,058	401,551	202,412	36,950	7,914	572	482	45	11	51	22	19	22	48	14	4	19	41	149	31	6

出典：施設台帳

()内数値は借地・借用外数



学校名 **春日部市立粕壁小学校**

校長名 **館 野 俊 之**

所 在 地 春日部市粕壁東三丁目 2 番 19 号
連 絡 先 048-754-6321 FAX 048-763-9674
創 立 明治 5 年 10 月 1 日
開校記念日 11 月 15 日
児 童 数 620 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

「未来を創造する児童の育成」
～粕壁メソッドの開発を通して～



1 沿革

本校は、明治 5 年、日光街道粕壁宿最勝院に小学校を創設したことにさかのぼる。以来、震災による 2 度の校舎倒壊などを経て、昭和 13 年に現在の地へ移転した。翌 14 年 11 月 15 日に木造校舎落成式典を行い、この日を開校記念日とした。児童数増加に伴い、昭和 47 年には八木崎小学校が、昭和 51 年には緑小学校・上沖小学校がそれぞれ本校より分離し新設された。今年度、開校 155 年目の歴史と伝統のある学校である。

平成 9 年度以来、継続して英語教育に関する研究に取り組んできた。その実践は一定の成果を上げ、当初の目的を果たした。そこで、英語の研究で培ってきた財産である他者とのかかわり、伝え合う力を生かし、今年度から、特別活動を柱に新たな学校課題研修に取り組んでいく。

2 学校教育目標

「心身ともに健康で豊かな心情にみちた実践力のある人間の育成」

社会の変化が激しく、考え方や生き方が多様化している中で、主体的・創造的に力強く生き抜いていくためには、「生きる力」を着実に身に付けさせることが肝要である。これは、春日部市教育行政の重点施策に掲げられている「かすかべっ子はぐくみプラン」と同義のものである。児童が生涯にわたり、自ら考え判断し行動できる基盤を培い、「知・徳・体」の調和のとれた「実践力」のある人間を育成することを期し、上記の学校教育目標としている。

3 本年度の取組

「粕小を粕小化する」を合言葉に、「伝統と創造」を大切にし、一人ひとりに「夢と誇り」を育む粕小ならではの教育活動を推進する。そのために目指す学校像を「豊かな学びでよさを磨く学校」とし、職員が丸一となって教育活動に取り組む。本年度は、「よさを認め、励まし、さらに伸ばす」ことに重点を置く。

① 豊かな学びを進める学校

- ・学ぶことの楽しさや喜びを体得できる指導方法の工夫・改善に努め、学力向上を図る。
- ・様々な集団活動への主体的な取組を通して、自治的能力や自己指導能力を育成する。
- ・道徳授業の充実、学年交流・異学年交流、集会活動等を通し、人としての生き方を追究し、人間関係を深め、豊かな体験により道徳的な実践力のある児童を育成する。
- ・安心安全に学べる体育環境の整備・充実、課題の解決に向けて主体的に運動する体育授業の実践、運動好きで自らの健康と体力の向上をしようとする児童を育成する。

② よさを磨く学校（よさとは一人ひとりの宝物）

- ・児童のよさを発見し、認め、励まし、さらに伸ばす教育を推進する。
- ・相手を理解し、思いやりのある行動を積極的に進める。
- ・学年や発達段階に応じた、教科等で身に付けるべき学力を明確にし、児童一人ひとりが成就感と達成感を味わう授業を目指す。
- ・児童の活動や頑張る姿から、「粕小の自慢、粕小の誇り」を具体化させていく。



学校名 **春日部市立内牧小学校**

校長名 **瀬尾 尚 丈**

所 在 地 春日部市内牧 2415 番地 2

連 絡 先 048-752-3256 FAX 048-763-9675

創 立 明治 6 年 7 月 18 日

開校記念日 7 月 18 日

児 童 数 489 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)



1 沿革

本校は、明治 6 年、内牧村矢島芦丸氏宅（初代校長）に、内牧第 114 番地小学校として開校したところから始まる。明治 12 年に香林寺に移転し、明治 20 年に内牧尋常小学校と改称、明治 35 年に現在地に校舎を新築する。昭和 29 年には春日部市立内牧小学校となり、令和 5 年度に開校 150 年の歴史を迎えた。

内牧地区は、緑豊かな台地に位置し、果樹や花卉栽培の盛んな地域であり、自然環境に恵まれている。

2 学校教育目標

よく考える子（かしこく） 思いやりのある子（なかよく） 体をきたえる子（たくましく）

3 目指す学校像

学校教育目標を達成するため、「笑顔あふれる学校 ～こどもたちの笑顔が教職員・保護者・地域の笑顔へ～」を目指す学校像とし、全職員の創意と英知を結集し、日々の教育活動に取り組んでいる。

○こどもたちの「できた」「わかった」を増やすために

【重点 1】

「凡事徹底」あたりまえのことをあたりまえに行う

- 学習指導要領に即した授業
- 授業時間の確保
- 適時適切な声かけ（ほめる・認める言葉）
- こどもの居場所づくり（よさを伸ばす）

【重点 2】

「常態のレベルアップ」日々の積み重ね

- 常に「+1」を意識する。
- 前例踏襲のメリットとデメリットの吟味
- 非日常（行事）と日常のメリハリ
- コロナ禍対応から現対応へ
- 研修の推進



○学校・地域のよさを生かして

- あいさつができるこどもを育てる。
- 体験を重視した取組を通して豊かな感性があるこどもを育てる。
- よさを認め合う学校風土づくりを行う。
- 業間マラソンで心身を鍛え、粘り強く取り組む力をつける。
- 魚の残食率を減らすため、「魚プロジェクト」に全校で取り組む。
- 産直の里「内牧」のよさを生かし、多様な体験活動から食育を実施する。
【とうもろこし・グリンピースやそら豆の皮むき ごまの苗植え・収穫 梨農家・トマト農家との連携など】
- 学校応援団活動の充実で元気なこどもを育てる。
- 地域の活動へこどもたちの積極的な参加を促す。
- 地域社会の一員としての役割を理解し、活躍するこどもを育てる。





学校名 **春日部市立豊春小学校**

校長名 **今 木 敏 浩**

所 在 地 春日部市道順川戸 37 番地 1

連 絡 先 048-754-0726 FAX 048-763-9676

創 立 明治 6 年 4 月 6 日

開校記念日 10 月 15 日

児 童 数 508 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

「こどもが主語の学びの実現」(全教科・2 年次)

～ICT の効果的な活用～

1 沿 革



本校は、明治 6 年、花積の東西寺に花積学校が、上谷原に谷原学校が創設されたことから始まる。明治 19 年には、この二校を統合して増富学校ができ、その増富学校を明治 23 年 10 月 15 日に豊春小学校と改称、この日を開校記念日とし、今年度開校 153 周年を迎えた。昭和 52 年に立野小学校、昭和 53 年に宮川小学校が新設され、それに伴って、東武アーバンパークラインと国道 16 号線にはさまれた地域が本校の学区となる。

本校の校章に示された 2 つの稲穂は、豊かな自然の恩恵と人の和に支えられた郷土の学校を表すとともに、学校・家庭・地域の絆や連帯感を象徴している。

2 学校教育目標 **みんな友だち 豊かな心 あふれる意欲**

- 学び合い・伝え合い (知) … よく学び 力をつける子
 - 支え合い・思い合い (徳) … 友だちと なかよくできる子
 - 高め合い・育ち合い (体) … はつらつと 体をきたえる子
- 生きる力を支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育み、地域や社会のために貢献できる人間を育てる。

3 目指す児童像

- 【知】◇基礎的・基本的知識・技能が身についている子
◇自ら課題を持ち、友達と力を合わせ探究的に学ぶことができる子
- 【徳】◇相手の立場や気持ちを理解し、相手を思って行動できる子
◇感謝の気持ちを言葉や行動で表すことができる子
- 【体】◇運動の楽しさを知り、力いっぱい運動できる子
◇目標に向かって最後までやり抜くことができる子



4 本年度の取組 「一人一人が輝く みんなで輝く 笑顔いっぱいの学校」

- (1) 学び合い・伝え合う児童の育成
 - ・「こどもが主語」となる授業づくりを推進し、自ら問い、考え、表現する学びを大切にする。
 - ・ペア・グループ学習や話し合い活動を充実させ、互いの考えを認め合いながら学びを深める。
 - ・一人ひとりのよさを生かし、仲間と力を合わせて学びを高める「スイミーな学校」の学び合いを推進する。
- (2) 支え合い・思い合う児童の育成
 - ・「あいさつ 春日部 NO.1」を合言葉に、学校・家庭・地域のつながりを大切にしたあいさつを推進する。
 - ・道徳教育や体験活動を通して思いやりや感謝の心を育て、互いを認め合う人間関係づくりを進める。
 - ・生徒指導対応教諭、学校教育相談主任を中心に、教育相談機能（豊春中・関係諸機関）の充実を図り、良好な人間関係と信頼し合える関係を醸成する。
 - ・一人ひとりの違いやよさを尊重し、仲間と支え合う「スイミーな学校」の集団づくりを推進する。
- (3) 高め合い・育ち合う児童の育成
 - ・こどもの外遊びの機会確保と体育的活動の工夫と共に、運動量を確保した日々の授業づくりを推進し、運動の日常化、運動習慣の定着を図る。
 - ・むし歯治療率の向上、給食指導の充実を図ることで、保健・安全教育、食育を推進する。
 - ・異年齢による交流活動を通して、高め合い、育ち合う個と集団の育成を推進する。





学校名 **春日部市立武里小学校**

校長名 **小野 誠**

所在地 春日部市備後西五丁目5番2号

連絡先 048-735-3026 FAX 048-734-9402

創立 明治6年5月

開校記念日 6月5日

児童数 508名(令和8年5月1日現在)

開校153年を迎える歴史と伝統のある学校です。本校児童は、地域の学校に寄せる深い愛情と期待に支えられ、伸び伸びと学校生活を送っています。本校に関わる者すべてにとって子ども達が明るい希望であること、また、まっすぐに伸びていくことを願って、本校児童は「わかたけっこ」という愛称で親しまれています。

1 学校教育目標 「伸びよ わかたけ 明るい 希望」

かしこく 〈知〉【主体的に学ぶ力の育成・学力の向上】

なかよく 〈徳〉【思いやりの心・協力し合う態度の育成】

たくましく 〈体〉【体力の向上・たくましい心の育成】



2 学校経営方針

地域立武里小学校 = 児童・保護者・地域・教職員が誇りにする学校

(1) 目指す児童像

「何事にも一生懸命取り組む心豊かな児童」

- ① 主体的に学習に取り組み、確かな学力を身に付けている児童
- ② 思いやりの心を持ち、仲間と協力して取り組む児童
- ③ 進んで運動に親しむ児童
- ④ 自己肯定感の高い児童
- ⑤ 最後まで粘り強くやり抜く児童



(2) 目指す学校像

「一生懸命いっぱい、思いやりいっぱいの心豊かな児童を育てる学校」

- ① 児童主役の授業が展開され「わかった・できた」となる確かな学力を育む学校
- ② 互いに認め合い、信頼し合い、励まし合える学校
- ③ どの学年でも「あいさつ・返事・後始末・くつそろえ」があたりまえにできる学校
- ④ 保護者・家庭・地域との協働を積極的に進める学校
- ⑤ 「共通理解・共通行動・一致団結」する教職員の学校



(3) 目指す教師像

「豊かな人間性と専門性を持ち、児童・保護者・地域に信頼される教師」

- ① 児童一人ひとりを大切にする教師
- ② 確かな学力の定着につながる授業を実践する教師
- ③ 積極的な児童理解を通し、常に児童に寄り添える教師
- ④ 広い視野を持ち、自己研鑽に励む教師
- ⑤ 組織の一員として、チームワーク(目標を共有し、協働する)を大切にする教師
- ⑥ 創造力・想像力(相手の気持ちを察する・行動態度で示す)をもった教師
- ⑦ 児童・保護者の声には、まず傾聴し、迅速・誠実・丁寧な対応ができる教師



3 本年度の重点・努力点

- | | | |
|--------------------------|---------------|-----------|
| (1) 確かな学力の定着・向上 | (2) 心豊かな児童の育成 | (3) 体力の向上 |
| (4) 自立心をもつ児童の育成 | (5) 家庭・地域との協働 | |
| (6) 学校経営への積極的参画、研究・研修の推進 | (7) 働き方改革の推進 | |

4 本年度の学校課題研究

研究教科 全教科

研究主題 一人ひとりが主体的に学ぶ個別最適な学びと協働的な学びの創造



学校名 **春日部市立幸松小学校**

校長名 **瀬 高 武 夫**

所 在 地 春日部市八丁目 353 番地 1

連 絡 先 048-752-3215 FAX 048-763-9677

創 立 明治 6 年 5 月 1 日

開校記念日 5 月 1 日

児 童 数 390 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)



＜本年度の研究テーマ＞ 「進んで伝え合う児童の育成」(国語科を中心に)

【学校の沿革と特色】

○明治6年に小淵学校・牛島学校・文友学校としてスタートし、明治25年に幸松尋常小学校となり創立153年を迎える歴史と伝統ある小学校である。

○春日部駅東口から北東へ約1.2km、大落古利根川を渡ったところに位置している。広大な学区には商業施設やマンション・豊かな田園が混在しており、国道4号と16号が交差する交通の要衝でもある。

【学校教育目標】

○かしこく(知) ○たくましく(体) ○あたたかく(徳)

目指す学校像 学校の教育力を高め、一人ひとりが自分色に輝く学校

～地域とともに歩む「チーム幸松小」～

目指す児童像 自らを磨き、自分色に輝く児童

目指す教師像 常に自らの資質・能力を磨き、児童一人ひとりを認め、伸ばす教師

【本年度の重点・努力点】

令和7年度から**常態のレベルアップ**を目指す！ ～みんなでつくろう！みんなかがやく幸松笑楽好～
笑顔いっぱい・楽しさいっぱい・みんな大好き

- (1) 学校課題研修を核に据え、全教科等の授業を中心とした教育活動の充実により「3つの資質・能力」を育成していく。(基礎基本の定着、自ら学び自ら解決する力・自己表現力の育成)
- (2) 体力の向上を目指し、運動に親しみ健康に生活する力を育成する。
- (3) 心の教育の充実を目指し、思いやり・協調性・人間関係力の育成と、多様性への理解を図る。
- (4) 安全な学校づくりを目指し、安心して通える学校、事件・事故のない学校づくりに努める。
- (5) 保護者、地域、教職員がスクラムを組む学校「チーム幸松小」の充実
- (6) インクルーシブ教育の充実、美しく潤いのある快適な教育環境づくりの推進
- (7) こどもと向き合う時間を確保し、学校教育の質の維持向上を図る働き方改革の推進
- (8) 信頼される学校づくり(教職員不祥事根絶の徹底)

【特色ある教育活動】

- (1) 本校は、歴史と伝統を継承する「地域とともに歩む学校」であり、今年度、開校153年目を迎えた。保護者・地域の方々による学校応援団の諸活動が盛んであり、放課後こども教室(幸松っ子くらぶ)も、地元の指導者の支援により、児童が楽しめる企画等が実施されている。また、学区内には、市立東中学校や県立春日部東高校、春日部女子高校、春日部特別支援学校があり、児童と生徒との交流、教職員同士の連携等を推進している。

令和3年度からはコミュニティ・スクールとなり、学校運営協議会を通して登下校時の安全確保等の課題解決に取り組み、大きな成果を上げることができた。

- (2) 令和2年度より春日部市教育委員会の研究委嘱を受け、継続的に国語の研究を行い、読解力・表現力の育成に取り組んできた。本年度からは新たに春日部市教育委員会の委嘱を受け、これまでの研究を深化・発展できるように今までの取組を生かし、教科横断的な視点での言語活動の充実を図り、表現力の向上を目指す。
- (3) こども達が自分色に輝く姿は、日々学校ホームページのブログでも紹介している。特に、授業の様子や校地内の美しい自然環境を意図的に取り上げ、幸松小学校の魅力を発信し続けている。「毎日が学校公開」を合言葉に、学校・家庭・地域を結ぶ、幸松笑楽好ホームページを目指し、毎日の更新に努めている。

幸松っ子、教職員が「自分色に輝く姿」を中心に、幸松笑楽好の魅力を発信し続けていく。



学校名 **春日部市立豊野小学校**

校長名 **加藤 大二**

所在地 春日部市銚子口 1087 番地

連絡先 048-735-2112 FAX 048-734-9403

創立 明治 6 年 5 月 1 日

開校記念日 5 月 1 日

児童数 320 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

未来を拓く「学びの自己調整力」の育成 ～自ら明日へつなげる学びを目指して～

(春日部市教育委員会委嘱 算数科 1 年次)



1 沿革

本校は、明治 6 年、藤塚学校として開校し、農村地区の学校として長い歴史をもっている。昭和 45 年頃から都市化が始まり、新興住宅の建設に伴い児童数が急増したため、昭和 54 年には藤塚小と分離し、今年度開校 153 年を迎える。豊かな自然環境の中で、児童は優しく明るく伸び伸びと育っている。

2 学校教育目標

「豊かな心もち 自ら学ぶ たくましい子」

知育・徳育・体育において一人ひとりを大切にしたいきめ細かな指導を充実させて、「生きる力」を育むことを目指している。

目指す学校像 『地域とともに育む 明るいあいさつと歌声が響く やさしさと笑顔あふれる学校』

合言葉 1 『笑顔で元気なヤーマンあいさつ』

合言葉 2 『読書 自主学习 外遊び』



㊦・・・ともだちいっぱい ㊧・・・よろこびいっぱい ㊨・・・のびよう豊野っ子

150 周年キャラクター
「元気ヤーマン」

3 目指す児童像

「学びあう子」(意欲的に学習に取り組み、自分の思いや考えを深める児童の育成)

- ①学習規律の確立 ②基礎基本の定着 ③仲間と学び合い、自分の考えを伝える学習の工夫 ④既習を生かし新たな課題解決に取り組む授業の工夫改善 ⑤家庭学習の習慣化

「助けあう子」(思いやりの心を持ち、けじめある生活ができる児童の育成)

- ①笑顔で元気なあいさつと返事 ②決まりを守った行動 ③清掃活動に進んで取り組む ④自他を大切にし、友達と仲良くできる ⑤感謝や思いやりの気持ちを言葉や行動に表せる

「きたえあう子」(自ら進んで体をきたえる児童の育成)

- ①めあてを持って運動に取り組む ②外で元気に遊ぶ ③根気強く運動に取り組む ④早寝早起き朝ごはんの規則正しい生活習慣の確立 ⑤食育の推進



4 本年度の取組

プロの教育者としての誇りをもち、率先垂範、凡事徹底、こども達を確実に成長させる教職員集団としての自覚を胸に職務に当たるべく、本年度、教職員の合言葉を「豊野プライド」と定めた。併せて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図るべく、本年度から 3 年間、春日部市教育委員会からの委嘱を受け、算数科の研究に取り組んでいく。

また、本校の特色として、伝統的に『創意を生かし、魅力ある豊野小学校の創造』～【豊野小・10 コスモス】を掲げている。「①3 つの宝②3 つの誇り③3 つのあい④3 つの大切⑤3 つの学び⑥3 つの徳育⑦3 つの健康⑧3 つの環境⑨3 つの活動⑩3 つの連携」の 10 の価値項目を「10 のコスモス」として、豊野っ子の健全育成を図ってきた。本年度も継続して各項目の取組を充実させ、魅力ある豊野小学校を創っていく。



学校名 **春日部市立備後小学校**

校長名 **山本 智英**

所在地 春日部市備後西三丁目2番1号

連絡先 048-735-8479 FAX 048-734-9407

創立 昭和47年4月1日

開校記念日 6月25日

児童数 214名（令和8年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

算数科の特性を踏まえた ICT の適切な活用

～全職員で取り組む数学的な見方・考え方を豊かにする授業づくり～

1 沿革

本校は、昭和47年に開校し、本年で55年目を迎える。校章のデザインになっている「山吹の花」は、昔、本校が所在する備後須賀地区にたくさん咲いており、地域の方々に「山吹の里」として親しまれたことに由来している。美しい緑の環境の中に五地区（備後、東急、大場、大畑、大枝）の子らが仲良く和し、山吹の花のように明るく、元気な子として、力いっぱい学業に励むようお願いをこめて作られた。

2 学校教育目標／目指す児童像

進んで学ぶ子	課題をもって学習をする子 よく聞き、よく考え、考えを伝えられる子 体験を通して学ぶ子
思いやりのある子	励まし合い、認め合い、助け合える子 礼儀正しく、きまりを守る子 よさや美しさに感動をする子
健康な子	みんなと協力して働く子 進んで運動をし鍛える子 規則正しい生活をする子 めあてをもってやりぬく子 正しく判断し行動する子



3 目指す学校像

一人ひとりが豊かに伸びゆく 笑顔あふれる備後小学校

4 目指す学校像の具現化に向けた今年度の取組

- 「学びがいっぱい」の笑顔：学びあううれしさを実感できる学校
 - ・「考える・学び合う・わかる」授業の積み重ね
 - ・安心・集中するための学習規律づくり
 - ・授業と家庭学習で学ぶ構えづくり
 - ・効果的に ICT を用いる授業の実践
- 「汗いっぱい、やる気いっぱい」の笑顔：潤いと落ち着きのある学校
 - ・基本的な生活習慣の育成
 - ・体力向上の取組推進
 - ・安心安全・おいしい給食の実施
 - ・学習環境の整備（季節感・清潔感）
 - ・「時を守り 場を清め 礼を正す」の励行
 - ・計画的な安全、健康教育の実施
 - ・施設、備品等の点検・管理
- 「友達いっぱい、優しさいっぱい」の笑顔：豊かな心を育む学校
 - ・自分らしくいられる学級、学校づくり
 - ・特別支援教育の充実
 - ・読書活動の推進
 - ・豊かな心を育む道徳教育の充実
 - ・地域と連携した体験活動や行事の実施
 - ・よりよい学校づくりへの参加機会の創設
- 「愛情いっぱい」の笑顔：保護者や地域に信頼される学校
 - ・学校運営協議会の充実
 - ・学校便りやHPによる積極的な情報発信
 - ・地域の伝統や教育資源を活用した授業や体験活動
 - ・学校応援団、ボランティアの方々との連携



学校名 **春日部市立八木崎小学校**

校長名 **江村 恵里子**

所在地 春日部市中央四丁目1番地

連絡先 048-754-4433 FAX 048-763-9669

創立 昭和47年4月1日

開校記念日 5月10日

児童数 622名（令和8年5月1日現在）

1 概要

本校は昭和47年4月、粕壁小学校と豊春小学校の過密解消のために開校し、今年度で開校55年目を迎えます。

校区は、春日部市の中心に位置し、春日部駅西口繁華街、商店街、若干の田園地帯と八木崎駅周辺の住宅街を併せもっています。



2 教育計画

『チーム八木崎小』として、志を一つにして『熱意・誠意・創意』をもって教育活動を推進する。（○「凡事徹底」を大切にし、「率先垂範」を示す。○多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、すべてのこどもの学力を高める。○児童を認め、伸ばし、称賛し、一人ひとりの自己肯定感を高揚させる。○人権や生命を守り、安全で安心して学べる教育環境づくりを推進する。○家庭・地域と連携を図り、協働で教育活動を推進する。）という学校経営方針のもと、学校教育目標として「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」を掲げ、調和のとれた児童の人間形成に努めています。また、目指す学校像を「地域とともにほぐむ笑顔が輝く 活力ある学校」とし『気づき 考え 行動し とともに伸びゆく八木崎小』の実現に向けて、日々の教育活動を推進しています。

3 特色ある教育活動

① 思考力・判断力・表現力等の育成を目指した指導方法の工夫

令和5年度から令和7年度まで、春日部市教育委員会委嘱の「国語科」の研究に取り組んできました。研究発表会を経て、令和8年度は、これまでの3年間の研究の成果をもとにし、さらなる「児童が自ら学び、思いを豊かに表現するための『伝える力』」を高めていけるようにしていきます。

② 春日部夢の森公園での活動

市内の「春日部夢の森公園」での植樹に開園当時から取り組んでいます。昨年度は2年生が体験をし、今年度は1年生が体験を行う予定です。昨年度実施した2年生では、ドングリなどの木の植樹以外にも、自然観察を行ったり、校内で集めたドングリなどを使いながらこま作りを行ったりする活動もしました。



③ 羽根つき

春日部の伝統産業である羽子板に親しみ、郷土を愛する心を育てることをねらいとして「羽根つき」に取り組んでいます。異学年での「なかよし遊び」でも、12月と1月には高学年と低学年がペアとなり、「羽根つき」を楽しんでいます。高学年の児童が低学年の児童が打ち返しやすいうように羽根をつく温かい姿がみられる行事です。



④ 新街角こどもギャラリー

「公民館を地域の活動拠点として、地域づくり、人づくり、つながりづくりを支援し、地域の活性化を図る」という春日部市地区センター設置方針を受け、関連施策を展開するため、粕壁市民センター（中央公民館）に、本校児童の作品を20点展示させていただきました。自分の作品が地域に受け入れられることは、子どもたちにとってこの上ない大きな励みとなっています。



学校名 **春日部市立牛島小学校**

校長名 **飯塚 耕治**

所在地 春日部市牛島 1080 番地

連絡先 048-761-1689 FAX 048-763-9670

創立 昭和 50 年 4 月 1 日

開校記念日 11 月 15 日

児童数 422 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

主体的・対話的で深い学びを実現する児童の育成 ～一人一人の確かな学力の定着を目指す授業づくり～



◎本校の特色

藤の牛島駅より徒歩で 10 分。西に大落古利根川、東に倉松川が流れる田園地帯に昭和 50 年に開校し、今年度創立 52 年目を迎える。広い敷地と緑豊かな環境の中で、10 年後のこどもの姿を見据え、「生きる力」を一人ひとりの児童に身につけさせるため、学校教育目標である知・徳・体のバランスのとれた児童の育成を目指している。

学校教育目標

○思いやりのある子 ○進んで学ぶ子 ○たくましい子

目指す学校像

教育力を結集し、子供を「やる気」にさせる学校
～学びにかかわるみんなが楽しくみんながうれしい牛島小～

◎春日部メソッド「伝え合い 学び合い 育ち合い 思い合いがうれしい教室 うれしい学校」の具現化

令和 6 年度より 3 年間、春日部市教育委員会の委嘱を受け、「主体的・対話的で深い学びを実現する児童の育成」をテーマに研修に取り組んでいる。また、年間を通して、各種学力調査の分析結果をエビデンスとして、授業改善を図るとともに、国語・算数の指導者を招聘しての講義・演習、研究先進校の視察、近隣の小・中学校との実践交流などで教員の資質・向上を図る。さらに、授業研究会（低・中・高・特支で 1 本ずつ）やブロック授業研究会、若手教員を対象としたスキルアップ研修を行う。

◎総合的な学習の時間を核にしたカリキュラムマネジメントと教育活動の推進

教科横断的、系統性を意識した探究活動を行い、体験的な学習を取り入れた活動を創造している。外部機関との連携を推進して、年間指導計画へ位置付けている。小学校 6 年生の目指す姿をゴールとし、それが確実に具現化できるようにしていく。

◎地域と共に歩む学校づくり

目指す学校像『教育力を結集し、子供をやる気にさせる学校 ～学びにかかわるみんなが楽しくみんながうれしい牛島小～』の具現化に向け、学校、家庭、地域の教育力を結集して、『自らを「磨く」児童』の育成を目指している。そのための方策として、学校運営に関して意見をいただく場としての学校運営協議会を年 5 回計画している。各分掌主任からの資料提示をして学校の現状を伝えての協議や、リーダー教員である各学年主任と運営協議会委員との懇談を行う。多くの職員が運営協議会委員と繋がる場を設け、安心安全な学校のために熟議を行い、行事への協力等運営に関わる計画を立てている。また、「毎日が学校公開」を合言葉に、ホームページをほぼ毎日更新したり、各種たより等で児童一人ひとりの活躍を積極的に発信していく。

◎五つの心の重点化

牛島小学校「五つの心（感謝する心）（感動する心）（やり抜く心）（思いやる心）（奉仕する心）」を、長年続く伝統として受け継いでいる。折に触れ五つの心を具現化している具体的な場面や言動を取り上げ、全校児童に意識付けを図っている。



学校名 **春日部市立緑小学校**

校長名 **大 貫 義 信**

所 在 地 春日部市緑町五丁目 4 番 1 号

連 絡 先 048-736-3745 FAX 048-734-9425

創 立 昭和 51 年 4 月 1 日

開校記念日 11 月 15 日

児 童 数 340 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

「子どもが幸せに育ち、自ら健康に生きる体育の創造
～運動×保健の相乗効果を高める新たな学びの実現～」



伝え合う力を醸成する授業実践の様子

緑小マスコット
「ミラ・ドリ・リン」



本校は、昭和 51 年 4 月 1 日に粕壁小学校より分離開校し、昨年度 50 年目の節目の年を迎えた。教育環境に恵まれ、敷地の東側は、豊かに水をたたえた大落古利根川沿いの遊歩道に隣接しており、桜の季節の景観は見事である。

広い校庭も木々に囲まれ、児童は、思い切り運動や外遊びを楽しんでいる。本校の沿革を紐解くと、開校当初より安全教育、緑化教育、歯科、保健、学校給食、伝え合う力の育成など、継続的な実践により多くの成果を上げてきている。

目指す学校像を「学びをつなぎ やり抜く力を伸ばし 地域とともに 自信と意欲を育む学校」とし、

- ①確かな学力の育成
- ②豊かな心の育成
- ③体力を高め、健やかな体の育成
- ④美しく安心安全な学校づくり
- ⑤家庭・地域とともに歩む学校づくり
- ⑥自律と挑戦を支える組織づくり

を基本理念に、児童の知育・徳育・体育の調和を図り、心身共に健全な児童の育成に取り組んでいる。

本校の特色の一つである、「豊かな心を育む教育活動」と「地域と連携した教育活動」のより一層の推進のため、教育課程上に多くの体験活動を位置付けている。4 年生では、障がい者福祉や高齢者福祉の推進など、心を育む体験活動を行っている。昨年度は、車いす体験や手話体験等を通して、障がいのある方の気持ちを、身をもって体験することができた。また、障がいのある方からのお話を聞く中で、より深く障がいがある方々への理解を深めることができた。今年度も社会福祉協議会や関係機関と連携を図りながらの体験を計画している。1 年生では、動物介在教育を実施した。セラピー犬との触れ合いを通して、思いやりや責任感、命の大切さを学ぶことにつながった。様々な児童に対しても情緒の安定や対人関係の改善の効果も見られ、動物が媒介になることで、安心感のある学習環境が生まれ、主体的な関わりを引き出すことができた。



ふれあい祭りの様子



軽スポビックの様子



車いす体験の様子

平成 18 年から始まった放課後こども教室（囲碁教室）では、囲碁に興味をもつ児童が集まり、学校応援団の講師の丁寧な指導のもと楽しんで囲碁を打っている。本年度も 5 月に参加者を募集し、新しいメンバーでより一層の活性化が見込まれている。

今年度から、春日部市教育委員会より 2 か年の委嘱を受け、「子どもが幸せに育ち、自ら健康に生きる体育の創造 ～運動×保健の相乗効果を高める新たな学びの実現～」のテーマで研究を進めていく。この 2 年間の研究を通して、体育科を軸として「防衛体力」の視点を重視し、運動領域と保健領域を関連させた学習過程を充実させ、主体的に健康課題を解決しようとする児童の育成を目指し、教職員一丸となって研究に取り組んでいく。



学校名 **春日部市立上沖小学校**

校長名 **佐藤 智恵**

所在地 春日部市大沼五丁目 44 番地

連絡先 048-736-3710 FAX 048-734-9426

創立 昭和 51 年 4 月 1 日

開校記念日 11 月 15 日

児童数 673 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

＜本年度の研究テーマ＞



主体的な学び手の育成

～「問い」を手がかりにした課題発見型学習を通して～

本校は昭和 51 年 4 月、粕壁小学校、武里小学校からの分離により小字「上沖」の地に開校し、本年度で開校 51 年目を迎える。敷地内にはたくさんの樹木が生い茂り、全校児童がマラソンを楽しめる「林間マラソンコース」や、たけのこ掘りが楽しめる「竹林」など魅力的な環境の中、こどもたちが伸び伸びと学校生活を送っている。また本校の教育環境整備のために、図書・花・交通

安全・学習支援ボランティア、おやじの会など、多くのボランティアの方々からご支援をいただくなど、地域との絆が深い学校である。

本年度は、目指す学校像に「自ら学び、人とつながり、輝き・笑顔・夢があふれる上沖小 ～輝きいっぱい・笑顔いっぱい・夢いっぱい～」を掲げ、創立 50 周年を越え、「つながり」の中で未来を生き抜く力を育む「チーム上沖」を目指して、自分らしく生き生きと輝き、人を大切にしながら、伸びゆく児童を育成している。本校は、令和 4 年度に絵画で文部科学大臣表彰、令和 5 年度には埼玉県学校保健優良学校表彰、令和 6 年度に健康教育で文部科学大臣表彰、全国健康づくり推進学校表彰最優秀校等を受賞している学校である。現在は、国語科を中心に、自ら解決したいと思える課題をもち、友達同士の学び合いから、考えを広げ・深めるための研究に取り組んでいる。

1 学校教育目標 「かしこく・やさしく・たくましく」

- ・輝きいっぱい 「自ら学ぶ中で自分らしさを出す子」
- ・笑顔いっぱい 「人を大切にする子」
- ・夢いっぱい 「自分を伸ばす努力をする子」

2 教育指導の重点努力点

◇人間性豊かな児童の育成に向けた教育活動の充実

- (1) 確かな学力の定着 【 かしこく 】 <自立力>
- (2) 豊かな心の醸成 【 やさしく 】 <共生力>
- (3) たくましい実践力の育成 【 たくましく 】 <自己実現力>

◇創意あふれる学校づくり

- (1) 豊かな体験活動の推進 (2) 美しく、潤いのある教育環境の創造

◇家庭・地域とともに歩む、誇りある学校づくり

3 本年度の努力点「つながり」をもって、自分から考動する児童の育成

- (1) 授業改善の推進と学習指導の充実～「学び続ける教師」として～
- (2) 学級経営の充実
- (3) 生徒指導・教育相談の充実、特別支援教育の推進
- (4) 心の教育の推進
- (5) キャリア教育の推進
- (6) 体力向上の充実と健康教育・安全教育の推進
- (7) 時代に沿った教育課題への対応

4 特色ある教育活動

- (1) 体験をもって育む食育（栽培活動・竹林でのたけのこ収穫・みそづくり等）
- (2) 近隣中学校の期末テスト前の諸活動停止期間を実施日とした「アウトメディアチャレンジ」
その際、読書週間としても取り組み、この期間にたくさん読書をすることを奨励している。
- (3) ゲーム・スマホについて、上沖小学校全ての家庭で取り組む「かみおきっ子共同宣言」
- (4) 埼玉県立大学と連携した発達段階に応じた歯科保健指導





学校名 **春日部市立正善小学校**

校長名 **安東 由美子**

所在地 春日部市備後東六丁目2番1号
連絡先 048-736-3741 FAX 048-734-9427
創立 昭和51年4月1日
開校記念日 11月15日
児童数 345名(令和8年5月1日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善 ～自分の考えをもち、表現できる児童の育成～」

本校は、昭和51年4月、備後小学校からの分離により、小字「正善」の地に開校して、51年目になる。静かな



な住宅地にあり、校地内には千本以上の樹木が生い茂り、緑あふれる豊かな教育環境に恵まれた学校である。学校の教育目標には、「自ら考え 本気で学ぶ子」「明るく 思いやりのある子」「元気で やりぬく子」を掲げ、こどもの可能性を信じて、一人ひとりの力を伸ばしていく学校づくりに取り組んでいる。そして、潤いのある学校生活の中で、本校の合言葉である「本気・全力」で何事にも取り組み、共によりよく生きようとする教育の充実を目指している。具体的には下記のとおりである。

【目指す学校像】

『未来を切り拓く力を伸ばす学校 ～こどもの可能性を信じて一人ひとりを大切にする教育の推進～』

- (1) 家庭・地域と協力し合い信頼される安心・安全な学校を目指す
 - ◇全ての教育活動の最優先に安心で安全な学校（「自分の身を自分で守れる」児童の育成）
 - ◇各家庭との連携が密に図られている学校
- (2) 気持ちのよいあいさつ・返事・ありがとうが響き合い、潤いのある学校を目指す
 - ◇あいさつのある学校 ◇きれいな学校 ◇きまりを守る学校 ◇花のある学校
 - ◇歌声の響く学校 ◇家庭・地域と一体となって歩む学校
- (3) こどもの可能性を信じる（個々の進歩・発達・成長を目標に）学校を目指す
 - ◇進んで学ぶ学校 ◇音楽活動に取り組む学校 ◇体力向上に取り組む学校
 - ◇一人ひとりが目標に向かって「本気・全力」で取り組む学校
- (4) こども一人ひとりのよさを認め、磨く学校を目指す
 - ◇他者を理解し、自分の気持ちを伝える ◇主体的・対話的で深い学びを実現する
 - ◇「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実を図る ◇感謝と思いやりの心を育む
- (5) 「できた」「わかった」があふれる学校を目指す
 - ◇教師がしっかり教え、児童はきちんと学び、確かな学力を定着させる
 - ◇基礎的な学力の定着を図ると共に、学び合いの中で学ぶ喜びを味わわせる
 - ◇道徳教育や体験活動を通して、豊かな心を育成する
 - ◇ていねいな指導、根気強い指導、達成感を味わわせる指導を行う

本校の児童は、「正善小当たり前のこと17か条」の定着が進み、落ち着いて学校生活を過ごしている。学習活動においても、真面目に取り組むことができ学力が定着してきている。その一方で、表現力やコミュニケーション力が十分でなく、自分の考えを論理的に伝えることに課題が見られる。さらに、人前で発表することに消極的な児童も多く、内容を理解していても発表できない様子も見られる。

そこで、「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善」を研究主題として、問題解決的な学習過程の定着により主体的に考えようとする態度を身につける。さらに「対話」により、考えを深め筋道を立てて「表現」する力を伸ばしていくことで、「自分の考えをもち、表現できる児童」を育成していく。



学校名 **春日部市立立野小学校**

校長名 **花車 進矢**

所在地 春日部市南中曽根 1074 番地

連絡先 048-736-0001 FAX 048-734-9400

創立 昭和 52 年 4 月 1 日

開校記念日 9 月 16 日

児童数 466 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

「自分の考えを広げ、表現する力を伸ばす指導法の研究」 ～算数科を中心に～



開校 50 年目を迎える本校は、「心身ともに健康で生きる力のある児童の育成」を学校教育目標として掲げ、目指す児童像を「よく考える子」「思いやりのある子」「ねばり強い子」「たくましい子」とし、目指す学校像を「家庭・地域と連携した開かれた学校」「進んで学習や運動に取り組み、成長できる学校」「児童一人一人を大切にする学校」「心が通い合い、つながりを大切にする学校」としている。本年度の重点目標を「教職員一人ひとりが主体性と活気に満ちて取り組み、切磋琢磨しながら教師力を高め合うと共に、組織を生かした効率的、効果的な教育活動を推進していく」とし、次の具体策を通じて、計画的・継続的に教育実践し、評価・改善を図っていく。

1 ＜鍛える＞ 「学力・体力・健康づくり」

(1) 学習指導の充実

- ・基本的学習態度の徹底 「めあて」と「ふり返り」の徹底 基礎学力の定着
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ・自分の考えを広げ、表現する力を伸ばす指導法の研究 ～算数科を中心に～

(2) キャリア教育の充実

大增中学校と連携した義務教育 9 年間を見通したキャリア教育による自己肯定感の高揚

(3) 体力向上と健康教育（食育）の充実

元気タイム・外遊びによる体力づくり 朝食欠食児童の改善・給食指導による食育の推進 むし歯治療率 100%

2 ＜導く＞ 「心づくり」～思いやりと恩送り～

(1) 魅力ある学年・学級経営を推進し、生き生きと明るく楽しい学校生活を目指す

特別活動における体験的活動を通して自主的・実践的な態度と自治的能力の育成 場に応じたあいさつ「恩送り」（ありがとうの連鎖）学年・学級の支持的風土づくりによるいじめの防止

(2) 心の教育・人権教育・道徳教育

福祉体験を通した心のバリアフリー教育の推進 人権の正しい理解といじめや差別を許さない人権意識を高める教育の充実 あいさつ運動 縦割り班活動（なかよしタイム）命の授業

(3) 生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実

組織的な生徒指導委員会 全職員の共通理解・共通行動の徹底 児童理解を深める教育相談（教育相談日）インクルーシブ教育の理念に基づく指導（合理的配慮）特別支援学校等との連携（支援籍学習）就学支援（進級選択）に根差した生徒指導の推進

3 ＜整える＞ 「環境・安全づくり」

(1) 施設設備の整備・充実

清掃指導を通して人のために貢献できる実践力の育成（そうじ名人、清掃重点週間）学校・教室の環境整備（きれいな学び舎 遊具・体育施設の安全管理 樹木の剪定）安全管理の徹底（安全点検・補修・整備）

(2) 安心安全な生活環境

児童の安全を守る活動の推進（小中合同避難訓練 防犯教室 交通安全教室 通学路点検 不審者侵入時避難訓練 竜巻対応避難訓練）SDGs に着目した取組推進 事故ゼロ安全指導の徹底 適切な怪我・事故対応

4 ＜結ぶ＞ 「開かれた学校づくり」

(1) 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動

学校運営や教育活動改善・充実を図る学校評価の活用（PDCA）「立野っ子ひろば」 学校応援団

(2) 保護者・地域との連携・協力・協働 PTA 活動 学校行事への協力 登校見守り

(3) 情報の発信 各たより（学校だより、保健だより、食育だより）の発行 ホームページブログ



学校名 **春日部市立宮川小学校**

校長名 **中川 貴子**

所在地 春日部市新方袋 1090 番地

連絡先 048-754-7600 FAX 048-763-9671

創立 昭和 53 年 4 月 1 日

開校記念日 2 月 10 日

児童数 143 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

「自ら学び、共に学ぶ児童の育成」

～こどもの興味・関心を広げる授業の実践～



本校には約 2000 本の樹木やとても広い学校ファーム、学校ビオトープがある。また、毎年たくさんの種類の果物が収穫できる果樹園やプチ軽井沢などがあり、緑豊かな環境である。恵まれた環境の下、保護者・地域との連携を図り、豊かな体験活動、体力づくり、規律ある生活態度の育成をととして「生きる力」を育んでいる。

令和 7 年度より本校では、生活科・総合的な学習の時間を中心とした教育の実践を通して、実生活において生きてはたらく学力（汎用的な学力）を育成する研究を進めている。

目指す児童像「本気で学ぶ・笑顔があふれる・全力を尽くす」の実現に向け、「朝も笑顔、帰りも笑顔、笑顔の輝く学校」を合言葉に、「全教職員が全児童担任」の意識をもち、学校が一丸となってこどもたちのよさを伸ばし、児童・保護者・地域に信頼される学校を目指している。

＜本年度の学校経営方針＞

- 1 学校教育目標 「輝く笑顔 未来へ はばたく」
- 2 目指す児童像 「本気で学ぶ・笑顔があふれる・全力を尽くす」
- 3 目指す学校像 「朝も笑顔、帰りも笑顔、笑顔の輝く学校」
- 4 学校経営理念 「学校、保護者、地域が共に育てる共育」「こどもたち同士が共に育つ共育」
- 5 本年度の重点・努力点

《確かな学力の育成》

- (1) 基礎学力の定着
学習ルールの徹底、児童が自ら気づき、考える授業の実践、横の連携による効果的な学習指導
- (2) 社会の変化に対応できる能力の育成
豊かな体験活動の推進、ICT を活用した授業の推進、SDGs の視点をもった教育実践

《豊かな心の育成》

- (1) 教育環境の整備
言語環境の徹底、環境美化、ビオトープの活用
- (2) 規範意識や人権意識の向上
自発性や協働性を養うため、児童が活躍する行事や活動を積極的に実施
いじめや差別を許さない学年・学級経営
すばやく丁寧な初期対応と組織的な対応
- (3) 地域に開かれた特色のある教育活動の推進
地域人財の活用、学校関係者や関係機関との連携

《安心安全の確保》

- (1) 体力向上と健康増進
運動の楽しさや学習の成果を実感できる授業づくり、運動の機会と時間の確保
- (2) 学校内外の安心安全
日常的な安全に対する意識と実践力の向上
学校運営協議会や各種ボランティアとの連携体制の保持・強化
- (3) 命の大切さと心身の安心安全
- (4) 教職員の資質向上
児童の義務教育終了後を見据えた指導・支援、教職員事故の根絶に向けた研修の実施
多様性を受け止めた柔軟な対応、よりよい教育活動を児童に提供するための働き方改革の推進



学校名 **春日部市立藤塚小学校**

校長名 **和田 浩**

所在地 春日部市藤塚 82 番地 2

連絡先 048-737-5330 FAX 048-734-9401

創立 昭和 54 年 4 月 1 日

開校記念日 11 月 15 日

児童数 328 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

<本年度の研究テーマ>

「自分の考えを表現し、学び合う児童の育成」

～読む力を高める、国語科を中心とした授業づくり～



本校は、昭和 54 年 4 月に豊野小学校から分離し藤塚、本田町を学区として現在の地に開校し、今年度で開校 48 年目を迎えた。学区は、県道春日部松伏線と大落古利根川に挟まれたところに位置する。南側には田園地帯、北側には住宅地が広がり、駅から徒歩圏内で路線バスも通り、商店も揃った暮らしやすい地域である。

地域の方々の地元への愛着と強いつながりがある環境の中で、コミュニティの一拠点となるよう、教職員一丸となって「一人一人が輝く、みんなで輝く、元気いっぱいの学校」を目指し、「知恵いっぱい、笑顔いっぱい、元気いっぱい」を合い言葉に、教育活動に取り組んでいる。

1 学校教育目標

「豊かな心を持ち、進んで学び行動できる子」

【知】：進んで学ぶ子 【徳】：心豊かな子 【体】：明るくたくましい子

(1) 目指す学校像

「一人一人が輝く、みんなで輝く、元気いっぱいの学校」

一人一人が輝く	みんなで輝く	元気いっぱい
自己肯定感をもち、一人一人が主役となって意欲的に学ぶ。	互いに尊重し高め合い、気持ちや考えを交えて学びを深める。	身体的にも精神的にも健やかに成長し、健康に生活する。

(2) 目指す児童像

「知恵いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい」

知恵いっぱい	笑顔いっぱい	元気いっぱい
・基礎学力の定着 ・思考力の向上 ・社会変化に対応する能力の伸長 ICT 活用、外国語等	・規範意識や人権意識の向上 ・多様性への理解 ・あらゆる現象に対する感受性の向上 ・学校や地域への愛着	・体力と気力の向上 ・安全への意識の定着 ・自他の生命の尊重

2 本年度の取り組み

(1) 一人一人が輝く「できた」「わかった」を実感できる授業の実施

児童の育ちを真ん中に置き、日々の授業を大切にすることで「学習がわかり、できた喜びを味わい、主体的に学ぶ児童」「自分の考えをしっかりと持ち、表現・発信できる児童」「意見交流を通して、自分の考えをより深められる児童」の育成を目指している。今年度は、国語科の研究が 2 年目となり、読む力を高め、自分の考えを表現できる児童の育成に向けた授業づくりを展開する。児童にとって学びの実感のある“うれしい”授業を全ての学級で実践し、児童の笑顔と意欲あふれる学校づくりを推進していく。

(2) 特色ある教育活動

学校の敷地には草花が多く計画的に緑化を進め、一人一花栽培も実践している。また、実のなる木が多く植樹されている。四季を肌で感じることができる自然豊かな環境であることから、開校以来、季節の変化を自分の言葉で表現する「俳句」の取組を継続している。学校の特色を「花と俳句と実りの学校」とし、豊かな感性を育む教育を行っている。また、地域の方々の協力により、野菜作りや稲作体験などの活動を展開している。児童が主体的に学ぶ教育活動の充実を図っていく。



学校名 **春日部市立小湊小学校**

校長名 **矢 野 渡**

所 在 地 春日部市小湊 905 番地 1

連 絡 先 048-761-7161 FAX 048-763-9673

創 立 昭和 55 年 4 月 1 日

開校記念日 11 月 19 日

児 童 数 285 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

主体的に学び、生き生きと伝え合い考えを深める小湊っ子の育成

～主体的に取り組み、自分の考えを表現する指導法～



今年度開校 47 年目を迎える本校は、春日部市の北部に位置し、広々とした田畑に囲まれ、四季折々の美しい風景を見せる豊かな自然の中にある。一方、地域の南端に国道 16 号線と南北に国道 4 号線が交わる小湊交差点があり、また、県道である惣新田春日部線が走る交通の要所でもある。

学区内には、名刹「不二山浄春院」と「小湊山観音院」がある。特に「不二山浄春院」の林は、大落古利根川によって作られた砂丘の自然林であり、地質学的にも貴重な存在である。また、学区の境を流れる大落古利根川にも貴重な生態系が保全されている。

校内には、埼玉県の木であるケヤキを始め、春日部市の木である桐、春日部市の花である藤など、様々な木々が生き茂っている。

また、柿や栗、サクランボやカリン、夏みかん、梅など、多くの木が果実を実らせ、色鮮やかに目を楽しませてくれる。

このような環境の中、学校教育目標「自主自律の精神にとんだ人間性豊かなたくましい児童の育成～知恵いっぱい・やさしさいっぱい・元気いっぱい～」の達成のため、「いっぱい考え、いっぱい伝え、いっぱい聞こう」、「言葉を大切に、思いやりいっぱいの行動をしよう」、「健康に気をつかい、いっぱい体を動かそう」という、より具体的な内容を示し、こどもたちが毎日、笑顔いっぱいで過ごすことができる学校の実現を目指している。

開校 2 年目から取り組んでいる「はだしの教育」は、今年が 46 年目となり、我が校の大きな特色とともに伝統となっている。こどもたちは「はだし」で大地を踏みしめ、足の裏から土のぬくもりや柔らかさ、冷たさや硬さを感じながら、6 年間という長い時間をかけて、これからの人生をたくましく生き抜いていくための力の礎を身につけていっている。また、開校 20 周年時には、「はだしの像」（前田忠一・作）が設置された。親子 2 代で「はだし」で学んだという家庭も増えつつあり、「はだしの教育」は保護者や地域の方々に支えられている教育活動である。

平成 5 年度には、おやじの会を中心として敷地内に雑木林「トトロの森」が整備された。33 年目を迎え、植樹された木々は大きく成長した。夏には葉を茂らせて木陰をつくり、秋にはたくさんのどんぐりを落とし、生活科を中心としたこどもたちの学習に生かされている。また、平成 15 年度から、森の周りの堀を生かして、ホタルの飼育を始めた。地域の方の力を借りながら、5 年生のこどもたちがホタルの幼虫を飼育・観察している。6 年生になって 5 月に堀へと放流した幼虫は、夏には成虫となってきれいな輝きを放ちながら森を飛び交う。ホタルの活動を支援してくださっているボランティアの方によると、この辺りでホタルが自生しているのは大変珍しいことだとのことで、本校の特色ある教育のひとつとして誇るべき活動である。6 年生の家庭や近隣住民に案内をして、自由にホタル鑑賞ができる機会を設けている。

また異学年による縦割り班で活動する「なかよし集会」では、上級生が下級生を思いやる心、下級生が上級生に憧れ伝統を引き継いでいこうとする気持ちをもたせるとともに、こども同士の交流を通して、思いやりの心や助け合う心を育んでいる。

目指す学校像「学びをつなぎ、笑顔をつなぎ、地域とともに夢への一步を支える学校」の実現に向けて、「つなぐ力」を核にし、学校、家庭、地域がともに連携、協働し日々の教育活動に取り組んでいる。



学校名 **春日部市立武里南小学校**

校長名 **加納 敏幸**

所在地 春日部市大枝 89 番 2 街区 1 棟

連絡先 048-733-6911 FAX 048-733-6913

創立 平成 15 年 4 月 1 日

開校記念日 6 月第 3 週の月曜日

児童数 317 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

＜本年度の研究テーマ＞ 『主体的な学びと「思考力」を育む授業づくり』

1 沿革

本校は、「みんなで南風になろう！ 明るく、元気で、あたたかく～自分もよくて、みんなもよい学校～」をスローガンに、児童と教職員が共に活動し、自他のよさを活かし高め合い、南風を吹かせる元気で明るい学校である。平成 15 年の学区再編で旧大畑小・旧谷中小・備後小の一部を学区として開校し、今年度は創立 24 年目となる。また、教職員、児童、保護者、地域が一体となった『特色ある学校づくり』に力を入れており、当たり前前が当たり前前にでき、主体的に学び合い、向上心をもって成長する児童の育成に努めている。

2 学校教育目標

力をあわせる子【自分を お互いを 認め合う教育の推進】

自ら考える子【自己を高め 互いに学び合う 学力向上】

たくましい子【気力と体力の向上】

3 本年度の重点

武南「TEAM & FAMILY」仲間・同僚・先輩・後輩『みんなでこども達にとってよいことを、より多く成し遂げよう！』

(1) 確かな学力の定着・向上「武里南小授業スタイル」の確立

- ①学習意欲の向上と基礎学力の定着 ②思考力・判断力・表現力の育成を目指す授業の創造
- ③国語・算数を要とした学力向上の継続・定着・発展
- ④「武里南小 Challenge」「授業の約束」の定着・発展 ⑤ICT を活用した授業実践
- ⑥学習習慣の確立と家庭学習については、保護者への適切な情報発信と協力依頼

(2) 心豊かな児童の育成

- ①豊かな仁現姓を育む道徳教育の推進 ②心かようあいさつの推進 ③異学年交流の推進
- ④学校行事、特別活動の充実 ⑤心潤す学校図書館教育の推進

(3) 体力の向上

- ①生涯に渡って運動に親しむ態度の育成と運動技能の向上
- ②外遊びの奨励と令和の時代にふさわしい体育的行事・活動の充実
- ③望ましい食習慣を身に付ける食育指導の充実

(4) 自立心をもつ児童の育成

- ①基本的な生活習慣の定着と規範意識の向上 ②自己有用感を育む特別活動の充実
- ③ニーズに応じた特別支援教育の充実と適正な就学支援

(5) 特別な配慮を必要とする児童への対応

- ①不登校児童等へ個々の実態に応じた「繋がり」と「支援」の充実
- ②特別支援学級における個々の障がいの状態等に応じた支援・指導計画の作成

(6) 家庭・地域との協働

- ①傾聴を基本に、積極的な情報発信と地域との協働・交流の推進
- ②南風どんぐり教室（放課後子ども教室）の継続
- ③家庭・地域の応援・協力体制の推進、3 校学校運営協議会、武里大枝市民センター、地域づくり推進会議
- ④幼保中との積極的連携

(7) 安心・安全な学校づくりの推進

- ①安全点検の徹底と危険改善箇所の情報共有と共に、迅速に対応
- ②安全で使いやすい環境づくりと清掃指導の充実
- ③保護者・地域・関係機関との連携による安全管理の推進

(8) 学校経営への積極的参画、研究・研修の推進

- ①目標設定による学校運営の充実 ②自己研鑽に励む教職員の育成

(9) 働き方改革の推進

- ①勤怠管理とそれに基づく指導、教職員の意識改革
- ②自己評価シートの活用と自己の校務分掌における積極的な取組

※「前年度踏襲は後退、常に変化への対応」（前年度踏襲主義からの脱却＝現状を見つめアップデート・ブラッシュアップ＝令和型の教育の推進）





学校名 **春日部市立武里西小学校**

校長名 **岩見 奈津枝**

所在地 春日部市大場 822 番地 1

連絡先 048-733-7701 FAX 048-733-7703

創立 平成 15 年 4 月 1 日

開校記念日 6 月第 3 週の月曜日

児童数 440 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

「自ら考え、学び合う児童の育成」～わかった、できたを実感できる授業づくり～

(春日部市教育委員会委嘱 算数科 1 年次)



本校は、学校教育目標を「気づき行動する子 自ら考え学ぶ子 心と体を鍛える子」、学校経営ビジョンを「地域とともに育む 明るくあいきさと歌声が響くやさしさと笑顔あふれる学校」とし、「いつでも どこでも一生懸命」「素直がすてき!一生懸命がかっこいい!」を合言葉に保護者や地域と連携を図りながら日々の教育活動に取り組んでいる。本校は、武里団地を含む地域を学区とする 4 校を閉校して、平成 15 年度に新設された開校 24 年目の学校である。様々な地域から人が集まっているだけでなく、外国からきた児童・外国籍の児童も在籍しており、平成

27 年度から日本語教室を開設している。生まれた国も家庭環境も違うことから、文化や習慣が異なり、児童は多様な価値観をもっている。また、明るく素直であるが、自分の意見を主張することが苦手な傾向にある。

平成 28 年度からは異なる考えや価値観を受け入れ、お互いに尊重し支え合ってよりよく生きていこうとする態度を育むことを目指し、3 か年にわたり特別活動(学級活動)を中心に研究を深めた。研究の中で、意見の異なる人と折り合いをつけること、他者と話し合い、集団としての意見をまとめることを学び、学級や学校生活の課題を見つけ、児童が主体的に話し合い、役割を分担して協働して実践したり、お互いのよさに気づいたりすることができるようになった。

令和 5 年度からは、春日部市教育委員会の委嘱を受け、国語科を中心に学校課題研究を進めている。変化の激しい世の中をたくましく生き抜く児童を育成するには、言葉による見方・考え方を働かせていくことであると捉える。人は、言葉の力で強くもなれば、深く傷ついたりもする。児童自身が自らの学びについて考え、自己決定を積み重ねて、答えの出ないような問いや困難な状況に陥っても、果敢に乗り越えられる力を醸成してきた。

今年度からは、学校課題研究として算数科を選び、「よりよく問題解決をしようとする子」「ともに問いを練り上げ、解決の道筋を広げられる子」を目指す児童像として進めていく計画となっている。

＜学校教育目標＞

1 気づき行動する子

教育活動全般において「気働き」に力を入れている。気づいて行動することを大切にし、自己肯定感や自己有用感の向上に努めている。また、心温まる学級づくりに加えて、異学年縦割りグループで活動する「たけにしタイム」、本校の特長の一つである 160 名収容できるランチルームを活用した縦割り給食等で異学年交流の場を設定し、教師と児童、児童相互の人間関係をさらに深められるようにしていく。

2 自ら考え学ぶ子

日々の授業の実践を通して、基礎的・基本的な力が着実に身につくように進めている。課題解決的な学習や考えを深めるためのグループでの話し合いなど、授業時間内に意図的・計画的に設定し、自ら意欲的に学習に取り組めるように工夫している。さらに家庭生活においても「家庭生活 10 の約束」等を配付し、家庭生活及び家庭学習の充実を図り、基礎学力の定着をねらい取り組んでいる。また、読書貯金通帳や武西読書の日(毎月第 3 木曜日)の取組を通して、本好きの児童を育成し、読解力の向上も目指している。

3 心と体を鍛える子

体育の授業を中核に据えて、楽しく自ら進んで運動に親しむ児童の育成を目指している。「すこやかタイム」(業前運動)では、持久走やなわとびなど、基礎体力作りに取り組んでいる。また、オープンスペースを活用して学年ごとに合唱活動に取り組んでいる。心をつなぎ、朗らかな気持ちを育む良き伝統になっている。



学校名 **春日部市立南桜井小学校**

校長名 **村 松 淳 一**

所在地 春日部市下柳3番地

連絡先 048-746-0026 FAX 048-746-0010

創立 明治6年4月16日

開校記念日 9月24日

児童数 275名（令和8年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「できた」「わかった」を味わわせる指導法の工夫（3年目）

～自分の考えを伝え、深めることができる児童の育成～



本校は、明治6年に下柳の明清寺に下柳学校として発足する。明治19年9月24日、現在の場所に移転し、下柳尋常小学校と改称する。明治42年に南桜井尋常高等小学校とさらに改称し、「南桜井」の名称が誕生する。春日部市の東部に位置し、国道4号線と16号線が交差する地点の北東部に所在する。

学区内には、旧庄和町役場があり、現在は総合支所、図書館、児童館となっている。その周囲には体育館、総合公園、正風館、また国の施設である龍Q館など多くの公共施設があり、こどもたちの貴重な学習の場となっている。

1 学校教育目標

- ・自ら学ぶ子（かしこく）
- ・思いやりのある子（やさしく）
- ・元気でたくましい子（げんきよく）

目指す学校像：地域とともに歩む「おらが学校」南桜井小



2 本校の特色ある教育活動

- ①学び合う学校：分かる授業の展開、音読・計算を活用した基礎基本の定着。言語能力を高める学習活動の実践。自分の思いを膨らませ、自分探しに役立つ読書活動の推進。
- ②思いやりあふれる学校：よさを認め、励まし、思いやりのあふれる教育活動の展開。青少年赤十字活動を通して気づき考え実行する力の育成。善い行いを認め称え広める「ひまわり賞」の推進。
- ③健康な体をつくる学校：全身を働かせる活動や遊びの推進と、運動の質と量を高める体育の授業実践。心と体の健康と、緑豊かな環境づくりの推進。
- ④地域・保護者と連携する学校：「学校・家庭・地域の連携計画」の推進。積極的な地域人材の活用。学校運営協議会での熟議と、地域連携推進のための具体的な取組。

その他の特色ある活動として、全校で取り組む『けん玉チャレンジ』、1・2年生の合同学習、2年生の野菜作り体験、3年生の地域のフィールドワーク、4年生の環境学習、5年生の米作り体験、6年生のEM菌体験など、多くの体験活動を行っている。また、伝統芸能クラブの獅子舞など地域の方々との交流を通して、思いやりの心や豊かな人間性の育成に努めている。

3 本校の研究

令和3年度から、春日部市教育委員会から研究委嘱を受け、『全教科領域』を対象に『SDGsを具現化する児童の主体性を重視した教育』～自ら気づき、考え、行動する児童の育成～をテーマに研究を行ってきた。研究を通して、目標をもって粘り強く努力を続ける活動意欲あふれる児童、課題解決のために何をしたらよいか考え、些細な事でもよいのでそれを行動に起こしていきたいという意識に結び付けることができた。

しかし、3年間の研究を通して、日頃の学習活動の中で、自分の意見に自信をもつことができず伝え合う活動に苦手意識がある児童も多いことが課題であることも明らかになった。そこで、あらゆる教育活動の中で、「できた」「わかった」を積み重ね、学びに対する有用感をもたせることで、学びの質を高めながら自己の考えを形成していきたいと考え、本研究テーマの設定に至った。

令和7年度は、研究の2年目として、スモールステップの課題を設定して、成功体験・達成体験につなげる機会を設定した。春日部市教育委員会指導課指導主事、埼玉県東部教育事務所指導主事に指導方法の改善について具体的な示唆を多くいただき、教員の指導力向上を図ることができた。



学校名 **春日部市立川辺小学校**

校長名 **生方 祐子**

所在地 春日部市米島 756 番地

連絡先 048-746-0009 FAX 048-746-0057

創立 明治 7 年 12 月

開校記念日 9 月 9 日

児童数 336 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

〈本年度の研究テーマ〉

「論理的に思考し、表現する児童の育成（国語科）」～語彙力・読解力を高める授業づくりを通して～

1 学校の概要 本校は、明治 7 年に永沼学校として開校し、今年度で創立 152 年目を迎える「歴史と伝統に支えられた学校」です。また、学力の向上を推進するとともに、学校、家庭、地域が一体となって『特色ある学校づくり』に力を入れています。昨年度から、国語科研究校として春日部市教育委員会の委嘱を受け、児童の語彙力・読解力を高める授業を創造しつつ、確かな学力の育成を目指して指導法の研究に取り組んでいます。

2 学校教育目標 「たくましく 心豊かに生きる子」

3 目指す児童像

◇進んで学び考える子（知恵いっぱい） ◇思いやりのあるやさしい子（笑顔いっぱい）

◇元気でねばり強い子（元気いっぱい）

4 特色ある教育

本校は目指す学校像を「知恵いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱいのあたたかい学校」とし、よさを磨き知性と個性を伸ばす教育活動を展開しています。

① 主体的に学び合い高め合う学校・・・学力と自信を育む学校

- ・一人ひとりを大切に児童の健全育成を図る学級経営
- ・分かる授業・分かるまで教える授業の展開
- ・スキルアップタイムを活用した基礎・基本の定着
- ・NIE（新聞活用）による言語能力を高める学習の実践
- ・語彙力や知的探求心を向上させる読書活動や言語活動の推進
- ・一部教科担任制の実施
- ・SDGsを意識し、ビオトープを活用した学習活動の実践



NIEを活用した朝の活動

② 健康な体をつくる学校・・・身体活動を豊富に展開する学校

- ・体力向上を目指した全身運動や運動の質と量を高める体育の授業実践
- ・業前運動、休み時間の外遊びの推進「体力づくり」「ロング昼休み」等
- ・安心安全で潤いのある美しい環境づくりによる心身の健康の保持増進、清掃活動の充実
- ・体力テストや健康つみたてカードの活用による体づくりの実践
- ・避難訓練の充実による安全意識（自分の身は自分で守る）の向上
- ・歯科保健教育の充実 ・迅速な事故対応



川辺小フェスタ

③ 思いやりのあふれる学校・・・社会性を身につけ、課題を解決していく学校

- ・よさを認め、励まし、思いやりのあふれる教育活動の展開
- ・「気づき・考え・実行する」力の育成
- ・発達段階に合わせた体験活動、交流活動、異年齢集団活動の推進
- ・あいさつ、返事、美しい言葉づかいによるコミュニケーション能力の育成
- ・道徳教育や人権教育の充実
- ・積極的な生徒指導、温かい教育相談の推進
- ・いじめ、不登校など、一人ひとりに寄り添った早期支援・校内体制の強化

④ 地域・保護者と連携する学校・・・地域・保護者と共にこどもを育てる学校

- ・学校運営協議会の充実による情報の共有化と自発的な活動
- ・積極的な地域人材活用の推進、SC PTA、民生児童委員等、関係機関との連携
- ・学校情報の積極的な発信（HP、ブログ、学校だより、tetoru等）メディアリテラシー教育の推進及び安心安全な情報活用
- ・学校評価の実施と公表（PDCAサイクル）
- ・中学校区での連携（授業公開・合同避難訓練・アウトメディア週間）
- ・幼保小の連携、特別支援学校との連携（接続期プログラム・連絡協議会・授業交流・支援籍交流等）



学校運営協議会



学校名 **春日部市立桜川小学校**

校長名 **梶村 麗子**

所在地 春日部市大倉 496 番地 1

連絡先 048-746-6238 FAX 048-746-6223

創立 昭和 50 年 4 月 1 日

開校記念日 5 月 30 日

児童数 561 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

「主体的・対話的に学び続ける児童を育む指導法の工夫～学びに向かう意欲の向上と確かな読解力の育成～」

本校は、春日部市の東部に位置し、広い敷地内にはたくさんの桜の木や雑木林を生かした自然の森、のびのびと遊べる芝生広場などがあり、こどもたちは恵まれた環境の中で健やかな学校生活を送っています。

本校では、「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」の育成を目指し、調和のとれた児童の人間形成に努めています。そのために、公立学校のよさを最大限生かし、目指す学校像でもある『「瞳輝く 桜っ子」を地域と共にはぐくむ 笑顔あふれるあたたかい学校』を合言葉に、地域の方々や保護者と連携・協力体制を築きながら、創意と温かみのある学校を目指しています。

【目指す学校像】 「瞳 輝く 桜っ子」を地域と共にはぐくむ 笑顔あふれる あたたかい学校
～学び合い、思い合い、鍛え合う桜っ子が育つ「まなびや桜川」～

＜重点項目＞

① 学び合う学校・・・学力と自信をはぐくむ学校

- ・分かる授業・分かるまで教える授業の展開
- ・教科担任制の積極的な活用
- ・家庭学習や基礎・基本の徹底
- ・言語能力を高める学習の実践
- ・知的探求心を向上させる読書活動の推進
- ・SDGs を意識した校内の自然環境の活用



学び合い・伝え合い

②健康な体をつくる学校・・・身体的活動を豊富に展開する学校

- ・体力向上を目指した全身運動や運動量の質と量を高める体育の授業実践
- ・「朝マラソン」、休み時間の外遊びの推進
- ・安心安全で潤いのある美しい環境づくり
- ・体力テストや陸上大会に向けた取組
- ・避難訓練の充実による安全意識（自分の身は自分で守る）の向上
- ・歯科保健教育、早寝・早起き・朝ごはんの徹底、食育の充実



全校朝マラソン

③思いやりのあふれる学校・・・社会力を身に付ける学校

- ・よさを認め、励まし、思いやりのあふれる教育活動の展開
- ・たて割り活動を生かした「気づき・考え・実行する」力の育成
- ・発達段階に合わせた体験活動、交流活動、異年齢集団活動の推進
- ・あいさつ、返事、美しい言葉づかいによるコミュニケーション能力の育成
- ・道徳教育や人権教育の充実
- ・積極的な生徒指導、あたたかい教育相談の推進
- ・いじめ、不登校など、一人ひとりに寄り添った早期支援・校内体制の強化



ドリーム集会（異学年活動）

④地域・保護者と連携する学校・・・地域・保護者と共にこどもを育てる学校

- ・学校運営協議会の充実による情報の共有化と自発的な活動
- ・積極的な地域人材活用の推進
- ・PTA、民生委員・児童委員等の関係者との連携
- ・学校情報の積極的な発信（HP、ブログ、学校だより、メール等）
- ・学校評価の実施と公表
- ・中学校区での連携（授業公開等）
- ・幼保小の連携（連絡協議会・授業交流・行事参加等）
- ・特別支援学校等の支援籍交流



地域の方による読み聞かせ



学校名 **春日部市立中野小学校**

校長名 **加賀谷 徳之**

所在地 春日部市東中野 654 番地

連絡先 048-746-8271 FAX 048-746-8595

創立 昭和 54 年 4 月 1 日

開校記念日 5 月 1 日

児童数 307 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

〈本年度の研究テーマ〉

生活科・総合的な学習の時間を核に据えた教科横断的な学習指導の工夫

【本校の概要】

本校は、昭和 54 年 4 月に大字中野、新宿新田、西金野井各区の一部を学区として開校した。春日部市東部、江戸川の畔に位置し、カッコウやウグイスなどの野鳥の声も聞こえる、四季折々の豊かな自然の中にある。校内の学校ファームや花いっぱい花壇、様々な種類の樹木、江戸川堤などの自然を生かした特色ある教育活動を展開している。また本校は、運動に熱心に取り組み、全校遠足や集会活動などの異学年交流も盛んである。さらに保護者・地域の皆さんを招いての生け花教室や伝統文化の学習など、体験を通して、学校・家庭・地域が協働してこどもたちの育成に取り組んでいる。



1 学校教育目標

「みなぎる元気、はじける笑顔、かがやく瞳 夢をつかめ 中野っ子 未来への挑戦！！」

㊦かよく ㊦しこく ㊦びのびと

→「生きる力」：知・徳・体のバランスのとれた力

2 目指す学校像(ミッション)

こどもが瞳を輝かせ、**本気**になる学校

～自分や自分たちが楽しく、一人やみんなが嬉しい「チーム中野小」～

3 目指す児童像

自らのよさを**磨き**続けるこども

○自ら考え、他者と学び合い、自己の学びを磨くこども

「自分から、一生懸命に、何にでも挑戦」

○明るく元気で、自他の生命を尊重し、自己の健康や体力を磨くこども

「はい元気です、だれもがあいさつ達人」

○自らを律し、自立し、相手を思いやり、自己の人間性を磨くこども

「心豊かに、ありがとう、ごめんね」

○中野小に誇りをもち、愛し、地域の人・自然・社会・歴史に進んで関わるこども

「大きく胸を張って、元気に、笑顔で」

4 目指す教師像

情熱をもち、常に自らの資質・能力を**磨く**教師

5 指導の重点・努力点

- (1) 全教科等の授業を中心とした教育活動の充実による「3つの資質・能力」の育成
- (2) 体力の向上を目指し、運動に親しみ健康に生活する力の育成
- (3) 心の教育の充実を目指し、思いやりや協調性の育成と、多様性への理解
- (4) 安全な学校づくりを目指し、安心して通える学校づくり、事件・事故のない学校づくり
- (5) 保護者、地域、教職員がスクラムを組み、協働する学校「チーム中野小」の実現
- (6) インクルーシブ教育の充実、美しく潤いのある快適な教育環境づくりの推進



学校名 **春日部市立春日部中学校**

校長名 **大野 明彦**

所在地 春日部市粕壁四丁目4番15号

連絡先 048-761-2253 FAX 048-763-9609

創立 昭和22年4月1日

開校記念日 5月1日

生徒数 759名（令和8年5月1日現在）

1 学校教育目標

可能性に生きる
豊かな知性 あふれる情熱 熱い友情

合言葉

一生懸命がかっこいい

2 目指す学校像

「信頼とが育まれ活力のあふれる学校」

【信頼される学校】とは

- ・生徒一人ひとりが生き生きと自己実現を図り、職員個々がその職責を自覚して厳しく磨き合う学校
- ・施設設備が充実し、花と緑に囲まれた心安らぐ学校
- ・保護者や地域社会の支えに感謝し、保護者や地域の人々が誇りに感じる学校

【活力ある学校】とは

- ・社会の動きを受け止め、常に変化し進歩発展する学校
- ・生徒がその可能性を見出して挑戦し、生き生きと活動する学校
- ・職員が常に子どもとともにあり、職員の意欲、保護者の応援、地域の教育力あふれる学校

3 目指す生徒像

～春中生の合い言葉～「一生懸命がかっこいい」

4 経営方針

- (1) 常態のレベルアップを図り、「継承」と「創造」・「発展」を推進する。
- (2) 「自立」と「連携」で校力を高める。
- (3) 「教師力」を高め、地域の負託に応える。



令和7年度 合唱祭

5 経営方針実現の具体的な手立て

- (1) 「聞く、考える、話す」力の育成による「主体的に学ぶ授業」を基にした学力向上の推進
- (2) わかる授業の実践(生活記録ノートの実施)と、知・徳・体のバランスを大切にした学習指導の充実
- (3) 一人ひとりの生徒を大切に、生徒の主体性を尊重した生徒指導体制の確立
- (4) 「生徒指導委員会」「教育相談部会」「学年会」「学年主任会」等における、個に目を向けた指導の充実
- (5) 教育機会確保法の理念にもとづく、生徒一人ひとりの社会的自立の支援
- (6) 「歌声の響く学校」「後輩に残す4箇条」等、伝統を引き継ぎ、誇りを育む教育活動
- (7) 自分の言葉で自分を語ることでできる生徒の育成
- (8) 運動部・文化部とも、活発な部活動の推進、「部活動育成会」による保護者との連携
- (9) 未来の国際人を育てる地域の教育力の連携・協働によるオーストラリア姉妹校との国際交流（KAFE）
- (10) 「自主の扉をひらく」教育活動の推進、自主性を育むノーチャイムの実施
- (11) 善行を褒め、各種表彰を励行
- (12) 学校だよりや学年だより、ホームページ等による、教育活動の地域社会への情報発信
- (13) 「PTA」による教育支援と「春日部中学校区青少年を育てる会」を軸とした青少年の健全育成
- (14) 学校運営協議会委員による学校評価を有効に活用した教育活動

＜本年度の研究テーマ＞「生徒が毎日通いたいと思える学校づくりのために」

～多様な学びの創出を意識して～



学校名 **春日部市立東中学校**

校長名 **三 浦 力**

所在地 春日部市樋堀 181 番地 1

連絡先 048-752-2454 FAX 048-763-9663

創立 昭和 37 年 4 月 1 日

開校記念日 10 月 1 日

生徒数 596 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

【本年度の研究テーマ】

「心身の調和を図り、自らの健康を育む生徒の育成 (1 年次)」

【学校教育目標】

- 学び続け自分の言葉で発言する (話)
「夢と生きる力を育む」 ○心あたたかでわかり合う (和)
○社会の一員として貢献する (輪)

3
つの
「わ」

【経営方針】

- 合言葉は「応援される人になろう」 (地域の文化と歴史に育まれて 65 年)
○確かな学力の育成・正しい規範意識の育成・個性の伸長
○教職員と生徒の一層の信頼関係を築く (信頼こそ教育の原点)
○教職員相互、教職員と保護者、地域等との行動連携



市制 20 周年記念 長寿を祝う会での吹奏楽の演奏

【目指す生徒像】

- | | |
|------------|-----------|
| 1 夢をもつ生徒 | 2 感謝できる生徒 |
| 3 意欲ある生徒 | 4 協力し合う生徒 |
| 5 責任を果たす生徒 | |



東中祭 3 年生学年合唱「言葉にすれば」

【目指す学校像】

「生徒一人一人を認め、生かし、伸ばす学校」

- | |
|---------------------|
| 1 認め合い学び合いのある学校 (知) |
| 2 生徒が誇りに思える学校 (徳) |
| 3 健やかな身体を育む学校 (体) |

【本年度の重点・努力点】

- 学び合いがうれしくなる学習指導
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
 - ・問題解決的な学習の質的向上を目指した授業づくり 等
- 望ましい人間関係を育成し共生する心の醸成
 - ・思いやりの心や命を大切にする心の教育
 - ・心の糧となる読書活動や文化芸術活動 等
- 健康・安全教育の充実
 - ・安全についての実践的な能力や態度の育成
 - ・健康 3 原則 (栄養、睡眠、運動) の推進、望ましい生活習慣の確立 等



第 37 回幸松ふれあい文化祭

【学校の概要】

本校は市の東部に位置し、学区内に大落古利根川、樹齢 1000 年と言われる国の特別天然記念物の牛島の藤、古い山門と円空仏で名高い小湊山観音院などがあり、自然や歴史・文化に恵まれている。

昭和 22 年に開校した幸松中の前史も引き継ぐ春日部の伝統校であり、幸松小・牛島小・小湊小の 3 小学校から新入生を迎えている。校区内の小学校・高校・特別支援学校や幸松地区少年を守る会との連携のもと、こども達の健全育成を目指した地域ぐるみの教育を進めており、地域の人々に学ぶ体験学習、職場体験学習、ふれ合い活動などがある。学校行事には、保護者のみならず、地域の方々にもたくさんの参加をいただいている。

また、生徒と教師が一体となって汗を流し、互いに人権を尊重し、明るいあいさつのできる学校づくりに努めるとともに、「夢・感謝・意欲・協力・責任」の目標にせまる計画・実践・評価を通して、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成に努めている。

整備された快適な環境の中で、生徒たちは、学習や部活動に意欲的に取り組んでいる。



学校名 **春日部市立豊春中学校**

校長名 **菊野 大**

所在地 春日部市南中曽根 107 番地 2

連絡先 048-752-2717 FAX 763-9664

創立日 昭和 22 年 4 月 1 日

開校記念日 5 月 1 日

生徒数 349 名（令和 8 年 5 月 1 日現在）

◇学校概要



【令和 7 年度 合唱祭 3 年学年合唱】

本校は、昭和 22 年(1947 年)新学制により豊春村立豊春中学校として村立豊春小学校敷地内に開校し、今年で 80 年目を迎えます。昭和 29 年(1954 年)7 月 1 日、町村合併に伴い春日部市立豊春中学校と改称され、昭和 45 年(1970)に現在の場所に移転しました。今年で 80 年目を迎える学校です。春日部市の西端に位置し、さいたま市岩槻区東部と接しており、東武アーバンパークライン豊春駅から徒歩 15 分ほどのところにあります。

今年度は、通常の学級各学年 3 学級、特別支援学級 5 学級の計 14 学級、全校生徒 349 名が在籍しています。

◇学校教育目標

「かがやく未来を創る ～夢・感動・絆～」

◇経営方針

【目指す学校像】 ～情熱と笑顔と歌声あふれる学校を～

- (1) 活力のある学校 ・授業や行事が活発で、笑顔がかがやく学校
- (2) 秩序のある学校 ・明るい挨拶があり、動と静のメリハリがある学校
- (3) 潤いのある学校 ・美しく清潔で、歌声や温かい言葉があふれる学校

【合言葉】 ～当たり前のことをやり切る【凡事徹底】～

- (1) 時を守り・場を整え・礼を正す（あたり前ことがひかり輝く学校）
- (2) 協働・感動・信頼（教師と生徒が共にはたらき、共に喜びを味わう学校）
- (3) チーム豊春中（教職員が一丸となって共に学び高め合う学校）

◇本年度の研究テーマ

「生徒一人ひとりのよさを生かし、主体的に学ぶ姿を育む指導・支援の工夫」

～全教科で取り組む、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な指導の充実～

◇本校の特色（誇り・自慢）

本校は、「合唱の豊春」と永く評される伝統を継承し、歌声の響く学校として地域に根ざし、地域に支えられている学校です。毎年度、新入生歓迎会では、2、3 年生合同の合唱披露、正和工業にじいろホール（春日部市文化会館）で開催している合唱祭、3 年生を送る会等、様々な場面で歌声を通して感動を生み出し、感謝を届ける学校づくりを進めています。また、部活動では男女卓球部、陸上競技部、男子ソフトテニス部、吹奏楽部、水泳（個人）が県大会に出場（令和 7 年度実績）し、合唱部（混声合唱団）は NHK 全国学校音楽コンクール関東甲信越ブロックコンクール、TBS こども音楽コンクール東日本優秀演奏発表会に出場（令和 7 年度実績）する高い成果を上げています。

一方、1 年生でスキー教室、3 年生で修学旅行などの体験的な学習を実施し、豊かな心と社会性を育むことを目的として取り組んでいます。また、体育祭においては、全校縦割りの団を組織し、上級生のリーダーシップのもと、活気に満ちあふれる異年齢交流による体育祭を実施しています。

学力向上に関しては、全教科でノートづくりや話し合い活動などの学習の進め方と学校生活の仕方について、「豊春スタイル」を実践して、3 年間で貫く指導を推進しています。さらに、ICT 機器を積極的に活用した授業も進めています。加えて、道徳教育においては、学年教師のローテーションによる授業、相互授業参観等、全校をあげて生徒の道徳性を育む教育に取り組んでいます。



学校名 **春日部市立武里中学校**

校長名 **樋口 誠**

所在地 春日部市薄谷3番地

連絡先 048-735-3034 FAX 048-734-9418

創立 昭和22年4月1日

開校記念日 6月14日

生徒数 478名（令和8年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「創造力を系統的に育む生徒の育成

～SDGsのテーマを関連させ、多様な考えを尊重できる生徒へ～」（3年次）

◇学校の概要

本校は、昭和22年に創立され、今年度で80年目になります。学校周辺には緑地公園や田園風景が広がる、緑豊かな環境の中にあります。また、学校施設は、広い校庭や重層体育館などの充実した施設・設備が整えられています。このような恵まれた環境のもとで、生徒は学習活動や学校行事、部活動に全力で取り組んでいます。また、特別支援学級、通級指導教室がそれぞれ設置されており、特別支援教育を実践する環境も整い、個々の特性に応じた指導を行っています。

◇学校教育目標

「創意に満ち人間性豊かな生徒」

- ① 自ら考え実行する生徒
- ② 素直で思いやりのある生徒
- ③ 健康でたくましい生徒
- ④ 勤労を尊ぶ生徒



【令和7年度 体育祭・合唱祭】

◇学校経営方針

関係法令、県、市の各教育委員会の重点施策等に基づき、学校教育目標の具現化を図るために校長を中心とした全職員の協働体制の下、教育活動を推進することにより保護者や地域の信託に応え、活力と潤いに満ちた魅力ある地域学校づくりを目指す。

- ・ 教育の主体を常に生徒におき、「生徒が主役」の教育活動を実践する。
- ・ 「チーム武里中」の核として、全職員が強固にバインドし、一丸となって組織力を発揮する。
- ・ 学校運営協議会を積極的に活用し、充実し家庭・地域と連携・協力して信頼される地域学校づくりに取り組む。

◇育てたい生徒像

- | | | |
|----------------|---|---|
| ○ 自ら考え実行する生徒 | → | ・ 課題に向き合い、解決しようとする生徒
・ よりよく判断し、正しく行動する生徒 |
| ○ 素直で思いやりのある生徒 | → | ・ 自分とは異なる考えなどを受け入れられる生徒
・ 自他を大切にし、助け合い、感謝し合える生徒 |
| ○ 健康でたくましい生徒 | → | ・ 感染予防を励行するなど、健康と生命を大切にする生徒
・ 何事にもねばり強く、最後までやり抜く生徒 |
| ○ 勤労を尊ぶ生徒 | → | ・ 進んで力になろうとする生徒
・ 家庭、学校、地域の一員であろうとする生徒 |

◇武里中の伝統と新たな伝統づくり

武里中の校旗は、昭和28年に制定された、伝統ある「三色旗」です。武里中の赤・白・青の「三色旗」は、赤（紅色）は「向学の真心」、白（純白）は「清き心」、青（縹色）は「青雲の志」を表したものであり、この三つを基本とする教育が本校の伝統です。また、「生活・学習記録ノート」の活用やタブレットの家庭への持ち帰りによって家庭学習の習慣化と充実を図り、学力向上を目指しています。



学校名 **春日部市立大沼中学校**

校長名 **田村 嘉則**

所在地 春日部市大沼六丁目 75 番地

連絡先 048-736-9986 FAX 048-734-9420

創立 昭和 52 年 4 月 1 日

開校記念日 9 月 16 日

生徒数 611 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

【本年度の研究テーマ】

「行きたくなる場所」をどう創るか

～生徒の安心感を醸成する授業づくりと環境づくり～ (1 年次)

【学校教育目標】

「心身ともに健康で社会に有為な人づくり」

○考える力 (知) …自ら学び、自ら考える生徒

○判断する力 (徳) …相手の立場を尊重し、主体的に判断する生徒

○行動する力 (体) …心身ともに健康で、ねばり強く行動する生徒

【目指す学校像】

元氣な学校 ～頭と心と身体を鍛える、アカデミックな学校～

【目指す学校像を具現化させるための 4 つの視点】

1 ①学べ! ②走れ! ③語り合え!

①生徒の学校生活の根幹である「学習活動」を充実させることに教職員は全力を注ぐこと。「できた」「わかった」という充実感と、「認められた」「褒められた」という自己有用感が「もっと学びたい」を生む。

②生徒自らが選んだ部活動、そして特別活動でたくさんの汗と涙を流させよう。

③自我が芽生え、思考が深まる中学生、思いや願い、そして叫びたい様々な思いを内に潜らせるのではなく、外へと解放させる。語り合える友人や思いを受け止める教職員の存在に気づき、大切にする。

2 自分探し、自分づくり

将来の目標を持たせ、目標の達成の為に必要な知識と目標達成に向けた努力をする生徒を育成する。

3 潤いのある学校

①望ましい競争原理に基づく、切磋琢磨する集団づくり (共に頑張ろう)

②互いに心が通じ合う、温かさに包まれた学校

③生徒たちにとっての人生の良きモデルとなる教職員集団

④古くても心を込めて整美され、安全で安心して過ごせる学校施設

4 彩のある学校

①誰一人取り残すことなく、みんながそれぞれの色を持ち、輝きを放てる、思いやりにあふれた集団活動の創造

②多様性への寛容に基づく、生徒主体の活動 (自分もよくてみんなもいい)

【目指す学校像を具現化させるため、生徒に示す「4 つの合言葉」】

1 学力の高い学校

準備、本番、反省、改善のサイクルを本校では、「黄金サイクル」と呼ぶ。黄金サイクルの実践を通して、「全ての営みとその結果は、準備が大方を占める」という考え方を生徒に身に付けさせることで一人ひとりの学力向上につなげ、生徒が将来にわたって主体的に豊かな人生を切り拓くことができるようにする。

2 美しい学校

①「ひまわり賞」を実施する。個性を伸ばし、温かい心を大切にする。

②「いじめを生まない土壌づくりのための基本的な方針」を毎年度当初に見直す。また毎月定期的に「心と身体の安全点検」を設ける。

3 歌声響く学校

一人ひとりが心を込めて歌うことで、学級、学年、学校全体の感動が生まれる。感動の共有はこども達の豊かな心を育み、互いに支え合うことの大切さが本校の伝統として継承されることを目指す。

4 あいさつの飛び交う学校

「おはようございます。」心地よいあいさつは、一瞬で相手を気持ちよくする効果がある。自ら元気で明るいあいさつができる学校、生徒を育成する。



【 合 唱 祭 】



学校名 **春日部市立豊野中学校**

校長名 **平原 隆範**

所在地 春日部市銚子口 130 番地

連絡先 048-737-0440 FAX 048-734-9421

創立 昭和 52 年 4 月 1 日

開校記念日 9 月 16 日

生徒数 388 名(令和 8 年 5 月 1 日現在)

1 学校教育目標

夢創造

夢創造

- (知) 主体的に学び合う生徒
- (徳) 温かいあいさつのできる思いやりにあふれた生徒
- (体) 豊かな活力をもって「一生懸命」を大切にしながら成長していく生徒

豊野中学校

【4つの合言葉】

温かい挨拶・真剣な授業
心ある歌声・美しい学校

2 学校経営方針

「生き生き充実ウェルビーイング！ ～夢創造する一生懸命がかっこいい学校～」

本市の第2次総合振興計画後期基本計画における目標の一つである「子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち」の理念に立ち、特色ある活動の充実を図るとともに、社会の変化に対応した教育を推進する。また、新たな教育課題に対応するため、校内研修を充実させ、教職員の資質向上を図る。さらに、本市独自の学校教育プランである「かすかべっ子 はぐくみプラン」の取組を一層推進し、児童生徒一人ひとりのよさを伸ばす指導を行う。

また、春日部市教育委員会教育長の方針でもある「継承と創造・発展」の考えのもと、開校 50 年目を迎える本校の歴史を敬い、この地域、この学校ならではの文化・伝統を継承し、さらに常態をレベルアップさせ、創造・発展させる。目指す学校像、生徒像においては、春日部メソッドの合言葉「伝えあい 学びあい 育ちあい 思いあいがうれしい教室 うれしい学校」の具現化をイメージし設定する。

3 目指す学校像

- 「生き生き充実ウェルビーイング！
～夢創造する一生懸命がかっこいい学校～」
- 生徒・教職員にとって「居がい」「やりがい」のある学校
 - 保護者・地域にとって「誇り」をもてる学校
 - 生徒一人ひとりの「夢創造」「ウェルビーイング」を推進し、それを全力で応援する学校
 - 「一生懸命がかっこいい」「積極的なボランティア活動」を推進する学校



4 本年度の重点

(1) 学力の向上と豊かな心の育成

- 基礎・基本の定着を目指した「ドリルパーク」「テストパーク」などタブレットでの個人学習の推進
- 家庭学習への積極的な取組
- エンカウンターや SST を積極的に取り入れたコミュニケーションスキルの向上

(2) 学校運営協議会を中心とした地域連携の推進

- 豊野中学校コミュニティ・スクール
- スローガン「豊野のよさを継承し、夢と未来を創造する」
- 少年育成会、地域防災組織との連携

(3) 地域への貢献

- 地域行事や地域ボランティアへの積極的な参加の推進

(4) 積極的な情報発信の推進 ～学校をもっともっと知ってもらう～

- ホームページ更新 ○学校だよりの定期的発行

(5) 小・中の強い連携

- 合同研修会 ○出前授業 ○管理職・教職員の交流の機会の充実

(6) 不祥事防止研修、働き方改革のさらなる推進

(7) 不登校対策の充実

- 教育相談部会の充実
- さわやか相談室、SC、心のサポートチームや子育て支援課などの専門機関との連携の強化



5 本年度の研究テーマ

思考力・判断力・表現力等を高め、主体的に学習する生徒の育成 ～ICT の効果的な活用による授業実践を通して～



学校名 **春日部市立緑中学校**

校長名 **大平 一義**

所在地 春日部市緑町五丁目9番38号
 連絡先 048-737-8447 FAX 048-734-9422
 創立 昭和58年4月1日
 開校記念日 5月8日
 生徒数 230名（令和8年5月1日現在）

令和8年度 緑中学校の教育

- 1 学校教育目標 ○賢い生徒 ○優しい生徒 ○逞しい生徒
- 2 目指す学校像 ○自分も周りも幸せな学校 ～ウェルビーイング～
- 3 目指す生徒像 ○感じて 考え 行動できる生徒 ～エージェンシー～
合言葉『強みの発揮』～自利息利他～
- 4 目指す教師像 ○学び続ける教師 ○生徒に寄り添う教師 ○誠実かつ迅速に行動する教師
～生徒のロールモデル～

5 本年度の指導の重点

『新しい時代に向けた学校』～心理的安全性を基盤に～

★小規模校としてのよさを活かした組織づくりへの転換

（1）学年等の枠を越えた協力体制の強化

（2）生徒の多様性に配慮した、きめ細やかな指導方法等の改革

★猛暑や感染症にも対応した新たなスタイルの教育活動への確立

（1）生徒の心身の健康面への配慮

（2）教育効果の維持、向上を目指した学習指導、行事、部活動の実施

★生徒一人ひとりが自分と向き合う力を育てるキャリア教育の充実

（1）確かな学力の育成

- ① 学習指導要領に沿った「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った教員一人ひとりの授業改善および教育課程の適切な実施と評価
- ② ICT 機器を効果的に活用した授業改善と家庭学習の充実
- ③ 校務分掌に「学習担当」を明確化 学習指導に関わる諸課題を全校で改善

（2）豊かな心の育成

- ① 「特別の教科 道徳」を要とした全教育活動を通じた道徳教育の充実
- ② 生徒の自主性を育てる特別活動の充実
- ③ 特別支援教育の視点を大切にした学級経営の推進
「合理的配慮」によって、できることを伸ばす・ほめる指導の充実
- ④ 生徒一人ひとりが自分と向き合う力を育てるキャリア教育の充実
- ⑤ 音楽で心を豊かにする

（3）心身の健康づくりと体力向上

- ① 授業や部活動を通じた心身の逞しさの育成
- ② 猛暑や感染症にも配慮した教育活動の充実
- ③ 「自分の命は自分で守る」安全教育の充実

（4）地域とともに歩む学校

- ① 持続可能な小中連携（緑小・正善小）と地域、PTA との連携
- ② 関係諸機関との積極的な連携



なごみ像



6 本年度の研究テーマ

生徒一人ひとりが自分と向き合う力の育成 ～自分の良さを認め、自己肯定感を高める教育活動～



学校名 **春日部市立大増中学校**

校長名 **小川 智之**

所在地 春日部市上大増新田 140 番地
連絡先 048-737-5100 FAX 048-734-9423
創立 昭和 59 年 4 月 1 日
開校記念日 11 月 28 日
生徒数 244 名（令和 8 年 5 月 1 日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「共感的な人間関係を育て 心豊かで生き生きと学校生活を送る生徒の育成」
～生徒の自己肯定感・自己有用感を高める教育の推進と組織で進める生徒指導・教育相談体制の構築を目指して～2 年次

1 学校概要

春日部市の南西部に位置し、立野小学校、本校、春日部共栄中学高等学校、春日部高等技術専門校と 4 校が並ぶ学園ゾーンです。

また、校舎は円形を基本にしたモダンなつくりで、中庭にはオブジェもあり、多くの樹木に囲まれた自然豊かな学習空間が形成されています。



2 学校教育目標「理性 情熱 友愛」

（1）理性：自ら考え、正しく判断し行動できる生徒

- ①人として正しく判断して、よりよく生きようとする。
- ②自ら進んで社会と関わり、社会に貢献していける。
- ③基本的生活習慣を身に付け、健康で安全に生活する。

（2）情熱：意欲をもって、全力でやり抜く生徒

- ①自ら学ぶ意欲をもち、主体的に学習に取り組む。
- ②夢や希望、目標をもち、その達成に向けて努力する。
- ③新しいこと、困難なことにも立ち向かい、挑戦する。

（3）友愛：自他を大切にし、思いやりの心で助け合う生徒

- ①人の心の痛みを理解し、よさを認め合い、思いやりをもって行動する。
- ②自校や地域を愛し、その中で生きる自分に誇りをもてる。
- ③感謝の心をもち、仲間や学校・地域のために尽くそうとする。



3 目指す学校像「一人ひとりのよさを見極め、育み、 感動を共有できる学校」



4 目指す生徒像「**主体**的に取り組む生徒」～できた喜びを味わう～

- （1）夢や希望、目標を持ち、その実現に向け努力し続ける生徒
- （2）主体的に学び、判断し、行動できる生徒
- （3）さわやかな返事とあいさつができる生徒
- （4）優しい心を持ち、他人の痛みを理解し、自他を大切にできる生徒
- （5）運動に親しみ、心身ともに健康な生徒

5 目指す教師像「豊かな学びを**創造**する教師」～できるようにさせた喜びを味わう～

- （1）生徒を愛し、夢や希望を与え、豊かな学びを創造し、生徒とともに成長しようとする教職員
- （2）家庭と地域との信頼関係を深める教職員
- （3）主体性と責任を兼ね備えた教職員
- （4）賢明な判断と情報共有（報告・連絡・相談・見届け）を徹底し協働する教職員
- （5）研究と修養に努め、専門性や人間性を高め合う教職員



学校名 **春日部市立春日部南中学校**

校長名 **内田 健二**

所在地 春日部市武里中野 746 番地

連絡先 048-737-2869 FAX 048-734-9417

創立 平成 31 年 4 月 1 日

開校記念日 11 月 15 日

生徒数 410 名（令和 8 年 5 月 1 日現在）

◇学校の概要

開校 8 年目にあたり、「可能性を広げて伸ばせる 春日部南中」を合言葉に、確かな学力の育成と豊かな心の育成を目指して様々な教育活動を進めています。

◇学校経営方針

1 学校教育目標 **夢に向かって 未来を拓く ～自立・共生・貢献～**

スローガン ～可能性を広げて伸ばせる 春日部南中～



2 目指す生徒像

- ◆ **自ら学び考える生徒** ・主体的に学びに向かい自ら判断し、解決することができる生徒
- ◆ **素直で心豊かな生徒** ・相手の立場を尊重し、認め合い高め合うことができる生徒
- ◆ **心身ともに逞しい生徒** ・心身を鍛え、粘り強く最後までやり遂げることができる生徒

3 目指す学校像

- ◆ **活力のある学校** ・疑問符（？）と感嘆符（！）が溢れる学校
・「今」を頑張れる学校
- ◆ **秩序のある学校** ・挨拶が行き交う学校 ・「心」が見える学校
- ◆ **潤いのある学校** ・美しく清潔な学校 ・「笑顔」が溢れる学校



4 行動目標

- ◆ **凡事徹底** ・当たり前のことを徹底的に行うこと（時を守り ・場を清め ・礼を正す）
- ◆ **師弟同行** ・立場に関係なく共に学び合うこと（全ての人から学ぶ姿勢）
- ◆ **率先垂範** ・人の先頭に立って物事を行い、模範を示すこと（勇気と信念）

◇本年度の重点

- （1）学力向上を最重要課題とする ～効果的な ICT の活用を通して～
 - ①学習端末を効果的に活用した授業の改善
 - ②埼玉県学力・学習状況調査、全国学力・学習状況調査の分析と対策
- （2）小・中一貫教育推進に向けての取組
 - ①不登校等の課題解決に向けた取組の推進
 - ②小中の系統を踏まえた教育課程の編成・実施
- （3）活力・我慢強さ・やりぬく力の元となる体力の向上
- （4）規範意識の醸成・いじめを許さない起こさせない指導
- （5）特別支援教育の充実
 - ①交流学习の充実
 - ②通常学級在籍の支援を要する生徒への的確な指導





学校名 **春日部市立葛飾中学校**

校長名 **松原 睦**

所在地 春日部市永沼 2250 番地 1

連絡先 048-746-0002 FAX 048-746-5260

創立 昭和 22 年 4 月 1 日

開校記念日 4 月 22 日

生徒数 475 名 (令和 8 年 5 月 1 日現在)

目指す学校像

「笑顔と思いやりあふれる 夢 実現 葛飾中学校」

～自分の考えと仲間の考えを大切にする教室～

1 学校教育目標

『自ら考え実行する生徒』

・学力を高める ・心身を鍛える ・進んで働く ・物を大切にする

2 学校経営方針

- 学校教育の使命を自覚し、生徒、保護者や地域の願いに応え、地域に根ざした元気な学校づくりを進める。
- こども達の成長に関わり、その人生に大きな影響を与える私たち教職員は、「未来をつくる」こども達を「つくる」「育む」仕事であることに誇りと自覚をもってこども達と向き合い、確かな学びと豊かな学びのある学校づくりを進める。
- 心の教育の充実を全教育活動の基盤に据え、豊かな人間性と社会性の育成に全力を尽くす。

3 目指す学校

- 学校は学び合うところ、うれしいところ、安心して過ごせるところ
- 学校は生徒のよさを引き出し、確かな学力をつけるところ
- 学校は生徒に豊かな心を育むところ
- 学校は生徒の健やかな身体を育むところ
- 学校は生徒・保護者・地域に愛され誇れるところ

4 育てたい生徒像「葛中魂」

- 真剣に学習に打ち込む生徒
- あいさつがしっかりできる生徒
- 時間を守る生徒
- 互いに認め合い、思いやりのある生徒
- 汗を流して働く生徒
- 部活動や行事で心身を鍛える生徒
- 健康・安全に気をつけ、交通ルールを守る生徒
- 公共物を大切にし、人のために力を発揮する生徒

テストの点数では測れない「人としての土台」になる力＝非認知能力

- やり抜く力（粘り強さ）
- 自分を信じる力（自己肯定感）
- 感情を整える力
- 協力・共感する力
- 好奇心・探究心

5 望まれる教師像

- 生徒の気持ちを理解し、生徒のやる気を引き出す教師
- 常に研究と修養に努め、自ら学び続けようとする教師
- 組織の一員としての自覚を持ち、自ら厳しさのある教師
- 理想を追い求め、率先垂範する教師
- 教育公務員としての使命を自覚し、信頼される教師
- 取捨選択したり優先順位をつけたりしながら効率よく働き、常に心身ともに健やかな状態で生徒に向き合える教師
- ワークライフバランスを大切にし、公私にわたり充実した生き方のできる教師



6 学校経営の理念

生徒一人ひとりのよさを見つけ伸ばす教育の推進（長所伸長）

こども達は、一人ひとり「よさ」や「可能性」を持っている。それに気づき、引き出し、伸ばすことが、私たちの使命である。（学校の主役は生徒）

そのためには、生徒と共に汗を流し（共汗）、喜びを分かち合い（共感）、共に学び続け（共学）、自身と家族が心身ともに健康である教員でなくてはならない。そして私たちの「よさ」を発揮し、一枚岩となり、互いに高め合い認め合う学校を目指す。

教師一人ひとりのよさや取り柄が発揮できる、お互いの得意科目を活かし、連携することにより、何倍、何十、何百倍もの力を 教師はよき伴走者として寄り添う。



学校名 **春日部市立飯沼中学校**

校長名 **田中 理恵子**

所在地 春日部市飯沼 180 番地

連絡先 048-746-7321 FAX 048-746-7322

創立 昭和 57 年 4 月 1 日

開校記念日 6 月 22 日

生徒数 354 名（令和 8 年 5 月 1 日現在）

<学校教育目標> 「自主実行」 ～自ら学び進んで実行～

- ◇自ら課題を持ち進んで学ぶ生徒（知）
- ◇豊かな心を持ち責任を果たす生徒（徳）
- ◇心身ともに健康な生徒（体）

<目指す学校像> 生徒一人一人が心と気持ちと言葉を尽くすことのできる凜と和の調和のとれた学校

◇凜とした学校

- ①内面の強さ・芯の強さ（レジリエンスと信念）②爽やかさ（清潔感と謙虚さ）
- ③精神的な自立（自律的な判断）

◇和のある学校

- ①思いやりある行動ができる学校 ②心を尽くすことができる学校

◇潤いある学校

- ①心身の安定と肯定的な人間関係 ②失敗を恐れず挑戦する文化
- ③小さな成功体験の積み重ねと自己表現

<経営方針>

- ◇確かな学力と豊かな心を育む教育課程 ◇生徒が「居がい」を感じる教室づくり
- ◇心身ともに健康な生徒 ◇安心・安全な学校
- ◇保護者・地域との絆を深め、「地域の学校」として信頼され共に歩む学校

<本年度の重点> ◇学力向上 ◇豊かな心の育成 ◇安心安全な学校経営

- ◇地域・保護者との連携（コミュニティ・スクール）

<本年度の研究テーマ>

「書く力の向上を目指した学習指導の工夫」

本校では、昨年度まで各教科・領域を関連づけて学ぶことで、生徒が生きて働く力を身に付けることができるよう「教科等横断的な学習」の研究を進めてきた。今年度は、「書く力」の向上を主軸とし、各教科の特性に応じた言語活動の充実を図ることを通して、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、それらを活用して自分の考えを表現する力の育成を目指す。

また、これまでの研究の成果を生かし、教科等横断的な学びについては、各教科の実態に応じて可能な場面で積極的に取り入れ、学びの関連付けを図ることでより深い理解と表現力の向上につなげていく。

<特色ある取組>

「体験の飯沼」として、成功体験が味わえる豊かな体験的活動の充実を推進している。教科等横断的な学習、SDGs、国際理解教育、地域連携共育を柱とし、全教育活動で体験的活動を取り入れている。

昨年度は、修学旅行、スキー教室、しらさぎ祭（合唱祭）に加え、鎌倉班別校外学習、防災フィールドワーク、シニア体験、着付け体験、異年齢交流体験、農業体験などを行った。また開校以来の伝統として「無人購買」を生徒会が運営・管理している。その他にも大塚マラソン、地域小学校との交流、地域防犯キャンペーン、地域納涼祭、地域文化祭、長寿を祝う会、桜咲くマルシェなど多くの行事にボランティアとして参加し、校内でのエコキャップ回収活動や校内及び地域周辺のゴミ拾い活動などとともに多くの体験活動を通して生徒一人ひとりに自主実行の精神と奉仕の心が根付いている。





学校名 **春日部市立江戸川小中学校**

校長名 **鈴木 美江**

所在地 春日部市上吉妻1番地

連絡先 電話 048-748-1020

FAX 048-748-1282

創立記念日 平成31年4月1日

開校記念日 9月29日

児童生徒数 187名（令和8年5月1日現在）

〈本年度の研究テーマ〉

義務教育9年間を通じた学びのデザイン

～根拠をもって自分の考えを堂々と語る児童生徒の育成～

本校は宝珠花小学校、富多小学校、江戸川中学校の3校を統合してできた、県下初の義務教育学校です。

1 義務教育学校運営の基本方針

『「真剣・集中」の学びの姿と自信を育てる地域に根ざした学校
～勢いのある学校づくり～』

- ・義務教育9年間を見通した系統的で継続的な学習活動による学力・体力の向上
- ・異学年の交流活動や体験的な学習活動による豊かな人間性・社会性の育成
- ・個々のこどもの実態を踏まえた共通認識に基づく方針による指導・支援の推進
- ・地域の特性を活かし地域との協働による特色ある教育活動の展開
- ・個々の教職員の魅力を活かした指導体制の充実



2 学校教育目標

自ら学び、考える子	（確かな学力）
心豊かで、思いやりのある子	（豊かな人間性）
たくましく生きる元気な子	（健やかな体）

3 目指す子供像

え 笑顔であいさつする子	（基本的生活習慣）
ど 堂々と考えを伝えられる子	（思考力・表現力）
が 頑張りぬく子	（確かな学力・体力）
わ わかりあう子	（思いやりの心）



4 本校の特色ある教育活動

（1）一人ひとりの児童生徒が多様な体験を積み、夢を見つけ育む教育

- ・豊かな体験を通じた地域の人・文化・歴史とのふれあい活動
- ・学校運営協議会を核とした地域と協働する教育活動
- ・個性を磨き、夢を育むキャリア学習
- ・1～9年生が協働しながら交流する諸活動

（2）児童生徒理解を基盤とした、一人ひとりの児童生徒に向き合い、寄り添う支援

- ・全職員で進める児童生徒理解と組織的体制による支援
- ・教育相談の定期、不定期の実施
- ・道徳教育の推進（後期課程は複数体制による指導）
- ・全校的な体力向上を目指す活動（なわとび、持久走等）

（3）わかるまで、できるまで取り組む継続した指導と支援

- ・少人数や個別の指導（支援）の実施
- ・わかる授業の工夫とChromebook等の様々な教具の活用
- ・家庭学習の習慣化を目指した自主学習の取組



V 社 会 教 育

社会教育課

1 課の目標

「市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち」の実現に向けて、市民一人ひとりが自らの意思で学習し、学んだ力をボランティア活動や地域の発展等に生かせる生涯学習社会を築くために、中核となる社会教育行政の充実を図る。

関係機関・団体との連携の基に、地域に密着した学習情報や学習機会を開発・提供し、市民の自主的な学習活動を奨励するとともに、活動を支える基盤を整備する。あわせて、「子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち」の実現に向けて、家庭・地域・学校と協力して地域の教育力向上に努めるとともに家庭教育の充実を図る。



2 主な施策

○人権教育推進協議会補助金

人権教育を積極的に振興し、平等で明るい社会づくりに資するため補助金を交付するもの。
主な事業費：市民アカデミー及び人権週間ポスター展開催にかかる消耗品費、啓発品購入にかかる消耗品費、研修用資料及び教材購入にかかる消耗図書費等

施策 3-2-1	621 千円（前年度比 増減なし）
----------	-------------------

○社会教育総務事務

市全体、または地域において、市民の学習意欲に応える各種社会教育事業を実施するもの。
主な事業費：各種社会教育事業実施にかかる消耗品費、講師謝礼等

施策 3-3-1	3,658 千円（前年度比 603 千円増）
----------	------------------------

○社会教育関係団体補助金

社会教育の振興を図るため、社会教育関係団体が行う事業に対し、補助金を交付するもの。
主な事業費：社会教育関係団体に対する補助金

施策 3-3-1	3,027 千円（前年度比 増減なし）
----------	---------------------

○二十歳を祝う会実施事業

二十歳を迎えた若者の人生の節目を祝福するとともに、将来の幸福を祈念し、あわせて社会人として、市民としての自覚を促すために実施するもの。また、市に愛着を持ってもらい、このまちに住んで良かった、これからも住み続けたいと思ってもらう機会とする。

主な事業費：企画や広報等の内容決定及び運営を行う実行委員会に対する業務委託料

施策 3-3-1	2,036 千円（前年度比 57 千円増）
----------	-----------------------

○図書館運営事業

市民が求める資料や情報が得られるよう、図書館サービスの充実を図るとともに、中央・武里・庄和図書館を指定管理者により管理運営するもの。電子書籍の充実やマイナンバーカードと図書館利用券の連携など、デジタル社会へ対応した図書館サービスの拡充に努める。

主な事業費：指定管理委託料、図書館システム借上料、図書購入費

施策 3-3-1	397,310 千円（前年度比 ▲6,609 千円）
----------	----------------------------

○視聴覚センター運営事業

市民の生涯学習に取り組む意識の向上と啓発を図るため、施設及び視聴覚ライブラリーの貸出しを実施するもの。なお、教育センターの再整備に伴い令和8年9月19日から休館。

主な事業費：電算システム借上料、電算機器借上料、備品等保守管理委託料

施策 3-3-1	2,769 千円（前年度比 ▲4,916 千円）
----------	--------------------------

○生涯学習推進事業

生涯学習関連施策の総合的な推進を図るため、生涯学習推進組織を設置し、様々な学習の機会及び活動成果の発表の場を提供するもの。

主な事業費：生涯学習市民推進員及び市民講師への謝礼

施策 3-3-2	731 千円（前年度比 34 千円増）
----------	---------------------

○芸術文化振興事業

市民の芸術文化活動を振興し、芸術文化活動の活性化を図るため、芸術文化情報の提供、自主活動の支援等を行い、優れた芸術作品に接する機会を提供するもの。

主な事業費：市展開催のための会場借上料、芸術文化振興事業補助金

施策 3-4-1	8,622 千円（前年度比 589 千円増）
----------	------------------------

○教育センター管理事務

教育センターの環境整備・機能充実を図るため、計画的な施設修繕と管理運営を実施するもの。また、春日部市教育センター再整備基本計画を策定し、実施設計書を作成したことにより、工事の実施に向けて、不要品の整理を行う。

主な事業費：施設・設備を管理するための委託料、光熱水費

施策 3-3-1	60,114 千円（前年度比 ▲44,949 千円）
----------	----------------------------

3 主な事業の概要

(1) 社会教育担当

区分	事業名	事業内容	備考
人権教育推進協議会補助金	人権教育推進協議会事業費補助金	人権教育の積極的な振興を図ることによって平等で明るい社会づくりに寄与するため、市人権教育推進協議会が行う事業に対し、補助金を交付する	
社会教育総務事務	社会教育委員会会議	社会教育に関し教育委員会に助言するため、必要な研究調査等を行う	
	市民アカデミー	人権作文・ポスターの発表を行うとともに、社会教育の推進と充実を図るため、市民・学校・社会教育活動を行っている団体を対象とした講演会を行う	市人権教育推進協議会と共催
	学社連携事業	市と包括的連携協定を締結している大学等と連携し、公開講座を開催する	
	人権教育の普及・啓発事業	人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権意識の高揚を図るため、近隣市町や市人権教育推進協議会との連携を図り、人権教育研修への協力支援や普及・啓発事業を行う	
	青少年地域活動・ボランティア活動推進事業	青少年の地域活動・ボランティア活動体験の機会の創出のため、中学生を中心にボランティア手帳の配布を行う また、地域活動・ボランティア活動等、人に喜ばれる活動を行った者に対する表彰支援として小学校、中学校及び義務教育学校への表彰状の配布を行う	
	かすかべ郷土かるたを活用した郷土学習	郷土愛の高まりを目的として、小学校及び義務教育学校の3年生を対象に、社会科または総合的な学習の時間を活用した郷土学習を実施する	
	子ども大学かすかべ	こどもの学ぶ力や生きる力を育むため、共栄大学・公益社団法人春日部青年会議所と連携し、小学校及び義務教育学校の4～6年生を対象に、こどもの知的好奇心を刺激する講義や体験活動を実施する	子ども大学かすかべ実行委員会を組織
二十歳を祝う会実施事業	二十歳を祝う会	二十歳を迎えた若者の人生の節目を祝福するとともに、将来の幸福を祈念し、社会人として市民としての自覚を促すために祝賀式典を行う	二十歳を祝う会実行委員会を設置
社会教育関係団体補助金	社会教育関係団体事業費補助金	社会教育の振興を図るため、社会教育関係団体が行う事業に対し、補助金を交付する	
芸術文化振興事業	芸術文化情報の収集及び提供事業	市民の芸術文化活動を支援するため、市内の芸術文化活動や芸術文化関係施設等の情報を収集し、市公式ホームページやかすかべの芸術文化ポータルサイト等において情報提供を行う	
	市美術展覧会（市展）	市民の美術への理解と創造力の啓発を図るとともに、豊かな人間性を養い、本市における芸術文化の発展に寄与するため、市展を開催する	市展実行委員会を設置
	彫刻の維持管理及び周知	「彫刻のある街づくり」によって市内に設置した24体の彫刻の維持管理を行うとともに、彫刻の普及、活用を図る	
	共催・後援事業	市民の芸術文化活動等に係る教育委員会共催・後援事務を行う	

	芸術文化振興事業補助金	市民の自主的な芸術文化活動を奨励するとともに、市民が優れた芸術文化事業に触れる機会を支援することを目的として、芸術文化団体が行う地域において優れた創作、創造等の芸術文化活動に対し、補助金を交付する	
--	-------------	--	--

(2) 図書館担当

区分	事業名	事業内容	備考
図書館運営事業	春日部市立図書館運営審議会	図書館の運営に関する事項について調査審議を行い、教育委員会に意見を述べる	
	市立図書館の蔵書構築	中央・武里・庄和図書館資料の購入、収集及び保存に係る選定を組織的系統的に行い、市民や地域状況の求める資料を提供する	
	指定管理者の継続監視	指定管理者による図書館運営が適切になされるよう継続監視を実施し、図書館機能の維持発展を図る	
	中学校及び義務教育学校(後期課程)図書館支援	中学校及び義務教育学校(後期課程)の学校図書館に訪問支援を実施し、生徒の読書意欲の向上、学校図書館の利用向上等の効果を図る	
	小学校及び義務教育学校(前期課程)図書館支援	小学校及び義務教育学校(前期課程)に配置されている学校司書を対象に全体研修を実施するとともに個別相談に対応する	
	学校連携事業	小学校、中学校及び義務教育学校を対象に「ブックトーク」及び「団体貸出」の実施並びに「学校おはなし会」の調整を行う	
	第2次春日部市子ども読書活動推進計画	「第2次春日部市子ども読書活動推進計画」に基づいた「図書館リストラテ」などの取組を実施する	

(3) 生涯学習推進担当

区分	事業名	事業内容	備考
生涯学習推進事業	生涯学習推進体制の充実	生涯学習推進本部の活動充実 (本部会、幹事会、スタッフ会議)	
		生涯学習市民推進員の活動充実	スキルアップ講座等
		全国生涯学習市町村協議会	市長が理事
	生涯学習推進計画の進行管理	「第2次春日部市生涯学習推進計画」を基に、具体的な実施計画書を作成する	
	生涯学習都市宣言	生涯学習都市宣言の啓発	
	生涯学習研究事業	生涯学習市民推進員が企画し、公民館・地域との連携を図りながら事業を実施する	

生涯学習交流紙「遊学」の発行	生涯学習市民推進員が企画、取材、編集を行い、生涯学習交流紙を発行する	
生涯学習人材情報登録制度	市民参加による生涯学習を進めるため、人材情報を収集し、希望に応じて提供するとともに、登録者が企画・実施する学習会「生涯学習市民塾」の支援を行う	登録者一覧を作成 ホームページ掲載 関係機関に配架・活用
かすかべし出前講座	市職員による「行政編」と生涯学習人材情報登録者が講師となる「市民講師編」により、市民に多様な学習メニューを提供する	出前講座メニュー一覧を作成 ホームページ掲載 関係機関に配架・活用
遊学1日体験教室	人材情報登録者による講座を実施	
かすかべ遊学	生涯学習に取り組む団体の事業名に「かすかべ遊学」と冠することを承認し、市のホームページ等で紹介することで活動の支援を行う	
生涯学習パスポート	市民が学習目標や計画を立てて学び、その学習成果等を記録するための生涯学習パスポート「はるがく帳」の普及と活用を図る	1冊修了する毎に単位認定証を、3冊修了する毎に奨励賞を授与
ミニギャラリーの設置	市民が作成した絵画、書、工芸その他の作品の展示等の場を提供する	学習情報サロンに設置

(4) 視聴覚センター

区分	事業名	事業内容	備考
視聴覚センター運営事業	視聴覚ライブラリーの運営	視聴覚機材や教材の整備・貸出	
		利用支援	
	学習情報サロン	閲覧・提供用資料の整備	
		生涯学習情報の提供	
	管理システムの機能の充実	ライブラリー貸出管理システムの運用・適正管理	
		施設利用案内表示システムの運用・適正管理	
		公共施設予約システムの運用・適正管理	

4 視聴覚センター施設の概要

階	施設名	主な設備	定員	面積
1	学習情報サロン	ミーティングコーナー、パンフレットコーナー、無線LAN、ミニギャラリー		175 m ²
2	視聴覚ホール	ステージ(65 m ²)、舞台照明、音響設備、電動スクリーン(3m×6m)、展示パネル、無線LAN	机使用時120名 イスのみ200名	275 m ²
	視聴覚ホール控室(3階)	応接セット、トイレ付 ※ホール関係者控室	8名	24 m ²
	視聴覚研修室	VTR、DVD プレーヤー、16 mm映写機、スクリーン2、電動暗幕、無線LAN ※視聴覚機器を使用する研修等	50名	104 m ²
	会議室	ホワイトボード、無線LAN	28名	95 m ²
3	事務室(受付カウンター) ※視聴覚ライブラリーを含む	施設・視聴覚ライブラリーの予約・貸出、利用相談		108 m ²
	メディア研修室	無線LAN	24名	122 m ²
	教材作成室1	音声編集システム		71 m ²
	スタジオ	ビデオカメラ、スタジオ照明設備、アナウンス卓、撮影台、プロンプター等 ※ビデオ撮影、写真撮影等		68 m ²
	スタジオ調整室	ビデオ編集システム		33 m ²
	教育資料室	教育図書・資料等		40 m ²
4	研修室1	レクチャー卓、スクリーン、無線LAN	45名	77 m ²
	研修室2	教材提示卓(VTR・DVD プレーヤー)、無線LAN	110名 (固定席80)	138 m ²
	研修室3	レクチャー卓、スクリーン、無線LAN	45名	78 m ²

※3階事務室では、生涯学習推進担当の事務もあわせて行っています。

(かすかべし出前講座、春日部市生涯学習人材情報登録などの受付・紹介等)

※全館公衆無線LAN(フリーWi-Fi)サービスが利用できます。

◆ 視聴覚ライブラリーの主な貸出機器・教材

貸出機器	プロジェクター、ビデオカメラ、16 mm映写機、スクリーン、録音機、拡声器など
貸出教材	ビデオテープ(VHS) 2,107本、16 mm映画フィルム 201本、DVD 125枚

視聴覚センターは教育センターの再整備に伴い、令和8年9月19日から休館しますが、現在3階の事務室を1階へ移転して生涯学習推進担当の事務を行います。

文化財課

1 課の目標

「市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち」の実現に向けて、市民が本市の歴史や文化遺産に愛着や誇りを持ち、「文化・芸術や郷土の歴史を大切にするまちをつくる」ため、地域社会総がかりで本市固有の文化遺産を守り継承し、その価値を共有して地域の魅力を向上させるとともに、市民自らが歴史や文化遺産について学ぶための環境の整備を進める。

2 主な施策

○文化財保護事業



「春日部市文化財保存活用地域計画」に基づき、市内に所在する多様な文化遺産の保存と活用を図るもの。
主な事業費：パート会計年度職員報酬、車両借上料、事業費補助金

施策 3-4-2	22,833 千円（前年度比 ▲40 千円）
----------	------------------------

○市史編さん事業

市の歴史や文化について調査し、市史として編さん、刊行するとともに、地域に伝わる資料や歴史的公文書などの調査、収集、整理および保存を行うもの。
主な事業費：パート会計年度職員報酬、調査謝礼、資料整理や保存のための消耗品費

施策 3-4-2	2,960 千円（前年度比 818 千円増）
----------	------------------------

○埋蔵文化財発掘調査受託事業

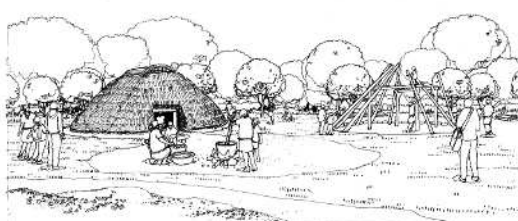
民間開発及び公共事業に先立つ埋蔵文化財の発掘調査、整理及び報告書の刊行を行うもの。
主な事業費：パート会計年度職員報酬、土工事や測量のための調査委託料

施策 3-4-2	11,315 千円（前年度比 ▲908 千円）
----------	-------------------------

○史跡神明貝塚保存活用事業

史跡神明貝塚を適切かつ確実に保存し、史跡を活かしたまちづくりを推進するもの。
主な事業費：施設修繕料、業務委託料、計画策定委託料、除草委託料、土地購入費
①史跡の公有地化、除草、防草シートの敷設を行い、健全な保存管理を推進
②今後の現地整備の実施に向けて、具体的な内容や方法等について検討するため、整備基本計画の策定に着手

施策 3-4-2	56,502 千円（前年度比 ▲30,287 千円）
----------	----------------------------



史跡神明貝塚活用イメージ
「史跡神明貝塚保存活用計画」より

3 指定等文化財件数

種別		国指定	国登録	県指定	市指定	国選択
有形文化財	建造物	—	2	4	3	—
	美術工芸品			4	35	
無形文化財		1	—	—	—	—
民俗文化財	有形	—	—	—	3	—
	無形	—	—	2	7	1
記念物	遺跡	1	—	—	2	—
	名勝地	—	—	—	—	—
	動物・植物・地質鉱物	1	—	4	1	—
	旧跡	—	—	1	—	—
計		3	2	15	51	1
埋蔵文化財包蔵地（遺跡）		105 か所				

（令和8年4月現在）

郷土資料館

1 郷土資料館の目標

- ① 大宮台地と下総台地、中川低地を基盤として育まれた地域の風土や歴史を学ぶことのできる郷土資料館とする
- ② 春日部市の歴史の変遷や生活文化に関するあらゆる資料（歴史、民俗、考古、美術、建築、芸能等）を収集・保存し、調査・研究し、展示や体験学習等による教育普及を図る
- ③ 地域社会における生涯学習の場とするため、全市民が参加できるような、開かれた資料館とする
- ④ 学校教育との関わりを重視し、児童生徒の郷土の学習に貢献する
- ⑤ 近隣地域の関連施設とのネットワーク化を図り、広く郷土の文化遺産に関する情報センターとしての役割を果たす

2 主な施策

○郷土資料館運営事業



郷土資料館の管理運営を行うとともに、市域の資料を収集・保存・調査・研究し、展示や体験学習・講座の開催等による教育普及を行うもの。

主な事業費：パート会計年度職員報酬、展示資料運搬のための通信運搬費、環境調査(IPM 管理)の委託料

施策 3-4-2	10,659 千円（前年度比 ▲716 千円）
----------	-------------------------

3 主な事業の概要

区分	事業名	事業内容
郷土資料館事業	展示	企画展示・春季展示(第73回)・夏季展示(第74回)を、企画展示室にて開催。記念講演会など企画展示関連事業の開催。 常設展示の更新・再検討。
	講座	しめ縄・桐の貯金箱・凧作りなど、小学生親子と一般市民を対象に開催する体験講座。市域の古文書を解説する古文書講座。考古学に関する考古学講座。
	歴史・文化講演会	江戸や関東地方・春日部の歴史・文化に関する講演会を開催(年6回)。
	体験ワークショップ	展示室内での、紙芝居の上演と簡易な昔のおもちゃ作り。
	収集・保存・活用	収蔵資料の整理・データ化と適切な管理及び公開。収蔵庫等の収蔵環境の整備・維持。
	調査・研究	常設展示資料及び展示替、収集資料に関わる資料調査。博物館運営・情報発信に関わる調査・研究。
	博学連携の推進	小学校及び義務教育学校による団体見学の促進。小学校郷土資料室の整備。各種の出張授業、教材用資料貸し出しの促進。
	市民参加・民間との連携	古文書解説ボランティアをはじめとするボランティア活動の充実。民間団体、企業等との連携を推進。
	大風文化交流センターの利活用	関連部署と連携して、主に庄和地域に伝わった郷土資料の展示。

4 施設・設備一覧

	施設・設備	活 用 内 容
1 階 (約 337 m ²)	教育センター入口掲示板	ポスターなどの掲示
	常設展示室 (約 208 m ²)	平成 2 年 7 月開館以来の展示。縄文時代中期 (約 4800 年前) の住居模型、江戸時代粕壁宿推定模型 (1/200) 等
	企画展示室 (約 70 m ²)	展示替 (年 4 回程度)
	展示準備室 (約 37 m ²)	展示準備作業に使用
	学芸研究室 (約 16 m ²)	受贈図書、備品図書、保存文書を保管、フィルム保管庫 2 台 (備品)
	燻蒸室 (約 20 m ²)	資料の殺虫・殺卵・殺菌用燻蒸器 (SK 式減圧滅菌装置) 1 台 (備品) を設置
	事務室 (約 45 m ²)	
地下 (約 447 m ²)	整理作業室 (約 67 m ²)	主に文化財担当が、発掘出土品の整理や市史編さんのために使用、マイクロフィルムリーダープリンター 1 台 (備品) 設置
	資料収蔵庫 (約 150 m ²)	民具・古文書等寄贈・寄託品を収蔵
	特別収蔵庫 (約 47 m ²)	特に貴重な資料、寄託資料、劣化しやすい資料を収蔵
他公共施設	文化財第 2 収蔵庫他	市民から寄贈を受けた歴史資料・民具を保管

※総面積 約 829 m²

※教育センター平成 2 年 4 月開所、郷土資料館平成 2 年 7 月開館

※令和 8 年 3 月登録博物館に登録

スポーツ推進課

1 課の目標

スポーツ庁が策定した第3期「スポーツ基本計画」、埼玉県が策定した「埼玉県スポーツ推進計画」及び令和7年度「春日部市スポーツ推進計画」に基づき、市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、「いつでも」、「どこでも」、「いつまでも」スポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるよう生涯スポーツ社会の実現に努める。

そのために、「する」「みる」「ささえる」スポーツを推進し、多世代に対応したスポーツ教室、各種イベントや大会の充実、さらにトップレベルのスポーツ観戦の機会提供を図るとともにスポーツを通じた地域の活性化などに努める。

また、総合型地域スポーツクラブへの支援を行うとともに、市民の多様なニーズに対応するため、スポーツ指導者の資質の向上を図り、その活用に努める。

なお、体育施設については、利用者が安全かつ有効な利用ができるよう既存体育施設の維持管理に努めるとともにウイング・ハット春日部周辺の整備を計画的に進める。



2 主な施策

○体育総務事務

市民がスポーツを行うにあたり、必要とされる施設、機会、指導者を提供することにより、市の生涯スポーツの普及推進を図るもの。

主な事業費：スポーツ推進委員等への委員報酬、市民体育祭等の事業委託料

施策 3-5-1	13,777 千円（前年度比 ▲75 千円）
----------	------------------------

○スポーツ協会補助金

市のスポーツ振興を担っているスポーツ団体の事業・活動を支援し、市の生涯スポーツの普及推進を図るもの。

主な事業費：春日部市スポーツ協会が行う事業に対する補助金

施策 3-5-1	3,008 千円（前年度比 ▲500 千円）
----------	------------------------

○スポーツ推進委員協議会補助金

市のスポーツ振興の推進役であるスポーツ推進委員協議会の事業・活動を支援し、市の生涯スポーツの普及推進を図るもの。

主な事業費：春日部市スポーツ推進委員協議会が行う事業に対する補助金

施策 3-5-1	425 千円（前年度比 増減なし）
----------	-------------------

○レクリエーション協会補助金

市のスポーツ振興を担っているスポーツ団体の事業・活動を支援し、市の生涯スポーツの普及推進を図るもの。

主な事業費：春日部市レクリエーション協会が行う事業に対する補助金

施策 3-5-1	2,415 千円（前年度比 増減なし）
----------	---------------------

○スポーツ少年団補助金

市のスポーツ振興を担っているスポーツ団体の事業・活動を支援し、市の生涯スポーツの普及推進を図るもの。

主な事業費：春日部市スポーツ少年団が行う事業に対する補助金

施策 3-5-1	1,477 千円（前年度比 増減なし）
----------	---------------------

○大風マラソン大会実施事業

マラソン大会を通じて「春日部市」と「大風あげ」を広く全国に周知するとともに、市民のボランティア意識の高揚を図るために開催するもの。

主な事業費：大風マラソン大会を開催するため実行委員会が行う事業に対する補助金

★祖父母と孫がペアで走る「孫Run（まごらん）」の定員を増員する。

施策 3-5-1	9,800 千円（前年度比 800 千円増）
----------	------------------------

○民間等プール利用事業

民間プール、県営プールの利用料を助成することにより、市民にプール利用の機会を提供し、市民の健康増進及び体力の向上を推進するもの。

主な事業費：市民の民間等プール施設利用料を助成する補助金

施策 3-5-1	582 千円（前年度比 ▲19 千円）
----------	---------------------

○小中学校体育施設開放事業

小・中・義務教育学校体育施設を学校教育の支障のない範囲で開放し、市の生涯スポーツの普及推進及び地域コミュニティの活性化を図るもの。

主な事業費：学校開放施設の施設修繕料

施策 3-5-1	1,580 千円（前年度比 増減なし）
----------	---------------------

○体育施設運営事業

安全かつ快適なスポーツ・レクリエーション活動の場を提供し、市の生涯スポーツの普及推進を図るため、体育施設を管理運営するもの。

主な事業費：大沼公園広域受援拠点施設整備工事（附帯工事）、施設運営管理の委託料、体育施設避難所環境整備

①大沼陸上競技場のリニューアルオープンに向けた整備を進める。

②避難所等となっている体育施設に空調設備の整備を進める。

施策 3-5-1	437,198 千円（前年度比 ▲1,298,020 千円）
----------	--------------------------------

3 主な事業の概要

(1) 「する」スポーツの推進

① 各種スポーツ教室の充実

教室名	回数	定員	対 象	会 場
健康いろいろエクササイズ教室	5回	40人	18歳以上の市内在住・在勤・在学者	中央公民館講堂
親子ふれあいスポーツ教室	5回	40人	市内在住の3歳以上の未就学児とその保護者	市民体育館アリーナ
はじめてみようソフトバレーボール教室	5回	40人	18歳以上の市内在住・在勤・在学者	総合体育館サブアリーナ
楽しく軽スポーツ体験教室	5回	40人	18歳以上の市内在住・在勤・在学者	市民体育館アリーナ
埼玉ハーツと一緒に親子バスケットボール教室	5回	25組	市内在住・在学の小学生とその保護者	市民体育館アリーナ

※ さらに出前講座の活用や関係機関との連携を図り、各種スポーツ教室を開催する。

② 各種イベントの充実と推進

行 事 名	期 日	対 象	会 場
第38回春日部大風マラソン大会	5月4日	申 込 者	庄和総合公園及び周辺コース
健康スポ・レクフェスタ2026 ～軽スポーツ・ニュースポーツ体験交流会～	8月	一 般	総 合 体 育 館
春日部市民体育祭地区大会	10月	地 区 住 民	各地区小・中学校校庭等
春日部市民体育祭種目別大会	5月～3月	会 員 ・ 一 般	市 内 各 施 設

③ 地域スポーツの充実と普及

ア スポーツ推進委員協議会との連携

イ 世代を超えて参加し、楽しむことができるニュースポーツの発掘と普及

ウ 先進自治体への視察や各種関係団体との情報交換

エ スポーツ教室等での積極的な普及（フラバレーボール等）

行 事 名	期 日	定 員	対 象	会 場
健康づくりのつどい	5月～10月	40人程度	小学4年生以上	各 小 学 校 体 育 館
地域巡回スポーツ教室	10月～12月	30～60人程度	市内在住・在勤・在学者	各小学校体育館・市民体育館
軽スポーツ等の出前講座	6月～12月	自 由	一 般	講 座 に よ り 異 な る
出張授業	6月～12月	自 由	小・中学生	小・中・義務教育学校

④ パラスポーツの普及と啓発

ア パラスポーツ大会の招聘

イ パラスポーツの普及

ウ 埼玉県障害者スポーツ協会など関係団体との連携

- ⑤ 総合型地域スポーツクラブとの連携
 ア 埼玉県及びクラブとの連携
 イ 新たな総合型地域スポーツクラブの設立に向けた支援

(2)「みる」スポーツの推進

① トップレベルの大会誘致

大会名	期 日	会 場
日本女子バスケットボール W リーグ	未 定	総 合 体 育 館
日本男子プロバスケットボール B リーグ	未 定	総 合 体 育 館
卓 球 T リ ー グ	未 定	総 合 体 育 館

② スポーツ大会・イベント時における地域活性化の推進

- ア 地場産業（食料品等）の紹介
 イ かすかべフードセレクションとの連携

③ スポーツイベントの情報発信

- ア スポーツ大会やイベントの情報発信
 イ 人気スポーツの情報発信

④ 本市出身・ゆかりがある選手の紹介

全国、世界で活躍している本市出身、あるいは本市にゆかりがある選手の方々の活動を積極的に紹介・発信

⑤ トップアスリートとの交流

日本を代表する選手や元プロ選手等と交流できるイベントの企画

(3)「ささえる」スポーツの推進

① スポーツ・レクリエーション団体への支援と連携

- ア 補助金の交付
 イ 各団体の大会開催の支援
 ウ 運営の補助

団 体 名	団 体 内 容
春日部市スポーツ協会	19 団体 会員 約 4,500 人
春日部市レクリエーション協会	14 団体 会員 約 1,600 人
春日部市スポーツ少年団	9 部会 47 団体 会員 約 1,800 人

- エ 市主催イベントへの協力依頼

② 学校活動等への支援

- ア 放課後子ども教室への指導者派遣
 イ 出前講座の活用
 ウ 軽スポーツ等を取り入れた出張授業の実施

③ 指導者の育成と資質の向上

ア 研修会・講習会

研 修 会 等 名	期 日	主 催 団 体	会 場
親 睦 研 修 会	6月	春日部市スポーツ推進委員協議会	谷中小記念館
フラバレーボール審判講習会	11月	春日部市スポーツ推進委員協議会	市民体育館
リーダークリニク	11月	春日部市レクリエーション協会	未 定
スタートコーチ養成講習会	12月	春日部市スポーツ少年団	総合体育館
社会体育合同研修会	1月	埼玉地区スポーツ推進委員連絡協議会	蓮 田 市
合 同 研 修 会	2月	春日部市スポーツ協会 春日部市レクリエーション協会	未 定

イ 指導者の活用

スポーツ教室、共催事業、委託事業への講師の派遣依頼

行 事 名	指 導 者
ス ポ ー ツ 教 室	春日部市スポーツ推進委員
健 康 づ く り の つ ど い	春日部市スポーツ推進委員
健康スポーツ・レクリエーションフェスタ2026 ～軽スポーツ・ニュースポーツ体験交流会～	春日部市スポーツ推進委員

ウ 研修会の参加奨励

研 修 会 等	期 日	対 象
関東スポーツ推進委員研究大会	6月	春日部市スポーツ推進委員
スポーツ推進委員セミナー	7月	春日部市スポーツ推進委員
埼玉県スポーツ推進委員協議会第1回研修会	9月	春日部市スポーツ推進委員
埼玉葛地区交流大会	9月	春日部市スポーツ推進委員
全国スポーツ推進委員研究大会	11月	春日部市スポーツ推進委員
埼玉県スポーツ推進委員協議会第2回研修会	2月	春日部市スポーツ推進委員

④ 各種イベントへの協力依頼

ア 各スポーツ・レクリエーション関係団体のイベントへの協力依頼

イ 市内中学生（義務教育学校後期課程の生徒を含む）、高校生、大学生のイベントへの協力依頼

⑤ ボランティア活動の意識の高揚

ア 春日部大風マラソン大会へのボランティア協力

イ 各スポーツ・レクリエーション関係のイベントや大会へのボランティア協力

（４）既存スポーツ施設の維持管理と利用促進

① 補修・維持修繕

予防保全型の維持管理を図るとともに、老朽化に伴う修繕や必要な工事を実施

② 利用状況の把握

利用者ニーズに即した整備を図り、利用者満足度アップ

③ 利用者との連携

円滑で適切な手続きによる、利用者数の増加

④ 指定管理者への継続監視と指導

指定管理者の主体的な業務の改善に向けた指導

施 設		施 設 内 容
総 合 体 育 館 (アイル・アリーナ ウイング・ハット春日部)	メインアリーナ	バスケットボール3面、バレーボール4面、バドミントン12面、卓球24面
	サブアリーナ	バスケットボール1面、バレーボール2面、バドミントン6面、卓球12面
市 民 体 育 館		バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、卓球16面
庄 和 体 育 館		バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、卓球12面
市 民 武 道 館		第1道場(柔道場)、第2道場(剣道場)、弓道場
大 沼 野 球 場		軟式野球場兼ソフトボール場1面
大 沼 陸 上 競 技 場		400mトラック、サッカー場兼ラグビー場
大 沼 テ ニ ス コ ー ト		硬式・軟式兼用全天候型コート(人工芝)5面、軟式用クレーコート2面
立 沼 テ ニ ス 場		全天候型舗装硬式コート2面
豊 野 テ ニ ス コ ー ト		硬式・軟式用クレーコート各1面
庄 和 テ ニ ス コ ー ト		硬式・軟式兼用全天候型コート(人工芝)4面
谷 原 中 西 側 テ ニ ス コ ー ト		硬式・軟式兼用クレーコート8面
旧 谷 原 中 学 校		多目的グラウンド(大・小)各1面
谷 原 グ ラ ウ ン ド		軟式少年野球場兼ソフトボール場1面
南 栄 町 グ ラ ウ ン ド		軟式野球場兼ソフトボール場1面
内 牧 グ ラ ウ ン ド		軟式少年野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ
中 野 グ ラ ウ ン ド		軟式少年野球、ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフ
谷 原 中 西 側 グ ラ ウ ン ド		軟式少年野球、ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフ
牛 島 多 目 的 グ ラ ウ ン ド		軟式少年野球、少年ソフトボール、少年サッカー、グラウンドゴルフ
禿 地 グ ラ ウ ン ド		グラウンドゴルフ
金 崎 グ ラ ウ ン ド		少年サッカー・フットサル2面、グラウンドゴルフ
首都圏外郭放水路多目的広場		サッカー、グラウンドゴルフ
牛 島 野 球 場		硬式兼軟式野球場1面
庄 和 球 場		硬式兼軟式野球場1面

⑤ 学校開放の促進

ア 円滑な利用者調整会議の開催とスポーツ団体の利用の促進

施 設	期 間	開 放 校
校 庭	4 月 ～ 3 月	小学校 22 校
体 育 館	4 月 ～ 3 月	小学校 22 校
夜 間 照 明	4 月 ～ 3 月	武里中・東中・緑中・大增中

(5) スポーツ施設整備の推進

① 春日部市スポーツ施設マネジメント計画への取組

春日部市スポーツ施設マネジメント計画に基づき市内既存のスポーツ施設の再整備を見定めて取り組む。

② 春日部市総合体育施設整備基本計画への取組

春日部市総合体育施設整備基本計画に基づき、総合体育施設の事業の実現に向け取り組む。

③ 総合体育施設事業用地の取得

春日部市総合体育施設整備基本計画の具現化に向け、整備に必要な用地取得を行う。

④ 大沼陸上競技場のリニューアル

日常的にスポーツ・レクリエーション活動など、多目的に活用できる場としてリニューアル整備に取り組む。

中央公民館

1 公民館の目標

公民館は、市民の実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、市民の教養の向上、健康の増進、情操を養うことを図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的としている。

公民館の持つ基本的役割である「つどう」「まなぶ」「むすぶ」「つくる」「さがす」を果たすために、春日部市内各地域の歴史や特徴を踏まえつつ、市民の連携、学習活動の推進を図り、地域文化の創造と、人々のふれあいによる地域社会の醸成、自治意識の向上を目指す。そのため、学習内容の充実を図り、市民の多様な学習要求に応じていくとともに、市民との連携を図る事業を実施する。

また、中央公民館と各地区公民館との連携により、効率的かつ効果的な事業を遂行していく。

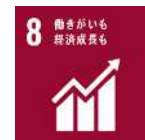
《中央公民館の役割》

各地区公民館の統括と連絡調整を行い、その事業は市全域を対象とした広域的なものとし、細分化された学習要求にも応えるものとする。また、試験的な事業や運営についての研究を行う。さらに各地区公民館と協力しながら公民館全体の事業効果の向上を図るものとする。

《地区公民館の役割》

それぞれの地域を主な対象とし、市民の身近な学習要求に応え、地域の特色を生かし、地域に根ざした事業を展開することによって、地域文化の向上と市民の交流及び学習意欲の醸成を図る。また、中央公民館と各地区公民館との連携・協力を図り、活力ある地域づくりを目指すこととする。

2 主な施策



○公民館運営事業

市民の多様な学習要求に応えるため、公民館の5つの施策として「中央公民館を中心とした体制の整備」「市民の学習活動の支援と促進」「市民への学習機会の充実」「防災拠点としての施設・設備の計画的整備」「市内8地区の地区センターと連携した公民館機能の充実」に取り組んでいく。また、市民が安心安全に学習・交流活動を行えるよう、施設整備・維持管理を行う。

主な事業費：①各館の夜間管理業務や様々な保守管理業務のための施設・整備委託料

②空調や給排水、消防設備などの建物維持管理のため施設修繕料

主な実施事業：①乳・幼児期：子育てサロン えほんの広場 親子の広場 幼児家庭教育学級

②小・中学生：年少リーダー研修会 こども体験教室 キッズフェスティバル

③一般：教養講座 防災・防犯事業 音楽鑑賞会 各地区文化祭 各地区体育祭

④高齢者：スマホ教室 健康を考えるつどい 高齢者安心安全教室

施策3-3-1

457,356千円（前年度比 17,232千円増）

中央公民館事業計画

所在地 春日部市粕壁6918番地 1

TEL 048-752-3080・FAX 048-754-0158

◇運営の基本方針

中央公民館は、主に社会教育に係る学習関連の情報収集・提供と公民館の施設設備の充実を基盤に、市民の学習活動の充実を図ることに主眼を置く。

教育行政の充実と市民の生涯学習の支援体制の拡充を図ることを目的として、市内各地区公民館、その他各教育施設の施設間ネットワークを構築し、学習機会の提供及び専門的な学習相談の体制を整備することを目指す。

自主事業としては、全市域を対象にした諸集会事業を開催するとともに、芸術文化、健康、環境など各分野に関する専門的な講座を実施する。

◇重点施策

- 1 各地区公民館の情報を統括し、生涯学習に係る情報の収集・提供窓口としての機能の充実を図る。
- 2 学習サークルの成果発表、サークル間の交流、地域参加の拠点として施設・設備の整備充実、有効利用を図り、公民館機能の充実を目指す。併せて芸術・文化創造の高揚に寄与する。
- 3 市民の多様な学習要求に応える、高度で専門的な講座の開設及び現代的課題に対応した事業を企画し実施する。
- 4 地域の人材の積極的な活用を進めるとともに、社会教育に関する指導者とボランティアの養成及び職員の専門的知識修得の中心機関としての機能の充実を図る。

◇主な事業計画（学級・講座・大会等）

No.	事業名	内 容	対 象	会 場
1	講堂機器操作研修	講堂利用者に対して機器の操作を説明	公民館利用者	中央公民館
2	サークル体験月間	サークル活動の促進と利用の活発化を目指す	一般	中央公民館
3	春日部市民県展入選作品展	優れた美術作品を紹介	一般	中央公民館
4	音楽鑑賞会	市内にゆかりのある演奏家の優れた演奏を鑑賞	一般	中央公民館
5	企画展	科学展・障がい者作品展等	一般	中央公民館
6	年少リーダー研修会	体験活動等を通して社会性、生きる力を育み、青少年リーダー育成を図る	小学校5・6年生 過去の事業参加者	中央公民館・市内公民館・埼玉県立小川げんきプラザ
7	音響操作セミナー	音響操作技術の講習	一般	中央公民館
8	かすかベライブフェスタ2026	市内公民館等で活動するバンドの交流	一般	中央公民館
9	キッズフェスティバル	レクリエーション・工作等	こども	中央公民館
10	教養講座	時節に合わせた学習	一般	中央公民館
11	公民館利用者協議会	利用者同士の交流	中央公民館利用者	中央公民館

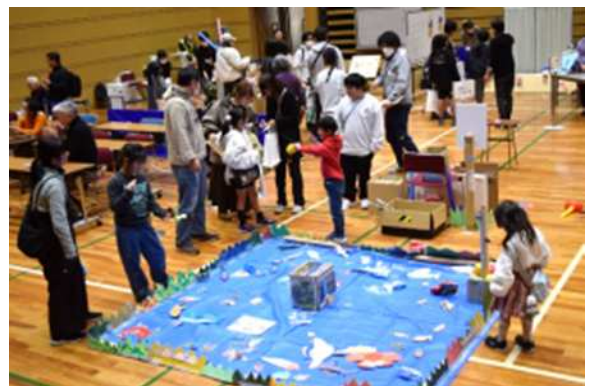
◇主な事業計画（会議・研修・調査等）

No.	事業名	内 容	対 象
1	公民館学習情報ネットワーク	ホームページ、公民館だより、その他公民館運営に必要な情報のネットワーク運営	一般
2	公民館関係団体への援助	団体活動に関する相談・支援事業	団体
3	公民館関係資料調査及び収集	学習情報提供に資する	—
4	各種公民館関係資料の作成・発行	春日部市の公民館、利用団体一覧など	—
5	所長会議	月に1回開催	公民館長
6	公民館職員会議	月に1回開催、公民館業務についての研修会を兼ねる	関係職員
7	公民館新任職員研修会	新任職員に公民館の基礎を学ぶ機会の提供	新任職員
8	担当者専門研修会派遣	職員の資質向上のため、専門研修会に派遣	関係職員

【前年度事業の様子（令和7年度）】



共に生きよう！フェスティバル・障がい者作品展



キッズフェスティバル



年少リーダー研修会

粕壁地区公民館・粕壁南公民館

【粕壁地区の概要】

春日部市の中心部に位置し、地区内には東武スカイツリーラインと東武アーバンパークラインが通っている。

令和 8 年 5 月 1 日現在、23,994 世帯、人口 45,523 人、面積は 492.4ha である。

粕壁地区は、日光街道沿いにあり江戸時代には、「粕壁宿」として栄えた。

地区内には市役所、市立医療センター、市民文化会館などの公共施設がある。学校は粕壁小学校、八木崎小学校、緑小学校、春日部中学校、緑中学校、大沼中学校、春日部高等学校、春日部女子高等学校等がある。

【粕壁地区の公民館】

粕壁地区公民館 所在地 春日部市粕壁 6918 番地 1 TEL 048-752-3080・FAX 048-754-0158

粕壁南公民館 所在地 春日部市南一丁目 12 番 23 号 TEL・FAX 048-738-0088

【運営の基本方針】

生涯学習の視点から、地域における学習意欲を醸成するため、各世代を対象とした学習機会の提供を行い、豊かな人間性を養い、もってより良い地域づくりを進める。

【重点施策】

- 1 各層、各期の学習ニーズを取り上げ、それに対応する事業を実施するとともに参加者の自主的な活動を推進する。
- 2 人々の集うスポーツ大会を実施し、地域の連帯感と親睦を深める。
- 3 幼児期において、家庭の教育力の活性化を促す事業を推進する。
- 4 青少年の健全育成のための事業を推進する。

【重点事業】

No.	事業名	内 容	対 象	会 場
1	かすかべ茶屋	講師による講義及び参加者相互の意見交換	一般	粕壁市民センター (中央公民館) 粕壁南公民館
2	粕壁地区体育祭	地区をあげてのスポーツ・レクリエーションの祭典	地区住民	春日部中学校 校庭
3	こども体験教室	体験学習を通して文化・芸術・科学等への関心を深める	小学生	粕壁市民センター (中央公民館) 粕壁南公民館
4	幼児家庭教育学級	親子リトミック、親子クッキング他	幼児と保護者	粕壁南公民館
5	粕壁市民センターまつり	中央公民館、粕壁南公民館利用者による成果発表会を開催	一般	粕壁市民センター (中央公民館)

【その他の事業】

ジュニア囲碁スクール
粕壁地区壮年ソフトボール大会
サークル体験月間
他

【前年度事業の様子（令和 7 年度）】



粕壁地区体育祭



かすかべ茶屋

内牧地区公民館・内牧南公民館

【内牧地区の概要】

春日部市の北部に位置し、西はさいたま市岩槻区、北は白岡市、宮代町と隣接している。

令和8年5月1日現在、7,028世帯、人口13,669人、面積は529.2haである。

地区内には内牧フィールドアスレチック、内牧サイクリングロードなど自然豊かな地形を生かした施設があり、また、塚内古墳群など文化財を有するかたわら地区南側には工業団地も有している。

地区内の学校は、内牧小学校をはじめ春日部工業高等学校、共栄大学があり文教的にも豊かな地区と言える。産直の里内牧であることから特産品も多く、中でも梨、お茶、ぶどうなどが有名である。

【内牧地区の公民館】

内牧地区公民館 所在地 春日部市内牧 4398 番地 TEL・FAX 048-752-3255

内牧南公民館 所在地 春日部市内牧 1498 番地 TEL・FAX 048-761-0065

【運営の基本方針】

生涯学習の拠点として、住民の学習要求に即した事業を展開し、各種情報を提供する。また、地域団体・組織と連携して地域連帯意識の高揚と生活文化の発展を図る。

【重点施策】

- 1 住民の学習要求に応え、学習機会の充実を図るため生涯の各時期に応じた事業を実施する。
- 2 地域住民の連携と活性を図りつつ、自治意識を高めるため地域全体で取り組む事業を実施する。
- 3 自然に恵まれた特色を活かし、地域住民が喜びを感じる事業を実施する。

【重点事業】

No.	事業名	内 容	対 象	会 場
1	うちまきみんなで考えるスマホ活用講座	生活に活かすスマホ基本・応用講座	高齢者	内牧南公民館
2	青少年体験教室	こどもへの体験活動の提供	青少年	内牧地区公民館
3	市民体育祭内牧地区大会	地域住民の健康増進・相互交流	地区住民	内牧小学校
4	内牧地区文化祭	芸術文化の振興	地区住民	内牧地区公民館

【その他の事業】

【前年度事業の様子（令和7年度）】

音楽鑑賞会
子育てサロン
趣味の講座
家族ふれあい教室 等



青少年体験教室
（親子で内牧のお茶摘みを
学んでみよう！）



青少年体験教室
（キッズフェスタうちまき）

豊春地区公民館・豊春第二公民館

【豊春地区の概要】

春日部市の南西部に位置し、さいたま市岩槻区と隣接している。

令和8年5月1日現在、20,238世帯、人口41,003人、面積は775.5haである。

豊春地区は学史上有名な縄文時代の花積貝塚がある。また地域の北部を東西に古隅田川が流れ、業平や梅若など、古代の隅田川にまつわる伝説を伝えている。

学校は、豊春小学校、立野小学校、宮川小学校、豊春中学校、大増中学校、春日部共栄中学校、春日部共栄高等学校、松栄学園高等学校がある。

【豊春地区の公民館】

豊春地区公民館 所在地 春日部市上蛭田101番地2 TEL・FAX 048-754-0942

豊春第二公民館 所在地 春日部市豊町五丁目14番地1 TEL・FAX 048-754-2100

【運営の基本方針】

生涯学習の理念に基づき、地域住民の課題や学習ニーズに対応した学習機会を提供するとともに、地域の連帯意識を高め、明るい地域社会づくりを推進する。

【重点施策】

- 1 地域住民の課題や学習ニーズに応じた講座を開設し、学習機会の充実を図る。
- 2 家庭における教育力の向上を図るとともに子育て支援を推進する。
- 3 地域内の団体と連携し、地域住民の交流機会の充実・連帯感の向上を図る。

【重点事業】

No.	事業名	内 容	対 象	会 場
1	防災・防犯教室	防災や防犯に関する訓練や講座	一般	豊春地区公民館 豊春第二公民館
2	とよはる音楽祭	音楽鑑賞会	一般	豊春地区公民館
3	いきいき学級	健康をテーマにした学習会	一般	豊春地区公民館 豊春第二公民館
4	豊春地区公民館文化祭	公民館活動の成果発表	一般	豊春地区公民館 豊春第二公民館
5	小・中学生期家庭教育学級	家庭教育に関する講演会	一般	豊春地区公民館

【その他の事業】

豊春演芸のつどい
おもしろ科学教室
夏休み小・中学生体験シリーズ
小学生料理教室
親子の広場
PAセミナー
豊春地区体育祭
お楽しみウォーキング 他

【前年度事業の様子（令和7年度）】



豊春地区公民館文化祭



豊春演芸のつどい

武里地区公民館・武里東公民館

【武里地区の概要】

春日部市の南部に位置し、さいたま市岩槻区、越谷市と隣接している。

令和8年5月1日現在、22,457世帯、人口44,243人、面積は761.7haである。都心のベッドタウンとして住宅地が広がっている。

地区内には、鎌倉時代に創建された関東三社稲荷の一つ、備後須賀稲荷神社がある。毎年3月第1日曜日に例大祭が行われる。また、県指定無形民俗文化財「やったり踊り」があり、毎年7月15日近くの土曜日に大畑香取神社にて盛大に行われる。

地区内の学校は、武里小学校、備後小学校、正善小学校、上沖小学校、武里西小学校、武里中学校、春日部南中学校がある。

【武里地区の公民館】

武里地区公民館 所在地 春日部市備後西一丁目13番2号 TEL 048-735-3004・FAX 048-737-3033

武里東公民館 所在地 春日部市備後東七丁目38番16号 TEL・FAX 048-735-2527

【運営の基本方針】

生涯学習の拠点施設の一つとして、「つどう、まなぶ、むすぶ」という公民館の原点に基づき、地域の連帯を深め、地域の発展や生活文化を高める事業に取り組む。

【重点施策】

- 1 地域と連携した防犯・防災対策事業を推進する。
- 2 地域をあげたスポーツの祭典を通して、住民の健康と体力の向上及び相互の交流と親睦を深める。
- 3 公民館利用者の学習成果の発表を通じて利用者相互の交流等を図る。
- 4 音楽や自然にふれあい、地域の連帯感を高める。

【重点事業】

No.	事業名	内容	対象	会場
1	防災・防犯対策事業	防犯意識の向上・災害発生時の体制強化	一般	武里地区公民館
2	武里地区体育祭	地域住民の相互交流	一般	備後小学校
3	武里市民センターまつり	利用団体の成果発表	一般	武里地区公民館
4	ふれあい教室	地域の連帯感を高める	中学生程度まで	武里地区公民館

【その他の事業】

子育てサロン
わかたけっこひろば
公民館利用者会議
たけさとカフェ
教養講座
オレンジカフェ
人権教育研修会
公民館だより「武里」発行
他

【前年度事業の様子（令和7年度）】



武里地区体育祭



ふれあい教室
(MOJI JAZZ for babies)

幸松地区公民館・幸松第二公民館

【幸松地区の概要】

春日部市の中央部に位置し、杉戸町と隣接している。

令和8年5月1日現在、10,634世帯、人口21,847人、面積は718.3haである。

地区内には、牛島野球場、春日部第1児童センター（エンゼル・ドーム）などの公共施設があるほか、牛島には国の特別天然記念物に指定されている「牛島のフジ」（藤花園）、不動院野には市指定無形民俗文化財「不動院野の神楽」がある。

地区内の学校は、幸松小学校、牛島小学校、小湊小学校、東中学校、春日部東高等学校、春日部特別支援学校がある。

【幸松地区の公民館】

幸松地区公民館 所在地 春日部市牛島 667 番地 1 TEL・FAX 048-752-6065

幸松第二公民館 所在地 春日部市小湊 73 番地 1 TEL・FAX 048-761-5510

【運営の基本方針】

生涯学習拠点施設として、地域住民の身近な学習・交流活動の場として親しみをもって来館できる公民館を目指す。

【重点施策】

- 1 地域住民の健康増進と住民相互の理解と交流を深め、学習機会の充実と公民館利用の促進を図る。
- 2 家庭教育の充実と青少年の健全育成を図る。
- 3 各種関係組織・団体との連携を図りながら、事業展開を図る。

【重点事業】

No.	事業名	内 容	対 象	会 場
1	こうまつ寺子屋	市民生活に身近なテーマを取り上げ、地域住民の教養を高める。	一般	幸松地区公民館 幸松第二公民館
2	こうまつ音楽祭	芸術に親しむ機会を提供する。	一般	幸松地区公民館 幸松第二公民館
3	幸松地区体育祭	地区住民の体育レクリエーションの祭典	地区住民	東中学校
4	公民館まつり	レクリエーション等をとおして地域住民の交流を深める。	一般	幸松地区公民館
5	幸松ふれあい文化祭	学習活動の発表の場	一般	幸松地区公民館

【その他の事業】

子育てサロン

幸松第二公民館利用者作品展

利用団体共催オープン講座

防災のつどい

幸松地区グラウンドゴルフ大会

幸松地区ボッチャ大会 他

【前年度事業の様子（令和7年度）】



幸松地区体育祭



こうまつ音楽祭

豊野地区公民館・藤塚公民館

【豊野地区の概要】

春日部市の南東部に位置し、越谷市、松伏町と隣接している。
 令和8年5月1日現在、8,877世帯、人口18,595人、面積は505.8haである。
 地区内には、伝統行事として市の無形文化財である獅子舞が赤沼・銚子口の両地区で受け継がれている。
 両地区とも7月、10月に舞われ、銚子口では1月にも舞われている。
 また、地区内豊野町には豊野工業団地がある。
 地区内の学校は、豊野小学校、藤塚小学校、豊野中学校がある。

【豊野地区の公民館】

豊野地区公民館 所在地 春日部市銚子口999番地 TEL・FAX 048-735-0009
 藤 塚 公 民 館 所在地 春日部市藤塚1670番地1 TEL・FAX 048-735-2528

【運営の基本方針】

利用する人それぞれの心が潤い、かつ魅力あふれる事業を展開するとともに、地域文化の向上を図ることが
 ができる生涯学習拠点施設としての公民館を目指す。

【重点施策】

- 1 地域住民の学習ニーズを把握し、各層を対象とした学習機会の充実と学習情報の提供を行う。
- 2 青少年の健全育成を図るため、各種事業を行うとともに、地域のボランティアや青少年の育成などの人材を活用した様々な学習を展開する。
- 3 地域・学校・家庭との連携、協力関係を深めるとともに、事業の企画段階からの市民参加を促進する。

【重点事業】

No.	事業名	内 容	対 象	会 場
1	チャレンジ教室	新しいことに挑戦する機会を作る。	こども	豊野地区公民館
2	子育てふれあいサロン	保護者の交流・情報交換の場を提供する。	こどもと保護者	豊野地区公民館 藤塚公民館
3	豊野地区体育祭	健康増進及び親睦を図る。	一般	藤塚小学校
4	豊野市民センターまつり	芸能・芸術団体の活動成果を発表する。	一般	豊野地区公民館
5	必ず役立つ入門講座	日々の生活に活用できる学習の機会を作る。	一般	豊野地区公民館 藤塚公民館

【その他の事業】

公民館利用者のつどい
 初心者向けの健康気功
 ふれあい教室
 健康を考えるつどい
 豊野キッズフェスタ
 三世代交流スポーツフェスティバル
 他

【前年度事業の様子(令和7年度)】



三世代交流スポーツフェスティバル



豊野キッズフェスタ

武里南地区公民館・武里大枝公民館

【武里南地区の概要】

武里南地区は、武里団地のエリアと同一である。春日部市の南部に位置し、越谷市と隣接している。

令和 8 年 5 月 1 日現在、世帯数は 5,429 世帯、人口 7,864 人、面積は 59.6ha である。

武里団地は、現在の独立行政法人都市再生機構（UR 都市機構）により竣工、昭和 41 年から入居が開始され、約 6,000 世帯を擁して当時は「東洋一のマンモス団地」と呼ばれていた。

現在は、当時のこどもが大人になって団地を出たり、持ち家志向が高まったりしたことなどにより入居者が減少するとともに、高齢化及び外国人との共生という課題に直面している。

地区内の学校は、武里南小学校がある。

【武里南地区の公民館】

武里南地区公民館 所在地 春日部市大枝 89 番地 武里団地 7 街区 5 棟 TEL・FAX 048-736-8104

武里大枝公民館 所在地 春日部市大枝 89 番地 武里団地 2 街区 1 棟 TEL・FAX 048-737-8022

【運営の基本方針】

生涯学習の拠点施設のひとつとして、市民の学習要求に応える事業及び情報の提供を行う。

【重点事業】

- 1 きめ細やかな学習の場と情報を提供する。
- 2 青少年の健全育成の場を設ける。
- 3 地域住民の健康増進と住民相互の交流を図る。

【事業計画】

No.	事業名	内容	対象	会場
1	けやきフェスティバル	人と地域の連携を強化し、より強固なコミュニティを形成することで、地域力を向上させることを目的とする	一般	武里大枝公民館
2	武里団地地区体育祭	スポーツ・レクリエーションへの関心と理解を深め、健康の増進を図るとともに、良好な地域コミュニティの醸成を図る	一般	武里南小学校校庭
3	サークル発表会	公民館利用者の学習成果の発表を通し、地域住民の公民館活動への理解を深める	一般	武里南地区公民館 武里大枝公民館
4	子育てふれあいサロン	子育て中の保護者に、交流と情報交換の場を提供するとともに、読み聞かせなどを企画し、地域の子育て支援機能の拡充を図る	未就学児と保護者	武里南地区公民館
5	音楽鑑賞会	身近な場所で良質な音楽に触れる機会を提供し、教養、文化の向上を図る	一般	武里南地区公民館 武里大枝公民館

【その他の事業】

青少年健全育成事業
日本語スピーチ発表会
生涯学習市民推進員企画事業
武里図書館共催事業
レクリエーション・スポーツ教室
人権教育研修会
公民館だより「けやき」発行 他

【前年度事業の様子（令和 7 年度）】



オレンジ・カフェ



シニアのための「スマホ相談会」

庄和地区公民館・庄和南公民館

【庄和地区の概要】

春日部市の東部に位置し、杉戸町、松伏町、江戸川を挟んで千葉県野田市と隣接している。

令和 8 年 5 月 1 日現在、16,607 世帯、人口 36,022 人、面積は 2,815ha である。

毎年 5 月 3 日と 5 日には伝統文化行事の大風あげ祭りが行われ 10 万人以上の見物客が集う。

地区内の学校は、小学校 4 校(南桜井、川辺、桜川、中野)、中学校 2 校(葛飾、飯沼)、義務教育学校 1 校(江戸川)、庄和高等学校がある。

【庄和地区の公民館】

庄和地区公民館 所在地 春日部市大倉 307 番地 1 TEL 048-746-6666・FAX 048-746-6669

庄和南公民館 所在地 春日部市米崎 357 番地 TEL 048-745-3000・FAX 048-745-3002

【運営の基本方針】

地域住民の学習意欲を醸成するための学習機会を提供し、充実した人生を築くための生涯学習拠点となるよう環境を整える。また、庄和地区の連帯意識を高め、地域コミュニティづくりを進める。

【重点施策】

- 1 世代間交流と地域の連帯感を育む。
- 2 地域住民参画による自主的・自発的な事業活動を支援する。
- 3 各種団体、地域住民との協働による事業の展開を図る。

【重点事業】

No.	事業名	内 容	対 象	会 場
1	庄和地区市民大学	地域住民の教養を高める	一般	庄和地区公民館、他
2	公民館まつり	文化・芸術団体の成果発表	一般	庄和地区公民館
3	庄和地区体育祭	地区住民の体育の祭典	一般	レジデンシャルパーク SHOWA・多目的広場
4	音楽鑑賞会	地域住民の交流を深める	一般	庄和南公民館

【その他の事業】

しょうわ塾
子育てサロン
井戸端サロン
教養講座
健康講座
公民館だより発行 他

【前年度事業の様子（令和 7 年度）】



公民館まつり



庄和地区体育祭

公民館施設一覧

No.	公 民 館 名	設 立 下段：改築年	延べ床 面積（㎡）	部屋 数	階 数	施設等の名称	面積		定員 （人）	駐車場
							㎡	畳		
1	中 央 公 民 館	平成6年 （1994） —	5,559	20	1	体育館	418		410	地下駐車場 38台 第2駐車場 44台 あしすと臨 時駐車場 40台 合計122台
						更衣室（男性）	9		2	
						更衣室（女性）	9		2	
						ステージ	95		50	
						講堂	513		351	
						メディアホール	230		30	
						ブックサロン	73		23	
						印刷室	25		10	
					2	多機能学習室	53		33	
						大会議室	107		66	
	サークルボックス	22				10				
	オペレーションルーム	42				10				
	(粕壁地区公民館) 平成17年10月1日から 中央公民館に併設	昭和46年 （1971） —	—		3	ギャラリー	293		200	
						和室ふじ	39	18	36	
						実習室	52		30	
						音楽スタジオ	43		10	
小会議室				20			12			
中会議室				42			16			
アトリエ				65			36			
アトリエ準備室				—			—			
2	粕 壁 南 公 民 館	昭和56年 （1981） —	332	7	1	コミュニティホール	176		150	29台
						ボランティアビューロー	47		15	
						学習室	35		20	
					2	音楽室	43		20	
						会議室	84		50	
						和室	47	20	30	
3	内 牧 地 区 公 民 館	昭和46年 （1971） 平成元年 （1989）	1,886	13	1	調理室	46		25	21台
						講堂	229		180	
						会議室兼リハーサル室	40		18	
						和室	52	31.5	67	
						研修室Ⅰ	68		39	
						談話室コーナー	20		12	
					2	展示コーナー	40		—	
						印刷室	—		—	
						研修室Ⅱ	68		39	
						実習室	60		22	
						体育室	394		400	
						更衣室（男性）	8		2	
4	内 牧 南 公 民 館	昭和58年 （1983） —	620	6	1	更衣室（女性）	8		2	20台
						調整室	24		—	
					2	大会議室	198		200	
						図書室	16		—	
						講習室	70		60	
						料理実習室	49		25	
5	豊 春 地 区 公 民 館	昭和46年 （1971） 昭和63年 （1988）	2,006	12	1	和室	49	21	30	21台
						託児室	17		10	
						講堂	388		250	
						和室いちよう	30	15	20	
						和室うめ	23	12	16	
						ブレイルーム	63		20	
						談話室	43		16	
						ふれあい図書コーナー	—		32	
					2	浴室（休止）	83		—	
						研修室（1）	78		50	
						研修室（2）	79		50	
						アトリエ	93		16	
						クッキングサロン	51		20	
						会議室兼音楽室	56		12	

No.	公 民 館 名	設 立 下段：改築年	延べ床 面積 (㎡)	部屋 数	階 数	施設等の名称	面積		定員 (人)	駐車場
							㎡	畳		
6	豊 春 第 二 公 民 館	昭和57年 (1982) —	1, 213	8	1	大集会室	281		250	26台
						調理室	42		25	
						図書談話コーナー	—		—	
					2	第一会議室	115		80	
						第二会議室	58		20	
						第三会議室	73		40	
						和室1	42	18	27	
						和室2	42	18	27	
7	武 里 地 区 公 民 館	昭和46年 (1971) 昭和61年 (1986)	1, 625	14	2	講堂	275		200	29台
						音楽室	50		20	
						会議室(1)	88		69	
						会議室(2)	51		25	
						会議室(3)	51		16	
						和室	50	24	27	
						実習室	88		30	
						図書コーナー	—		—	
					3	印刷室	8		—	
						研修室(1)	96		96	
						研修室(2)	60		24	
						研修室(3)	52		25	
						教養室(1)	38	15	12	
						教養室(2)	52	21	24	
8	武 里 東 公 民 館	昭和56年 (1981) —	600	7	1	大会議室	209		150	37台
						研修室	27		15	
					2	図書室	19		—	
						料理実習室	44		25	
						和室	44	20	30	
						講習室	47		30	
9	幸 松 地 区 公 民 館	昭和46年 (1971) 昭和63年 (1988)	2, 008	17	1	託児室	13		—	30台
						講堂	263		200	
						体育室	360		400	
						シャワー室(男性用)	11		—	
						シャワー室(女性用)	11		—	
						和室	76	25	35	
						ブレイルーム	63		35	
						談話コーナー	66		—	
					2	図書コーナー	—		—	
						展示ロビー	—		—	
						印刷室	—		—	
						会議室A	70		42	
						会議室B	38		12	
						実習室	76		20	
						準備室	19		—	
						調光室	12		—	
						研修室A	43		24	
						研修室B	55		42	
10	幸 松 第 二 公 民 館	昭和57年 (1982) —	631	6	1	大会議室	209		150	8台
						図書室	17		—	
					2	講習室	47		30	
						調理室	50		25	
						和室	47	20	30	
						託児室	12		7	
11	豊 野 地 区 公 民 館	昭和46年 (1971) 昭和61年 (1986)	1, 114	11	1	講堂 I	95		100	第1：9台 第2：8台 合計17台
						講堂 II	95		100	
						和室 I	42	25	40	
						談話コーナー	—		—	
						印刷室	—		—	
					2	和室 II	65	40	65	
						研修室 I	79		80	
						研修室 II	73		70	
						会議室	42		12	
						実習室	52		25	
						図書コーナー	—		—	

No.	公 民 館 名	設 立 下段：改築年	延べ床 面積（㎡）	部屋 数	階 数	施設等の名称	面積		定員 （人）	駐車場
							㎡	畳		
12	藤 塚 公 民 館	昭和56年 (1981) —	600	7	1	大会議室	209		150	12台
						小和室	35		15	
					2	講習室	40		30	
						調理室	45		25	
						和室	44		40	
						図書室	15		8	
						小会議室	18		12	
13	武里南地区公民館	昭和50年 (1975) 昭和53年 (1978)	532	6	1	和室(大)	54	37	50	なし
						和室(小)	29	9	10	
					2	大会議室	81		60	
						小会議室	30		20	
						和室	44	20	30	
						調理室	44		25	
14	武里大枝公民館	昭和62年 (1987) —	1,457	8	1	講堂	344		250	なし
						実習室	70		25	
						和室	77	24	40	
						会議室	48		20	
						印刷室	15		—	
						展示談話コーナー	72		—	
					2	研修室	103		70	
						映写室	12		—	
15	庄和地区公民館	昭和60年 (1985) —	3,737	27	1	大ホール	377		502	第1：38台 第2：32台 第3：32台 身体障がい 者専用駐車 場：1台 合計103台 ※図書コー ナー、印刷 室、身体障 がい者専用 駐車場はリ ノベシヨ ン工事前も ありましたが、記載が 無かったた め記入しま した。
						舞台	47		—	
						楽屋(1)	10		—	
						楽屋(2)	10		—	
						音楽室	86		30	
						集会室	45		24	
						図書コーナー	48		—	
					2	試食室	39		20	
						調理実習室	88		37	
						多目的室(1)	75		24	
						多目的室(2)	78		24	
						和室(1)	72	35	50	
						和室(2)	35	21	30	
						和室(3)	35	14	20	
						和室(4)	19	10	14	
						パソコン研修室	39		20	
						会議室(1)	42		24	
						会議室(2)	42		24	
						会議室(3)	42		24	
						子供室	27		—	
					視聴覚室	95		45		
					ボランティアビューロー	42		12		
					印刷室	—		—		
					3	研修室	84		49	
						小会議室	38		12	
						講義室(1)	132		75	
講義室(2)	96		50							
16	庄和南公民館	昭和49年 (1974) 平成9年 (1997)	1,306	13	1	多目的ホール	256		230	44台
						楽屋	20		3	
						音楽室	73		20	
						図書室	—		—	
						印刷室	—		—	
					2	学習室1	39		30	
						学習室2	45		30	
						集会室	40		24	
						調理室	78		30	
						和室1	23	15	14	
						和室2	16	10	14	
					別棟	創作室1	28		8	
創作室2	26		8							
合 計			25,226	182			12,944	539	8,487	505台

VI 特別職名簿

**春日部市立小学校、中学校及び
義務教育学校学区審議会委員**

任期：令和8年7月1日～令和10年6月30日

No.	氏 名	委員の区分
1	白 石 昌 三	区・自治会を代表する者
2	田 中 良 司	
3	岡 本 文 雄	
4	小笠原 麻 理	
5	鈴 木 敏 仁	
6	栗 野 江里子	
7	森 田 伝	
8	館 野 俊 之	小学校、中学校及び義務 教育学校の校長の代表者
9	三 浦 力	
10	吉 島 久 乃	小学校、中学校及び義務 教育学校のPTAの代表者
11	齋 藤 芳 尚	知識及び経験を有する者
12	島 内 啓 介	
13	齊 藤 浩 一	公募に応じた市民
14	松 本 愛 子	

春日部市学校給食運営審議会委員

任期：令和7年6月1日～令和9年5月31日

No.	氏 名	委員の区分
1	館 野 俊 之	学校の校長
2	梶 村 麗 子	
3	大 野 明 彦	
4	松 原 睦	
5	山 口 剛 一	学校に在籍する児童又 は生徒の保護者
6	齊 田 彩 佳	
7	持 木 均 之	
8	名 倉 美 香	春日部保健所の職員
9	木 元 康 博	
10	濱 本 一	知識及び経験を有する者

※No.1～5、9任期：令和8年5月26日～令和9年5月31日

春日部市社会教育委員

任期：令和8年6月1日～令和10年5月31日

No.	氏 名	委員の区分
1	逸 見 育 子	学校教育関係者
2	鈴 木 美 江	
3	渡 辺 秀 行	
4	金 重 光 江	社会教育関係者
5	高 山 まさ子	
6	松 田 洋 子	
7	樋 口 京 子	
8	(公民館運営審議会より選出予定)	
9	樺 田 正 俊	家庭教育の向上に 資する活動を行う者
10	関 千 知	
11	出 山 知 宏	学識経験者
12	林 雅 子	
13	中 島 信 一	社会教育・家庭教育 関係者
14	山 田 農 久	
15	有 馬 廣 實	

春日部市立図書館運営審議会委員

任期：令和6年8月1日～令和8年7月31日

No.	氏 名	委員の区分
1	木 田 真貴子	学校教育関係者
2	柴 田 泉	
3	杉 山 充 男	社会教育関係者
4	村 上 かをる	家庭教育の向上に 資する活動を行う者
5	鈴 木 了 子	
6	飯 田 邦 明	学識経験者
7	永 田 京 子	公募に応じた市民

※ No.1任期：令和6年8月1日～令和8年3月31日

春日部市文化財保護審議会委員

任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

No.	氏 名	委員の区分
1	池 田 伸 子	学識経験者
2	大 塚 和 彦	
3	小 林 桂 子	
4	白 井 哲 哉	
5	杉 崎 茂 樹	
6	先 崎 薫	
7	田 中 裕 子	
8	二階堂 由 紀	
9	浜 島 一 成	
10	平 社 定 夫	

春日部市市史編さん委員会委員

任期：令和6年8月1日～令和8年7月31日

No.	氏 名	委員の区分
1	有 馬 廣 實	社会教育委員
2	浜 島 一 成	文化財保護審議会委員
3	今 木 敏 浩	学識経験者
4	板 垣 時 夫	
5	井 上 かおり	
6	高 橋 尚 夫	
7	田 中 裕 子	
8	平 社 定 夫	
9	町 田 輝 夫	
10	大 川 明 弘	公募に応じた市民

※No.3任期：令和6年8月1日～令和8年3月31日

春日部市文化財保存活用地域計画協議会委員

任期：令和7年7月1日～令和9年6月30日

No.	氏 名	委員の区分
1	佐 藤 貴	市職員
2	須 田 大 樹	関係行政機関の職員
3	多 田 圭 子	文化財の所有者
4	清 水 洋 子	
5	田 中 裕 子	学識経験者
6	稲 本 恵 子	
7	佐々木 誠	
8	筒 野 広 康	市内各種団体を代表する者
9	折 原 章 哲	
10	榎 本 茅 菜	公募に応じた市民

春日部市スポーツ推進委員

任期：令和8年4月1日～令和10年3月31日

No.	氏 名	委員の区分
1	福 島 広 光	粕壁地区
2	飯 岡 麻 世	
3	久 保 聡 子	
4	武 田 かおり	
5	沼 田 江梨子	
6	西 川 友 子	
7	中 瀬 克 三	
8	綿 貫 弘 次	
9	岩 橋 眞 通	内牧地区
10	尾 村 正 明	豊春地区
11	宇南山 瞬 子	
12	小 暮 正 好	
13	林 田 環	
14	反 後 肇	武里地区
15	国 井 秋 男	
16	山 田 農 久	
17	小笠原 麻 理	
18	篠 本 寿美子	
19	青 木 大	
20	西 田 美由紀	
21	萬 羽 仁	幸松地区
22	樺 田 正 俊	
23	野 口 卓 造	
24	成 田 裕 子	
25	木 内 尚 幸	豊野地区
26	逸 見 映 子	
27	星 野 孝 子	
28	小守谷 利 幸	
29	吉 川 明 男	
30	秋 山 真 一	庄和地区
31	手 島 育 子	
32	白 坂 和 也	

春日部市スポーツ推進審議会委員

任期：令和8年5月22日～令和10年5月21日

No.	氏 名	推薦団体等
1	細 谷 悟	春日部市自治会連合会
2	樺 田 正 俊	春日部市スポーツ推進委員協議会
3	内 田 健 二	春日部市立小・中学校長会
4	佐久間 清	春日部市スポーツ協会
5	北 条 ケイ子	春日部市レクリエーション協会
6	西 川 則 夫	春日部市スポーツ少年団
7	竹 村 光 生	春日部商工会議所
8	濱 口 典 子	公 募

(順不同)

春日部市公民館運営審議会委員

任期：令和7年6月1日～令和9年5月31日

No.	氏 名	委員の区分
1	花 車 進 矢	学校教育関係者
2	大 野 明 彦	
3	志 賀 正	社会教育関係者
4	林 重 盛	
5	本 田 幸 子	
6	金 子 芳 代	
7	小 島 加奈子	家庭教育関係者
8	白 石 昌 三	学識経験者
9	森 義 久	
10	高 橋 寿 昭	
11	山 崎 勇 喜	
12	市 川 大 倫	
13	田 中 実	
14	藤 野 敏 夫	
15	渡 邊 正 弘	

※No. 1、3、12、14任期：令和8年6月1日～令和9年5月31日

春日部市民憲章

わたしたちのまち春日部は 古利根川と江戸川が流れ
豊かな自然のなかで 伝統 文化 産業を育んできた歴史のあるまちです

わたしたちは この先の時代に想いを馳せ
だれもが住み良い 魅力あるまちを目指して
ここに 市民憲章を定めます

- 一 環境にやさしく かけがえのない自然を守りましょう
- 一 心と体を健やかに 良識ある行動を心がけましょう
- 一 お互いを尊重し ともに助け合い 心かよう信頼を築きましょう
- 一 伝統と文化を大切にし 次の世代に引き継ぎましょう
- 一 広い視野で世界に学び 平和で夢のある未来をつくりましょう

そして
このまちで
ともに生きましょう

(令和3年1月1日制定)

令和8年度 春日部市の教育

発行日 令和8年7月1日

編集
発行 春日部市教育委員会

春日部市中央七丁目2番地1
電話 048-739-6800 (直通)